

Mimaki®

DM3-1810S

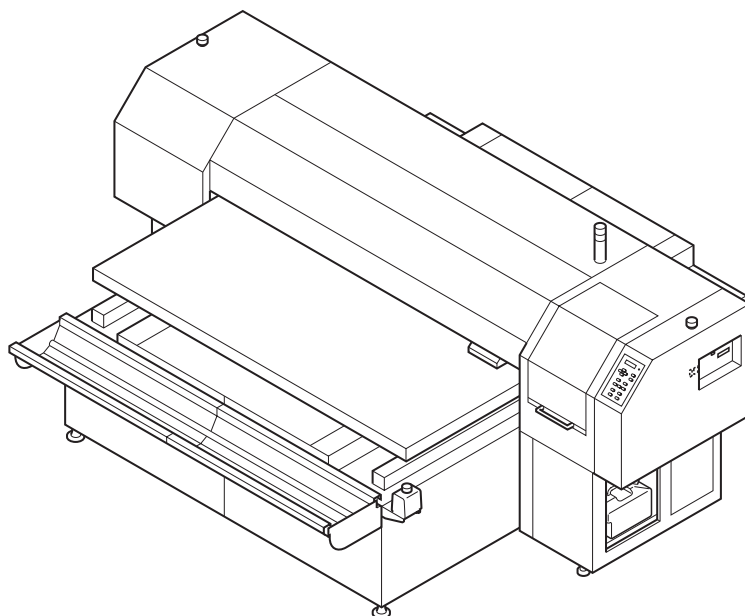
FLATBED COLOR INKJET PLOTTER

取扱説明書



警告

- ★ 本装置の設置は、弊社サービスエンジニアまたは販売店の担当者が行います。お客様のみでの設置は危険ですので行わないでください。
- ★ 本装置で使用する専用インクは、有害性です。換気装置を取り付けてください。また、お手入れの際は、付属の保護メガネと手袋を着用してください。



株式会社 ミマキエンジニアリング

D200792

ご注意

ご注意

株式会社ミマキエンジニアリングの保証規定に定めるものを除き、本製品の使用または使用不能から生ずるいかなる損害（逸失利益、間接損害、特別損害またはその他の金銭的損害を含み、これらに限定しない）に関して一切の責任を負わないものとしします。

また、株式会社ミマキエンジニアリングに損害の可能性について知らされていた場合も同様とします。

一例として、本製品を使用したワーク等の損失や、作成された物によって生じた間接的な損失等の責任負担もしないものとしします。

本装置を使用したことによる金銭上の損害および逸失利益、または第三者からのいかなる請求についても、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

おねがい

- この取扱説明書は、内容について十分注意しておりますが、万一ご不審な点などがありましたら、販売店または弊社営業所までご連絡ください。
- この取扱説明書は、改良のため予告なく変更する場合があります。

本書の内容を無断で転載することは禁止されています。

© 株式会社ミマキエンジニアリング 2005

All Rights Reserved. Copyright ©2005 MIMAKI ENGINEERING Co., Ltd.

電波障害自主規制

受信障害について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合は使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

本装置の接続に於いて、当社指定のケーブルを使用しない場合は、VCCIルールの限度を超えることが考えられます。必ず、当社指定のケーブルを使用してください。

テレビ／ラジオの受信障害について

本装置は、使用時に高周波が発生します。このため、本装置が不適切な条件下で設置または使用した場合、ラジオやテレビの受信障害を発生する可能性があります。したがって特殊なラジオ／テレビに対しては保証しておりません。

本装置がラジオ／テレビ受信の障害原因と思われましたら、本装置の電源を切り、ご確認ください。電源を切り、受信障害が解消すればこの製品が原因と考えられます。

次の手順のいずれか、またはいくつかを組み合わせることでお試してください。

- テレビやラジオのアンテナの向きを変え、受信障害の発生しない位置をさがしてください。
- 本装置から離れた場所に、テレビやラジオを設置してください。
- 本装置と別の電源供給路にあるコンセントに、テレビやラジオを接続してください。

はじめに

この度は、フラットベッドカラーインクジェットプロッタ「DM3-1810S」をお買いあげいただき、誠にありがとうございます。

「DM3-1810S」は、ソルベントインク4色で高速作図するフラット型カラーインクジェットプロッタです。

本書をよくお読みになり、お客様のニーズに合わせた作図にお役立てください。



★「DM3-1810S」は、高速ヘッド移動など危険を伴う場合があります。怪我や破損を防止するために、必ず本取扱説明書をよくご理解いただきから操作してください。

取扱説明書について

- 本書は、カラーインクジェットプロッタ「DM3-1810S」（本装置と称します）の操作やメンテナンスなどの取り扱いについて説明いたします。
- 本書をお読みになり、十分理解してからお使いください。また、本書をいつも手元に置いてお使いください。
- 本書は、本装置をお使いになる担当者のお手元に確実に届くようお取りはからいください。
- 本書は、内容について十分注意して作成していますが、万一不審な点がありましたら、販売店または弊社営業所までご連絡ください。
- 本書は、改良のため予告なく変更する場合があります。ご了承ください。
- 本書が焼失／破損などの理由により読めなくなった場合は、新しい取扱説明書を弊社営業所にてお買い求めください。

目次

| | |
|------------------------|------|
| ご注意 | i |
| 電波障害自主規制 | ii |
| 受信障害について | ii |
| テレビ/ラジオの受信障害について | ii |
| はじめに | iii |
| 取扱説明書について | iii |
| 本装置のご紹介 | viii |
| 安全にお使いいただくために | x |
| マーク表示について | x |
| インクの取り扱い上のご注意 | xi |
| 絶対にしないでください | xii |
| 使用上のご注意 | xiii |
| 設置上のご注意 | xv |
| 本書の読み方 | xvi |
| ディスプレイとキーの表記 | xvi |
| 本書の構成 | xvii |

1章 作図の前に

| | |
|-------------------------|------|
| 設置場所について | 1-2 |
| 本装置の移動 | 1-3 |
| 各部の名称とはたらきについて | 1-4 |
| 装置前面 | 1-4 |
| 装置背面 | 1-5 |
| 操作パネル | 1-6 |
| キャッピングステーション | 1-8 |
| インクについて | 1-9 |
| 取り扱い上のご注意 | 1-9 |
| 有機溶剤中毒予防 | 1-9 |
| インクステーションとヘッド列の関係 | 1-10 |
| 使用可能なワークについて | 1-11 |
| 使用可能ワークサイズ | 1-11 |
| ワーク取り扱い上の注意 | 1-11 |
| モードについて | 1-12 |

2章 基本操作

| | |
|------------------------|------|
| 作業の流れ | 2-2 |
| 電源をオンにする | 2-3 |
| 電源のオン | 2-3 |
| 吸着テーブル用ブロワのオン | 2-4 |
| ステーションカバーについて | 2-5 |
| ステーションカバーの開閉について | 2-5 |
| ヘッドの高さを調整する | 2-6 |
| ワークをセットする | 2-7 |
| ワーク押さえで固定する | 2-8 |
| 作図原点、作図範囲を設定する | 2-9 |
| 初期値 | 2-9 |
| 作図原点、作図範囲の設定 | 2-10 |
| ワーク外の吸着穴を塞ぐ | 2-11 |
| ノズル詰まりの確認 / 解消 | 2-12 |
| ワークの送り量を補正する | 2-15 |
| 作図中に送り量を補正する | 2-17 |
| 画像データを作図する | 2-18 |
| 作図を開始する | 2-18 |
| 作図を中止する | 2-19 |
| 本装置の情報を表示する | 2-20 |
| インク残量が少なくなったら | 2-22 |
| 電源をオフにする | 2-23 |
| 吸着テーブル用ブロワのオフ | 2-23 |

3章 日常のお手入れ

| | |
|-----------------------|-----|
| 日常のお手入れ | 3-2 |
| お手入れ上のご注意 | 3-2 |
| メンテナンス用洗浄液について | 3-3 |
| テーブル、外装のお手入れ | 3-3 |
| スライダ下面の付着インクの洗浄 | 3-3 |

| | |
|--------------------------------|------|
| ワイパとキャップのクリーニング | 3-4 |
| ノズルの洗浄[ノズル センジョウ] | 3-7 |
| ミストフィルタのお手入れ | 3-10 |
| フラッシングトレイインク吸収材の交換 | 3-11 |
| 廃インクタンクのインクが溜まったら | 3-13 |
| インク排出路の洗浄について[ハイロ センジョウ] | 3-14 |
| 長期間使用しない場合[ホカン センジョウ] | 3-16 |

4 章 設定機能について

| | |
|------------------------|------|
| メニューの基本操作 | 4-2 |
| タイプの登録 | 4-4 |
| 設定機能 | 4-5 |
| ディスプレイの表示言語を変更する | 4-10 |

5 章 メンテナンス機能

| | |
|---|------|
| メンテナンスについて | 5-2 |
| メンテナンス機能の導入について | 5-2 |
| 設定機能一覧 | 5-3 |
| 設定状態を作図する[リスト] | 5-4 |
| HEX コードで作図する[データダンプ] | 5-5 |
| ワークの厚みが変わったら[ドットイチ ホセイ] | 5-6 |
| キャリッジを移動する[ステーションメンテ]-[キャリッジアウト] | 5-8 |
| ワイパ交換メッセージを表示したら [ステーションメンテ]-[ワイパコウカン] | 5-9 |
| インクを充填する[インクジュウテン] | 5-11 |
| ワイパ寿命の警告を表示する[ワイパレベル] | 5-12 |
| ファームウェアバージョンを表示する[マシン ジョウホウ] | 5-13 |
| プリントヘッドラインを指定する[シヨウヘッド] | 5-14 |

| | |
|------------------------------|------|
| フラッシングとクリーニングの定期実行[テイキ セイギョ] | 5-15 |
| テイキ フラッシング | 5-15 |
| テイキクリーニング | 5-16 |

6章 困ったときは

| | |
|--------------------------------|-----|
| 故障?と思う前に | 6-2 |
| 電源が入らない | 6-2 |
| 作図できない | 6-2 |
| 作図不良が発生したときは | 6-3 |
| 白いスジ/カスレ/色の濃いスジが発生する (ヘッド移動方向) | 6-3 |
| 文字がワーク送り方向に2重、3重にブレる | 6-3 |
| 往復印字でズレが発生する / 色ごとにインクが重ならない | 6-3 |
| 作図中のワーク上に大きなインク滴が落ちる | 6-3 |
| 作図途中で色が薄くなり、作図しなくなる | 6-3 |
| 作図幅が狭い画像で帯状のスジが発生する | 6-3 |
| メッセージを表示するトラブル | 6-4 |
| ワーニングメッセージ | 6-4 |
| エラーメッセージ | 6-7 |

付録

| | |
|-----------|------|
| 基本仕様 | 付録-2 |
| インク仕様 | 付録-4 |
| 消耗品 | 付録-5 |
| 警告ラベルについて | 付録-6 |
| 機能フローチャート | 付録-8 |

索引

本装置のご紹介

本装置の持つ特長をご紹介します。本書で説明する操作方法と併せて、作図のご理解にお役立てください。

高信頼、高発色の新開発ソルベントインクを使用

新開発のソルベントインクの使用により、インクの受理層がなくても樹脂の表面にそのままプリントできます。耐水性、耐候性に優れたインクです。

高速プリントができます

より美しく、高速になった最新ピエゾ方式ヘッドを、前後4列にスタガ配列することにより、8ヘッドの高精密、高速4色作図ができます。

高精細・高画質作図ができます

最高720dpiの解像度による高画質な作図が可能です。

ヘッド高さが50mmまで変更できます

ボード、タイル、サイディングなど、厚物ワークに対応したプリントが可能です。

最大1870mm幅のワークに対応しています

最大幅1870mmのワークがセットでき、最大幅1860mmまで作図可能です。

インク残量を表示します

使用中のインクの残量を表示して確認できます。
無駄なくインクやメディアを使用できます。

高速インターフェイスを使用できます

高速インターフェイス「IEEE1394」の使用により、コンピュータからのデータ受信を高速に行えます。

原点が簡単に設定できます

十字のLEDポインタにより、視覚による設定が可能です。

ヘッド/ワークの衝突を防止します。

ヘッド保護センサにより、ヘッド高さを検出します。間違っって厚いワークをセットしたり、ヘッド高さの設定が低すぎても、ヘッド高さを検出し、ヘッドの衝突を回避します。

簡単メンテナンス

ヘッドの自動キャッピング方式により、電源をオフする前のヘッド洗浄が不要です。

インク詰まりは、クリーニング機能を実行して、復旧できます。

本装置は、一定時間ごとにインク詰まりを回避する動作を自動的に行います。ただし、主電源をオンにしておく必要があります。

使用していない時間を監視して、電源をオンにした時、および印刷開始時に自動クリーニングを実行し、インク詰まり等を防ぎます。

安全にお使いいただくために

マーク表示について

本書では、マーク表示により操作上の注意内容を説明しています。
各マークの意味を理解し、本装置を安全に正しくお使いください。

マーク表示の例 1

本書中に使用しているマークです。



★「警告」マークは、表示の指示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または傷害を負う可能性が想定される内容を示しています。



★「注意」マークは、表示の指示を無視して誤った取り扱いをすると、物的損害の発生が想定される内容を示しています。



●「ヒント」マークは、知っておくと便利なことが書かれています。操作の参考にしてください。

マーク表示の例 2



△マークは、注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。△中に具体的な注意事項（左図の場合は感電注意）が書かれています。



⊘記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が書かれています。



●記号は、行為を強制したり、指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は差し込みプラグをコンセントから抜いてください）が書かれています。

インク取り扱い上のご注意

警 告



本装置で使用する専用インクは、第2種有機溶剤（シクロヘキサノン）が含まれています。よって、「有機溶剤中毒予防規則」（労働省令）を遵守しなければなりません。（ES3インクは除く）



「有機溶剤中毒予防規則」を適用する場合は、規定された性能を有した局所排気装置、プッシュプル型換気装置、または全体換気装置を設け、十分に換気を行う必要があります。



本装置で使用する専用インクは、危険物第4種第二石油類、または危険物第4類第三石油類に該当します。よって、引火する可能性があるため、本装置を使用する場所は、火気厳禁としてください。



インクステーションやヘッドをクリーニングする際は、必ず付属の保護メガネと手袋を着用してください。



誤ってインクを飲み込んだ場合は、安静にして直ちに医師の診断を受けてください。嘔吐物は、飲み込ませないでください。その後、毒物管理センターに連絡してください。



蒸気を大量に吸い込んで気分が悪くなった場合は、直ちに空気の新鮮な場所へ移動し、暖かくして安静にしてください。また、直ちに医師の診察を受けてください。



廃インクは、産業廃棄物の廃油に該当します。産業廃棄物処理業者に処理を依頼してください。



本装置にソルベントインクを充てんした後は、水性インクは使用しないでください。インク経路を清浄しても、水性インクは使用できません。ゲル状の固まりが生じ、インク詰まりが発生します。

絶対にしないでください

警告

分解・改造はしない



- ★ 本装置やインクカートリッジの分解・改造は、絶対にしないでください。
感電や故障の原因になります。

湿気の多い場所では使用しない



- ★ 湿気の多い場所での使用や、装置に水をかけないでください。
火災や感電、故障の原因になります。

異常事態の発生



- ★ 万一、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常事態のまま使用すると、火災・感電の原因になります。
すぐに電源スイッチをオフにして、その後必ずプラグをコンセントから抜いてください。
煙が出なくなるのを確認してから、販売店または弊社営業所に修理をご依頼ください。
お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

レーザーセンサー



- ★ 本装置には、レーザーセンサーが取り付けられています。レーザーセンサーはJIS規格クラス1のレーザー製品に相当します。レーザー光をレンズなどの観察光学系を通して見ることは危険ですので、避けてください。目の痛みや視力障害の原因になります。

CAUTION
Laser radiation when open.
DO NOT STARE INTO BEAM.

クラス1レーザー製品
CLASS 1 LASER PRODUCT

・電圧について



- ★ 表示された電源仕様で使用してください。
また、電源ケーブルのプラグは、必ずアース処理したコンセントに差し込んでください。
火災・感電の原因になります。



電源ケーブルの取り扱い



- ★ 電源ケーブルを傷つけたり、破損したり、加工しないでください。
また、重い物をのせたり、加熱したり、引っ張ったりすると電源ケーブルが破損し、火災・感電の原因になります。

インクカートリッジの取り扱い



- ★ インクは、有害性です。皮膚に付着した場合は、直ちに石けんや水で洗った後、水で十分に洗い流してください。
万一インクが目に入った場合は、直ちに大量の清浄な水で15分以上洗い流し、まぶたの裏まで完全に洗い流してください。できるだけ早く医師の治療を受けてください。

















- ★ インクカートリッジや廃インクタンクは、子供の手の届かない場所に保管してください。



- ★ インクカートリッジのインクは、詰め替えないでください。
インクを詰め替えて生じた不具合に関して、弊社は一切、責任を負いかねます。

使用上のご注意

|  注 意 | |
|---|--|
| <p>ホコリから守る</p> <ul style="list-style-type: none">  ★ できるだけホコリの少ない部屋で利用してください。悪環境下では、リフレッシュレベルを2または3に設定してください。(⇒P.4-7)  ★ 夜帰宅する際は、ワークをセットしたままにしないでください。ワークの上にホコリが付着してしまいます。  ★ ワークはホコリがつかないように保管してください。ワークに付着したホコリを拭き取ると、静電気により逆効果になってしまいます。  ★ キャッピングステーションの拭き掃除（ホコリ、紙粉）は、こまめに行ってください。また、毛羽だったワイパはホコリをこすりつけている事と同じです。毛羽だったワイパは即交換してください。  ★ 作図中に、突然インクの雫がヘッドからワークに落ちるのもホコリが原因です。この場合は、ワイパやヘッドをクリーニングしてください。(⇒P.3-4) | <p>警告ラベルについて</p> <ul style="list-style-type: none">  ★ 本装置には、10種類の警告ラベルが貼ってあります。警告ラベルの内容を十分理解してください。なお、警告ラベルが汚れて読めなくなったり、剥がれた場合は、販売店、または弊社営業所にて新しい警告ラベルをお買い求めください。(⇒P.付録-6) |
| 専用インクをお使いください。 | |
| <ul style="list-style-type: none">  ★ 本装置専用のインク以外は使用しないでください。本装置専用インク以外のインクでは、装置保護のため、動作しません。  ★ 本装置専用のインクは、他のプリンターで使用しないでください。プリンターが壊れます。 | |
| 定期交換部品があります。 | |
| <ul style="list-style-type: none">  ★ 本装置には、定期的に変換する部品があります。保守契約が必要となります。 | |
| 電源供給について | |
| <ul style="list-style-type: none">  ★ ブレーカーは、常時オンにしておいてください。  ★ 電源スイッチは、お手入れ時以外は、オフにしないでください。(⇒P.2-3) | |
| <p>ステーションカバーについて</p> <ul style="list-style-type: none">  ★ 作図中にステーションカバーを開けないでください。作図が終了してしまいます。 | |
| 装置を水平に保つ | |
| <ul style="list-style-type: none">  ★ 必ず、レベルフットを調整し、本装置を水平に保つようにしてください。 | |

⚠ 注意

インクカートリッジについて



★ カートリッジを寒い所から暖かい所に移した場合は、3時間以上室温環境下に放置してから利用してください。



★ カートリッジは、取付直前に開封してください。
開封した状態で長時間放置しておくと、正常に作図できない場合があります。



★ カートリッジは、冷暗所で保存してください。



★ カートリッジは、開封してから3カ月以内に使い切ってください。
開封後、長時間経過したものは、作図品質が低下します。



★ 専用インク以外を使用すると、故障の原因になります。
専用インク以外を使用して故障した場合の修理料金は、お客様の負担になります。ご了承ください。



★ カートリッジ内のインクを詰め替えないでください。










★ インクカートリッジを強くたたいたり、激しく振り回さないでください。カートリッジからインクが漏れる場合があります。



★ インクカートリッジのインクの詰め替えはしないでください。
インクを詰め替えて使用して生じた不具合について、弊社はいっさい責任を負いかねます。

設置上のご注意

|  注 意 | |
|---|--|
| <p>直射日光が当たる場所</p> <p> ★ 直射日光の当たる場所に、本装置を設置しないでください。メディアが変色する可能性があります。</p> | <p>水平でない場所</p> <p> ★ 水平でない場所、安定しない場所に、本装置を設置しないでください。安定した作図が得られません。</p> |
| <p>温度や湿度の変化が激しい場所</p> <p> 次の環境下でお使いください。 使用環境 : 20～35℃ 35～65%(Rh)</p> | <p>振動が発生する場所</p> <p> ★ 振動が発生する場所に、本装置を設置しないでください。安定した作図が得られません。</p> |
| <p>エアコンなどの風が直接当たる場所</p> <p> ★ エアコンなどの風が直接当たる場所に、本装置を設置しないでください。インクが飛び散る可能性があります。</p> | <p>粉塵・タバコの煙が充満している場所</p> <p> ★ 粉塵、タバコの煙が充満している場所に、本装置を設置しないでください。ほこりがつきやすく、飛行曲がりなどが発生します。</p> |

本書の読み方

ディスプレイとキーの表記

操作手順と合わせて、操作パネルの「ディスプレイ」に表示する文字や、使用する【 】について説明します。(⇒P1-6)

ディスプレイ表記

右図のように枠の中に、表示する内容を文字表記します。

操作手順の説明文に合わせて、確認しながら操作を進めます。

ディスプレイに表示する設定項目やメッセージを、文章中では[タイプ1]・[パラメータ]のように[]を使用して説明しています。

| | |
|----------|---------|
| FUNCTION | |
| セッテイ | < ENT > |

| | |
|------|--------|
| セッテイ | |
| センタク | : タイプ1 |

操作キー

本書では、操作キーを【 】で説明しています。

【▲】【▼】はジョグキーを意味します。

その他の操作キーは、【FUNCTION】のように操作キーの名称を【 】の中に表記します。

本書の構成

本書は、6つの章に分けて本装置の取り扱いの説明をします。

はじめに

本装置をご使用になる前に、ご理解していただきたいことや、本書の読み方を説明しています。

1章 作図の前に

本装置の各部の名称とはたらき、インクやメディアについて説明します。

2章 基本操作

電源のオンから作図終了までの一連の動作、設定について説明します。

3章 日常のお手入れ

日常行う本装置のクリーニングなどを説明します。

4章 設定機能

作図条件を設定するファンクションメニューについて説明します。

5章 メンテナンス機能

画質不良・画質劣化の対処や、ワイパの交換方法など、メンテナンスについて説明します。

6章 困ったときは

本装置になんらかの異常が発生した場合のトラブル解消方法について説明します。

付録

本装置の仕様、機能フローチャート、別売品などをご紹介します。



1章 作図の前に

各部の名称、使用できるワークやインクについて説明します。

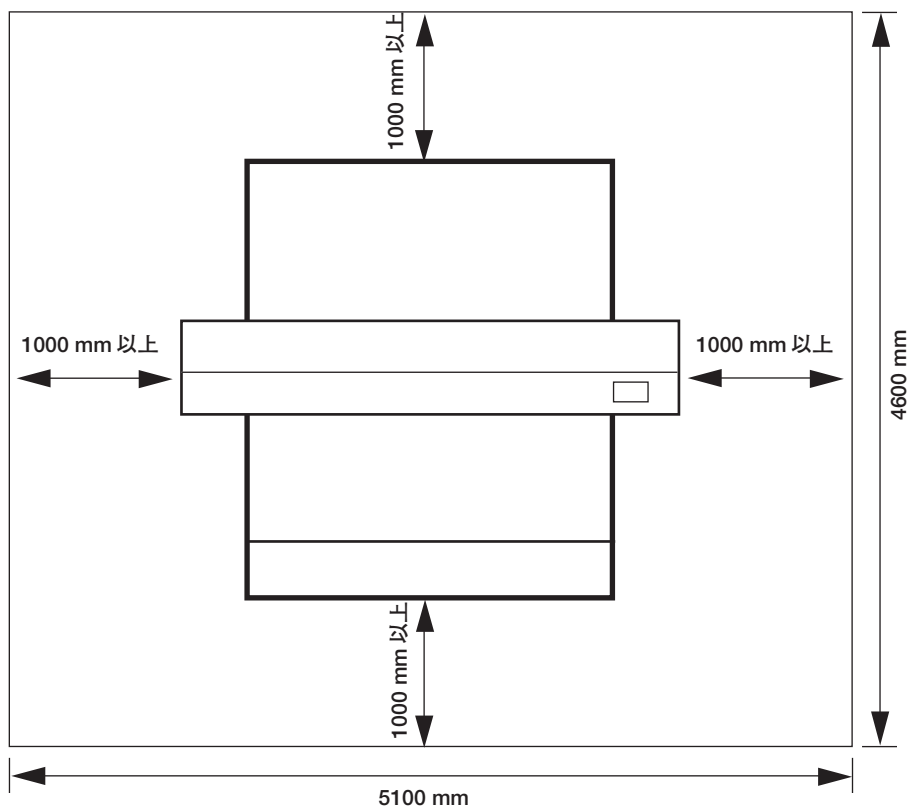
本章の内容

| | |
|----------------------|------|
| 設置場所について | 1-2 |
| 本装置の移動 | 1-3 |
| 各部の名称とはたらきについて | 1-4 |
| インクについて | 1-9 |
| 使用可能なワークについて | 1-11 |
| モードについて | 1-12 |

設置場所について

本装置を組み立てる前に、設置するスペースを確保してください。
本体の大きさと作図のために必要なスペースを考慮して設置します。

| 機種 | 横幅 | 縦幅 | 高さ | 全体重量 |
|-----------|---------|---------|---------|-----------|
| DM3-1810S | 3070 mm | 2560 mm | 1350 mm | 650 kg 以下 |



使用環境温度

本装置は、安定した作図を行うために、20 ~ 35 °C の環境でご使用ください。
周囲の温度条件により、作図結果が異なることがあります。

本装置の移動

本装置を組み立て後、設置場所などへの移動方法について説明します。
移動するときは、テーブルフレームのレベルフットを十分に上げてください。

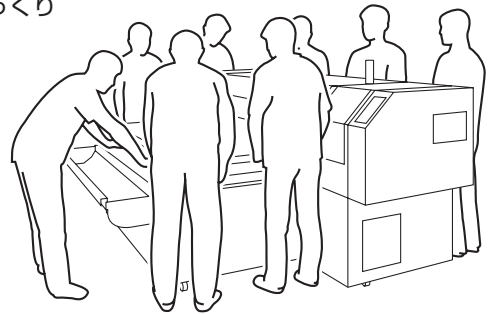


警告

- ★ 移動する前に、電源ケーブル、インターフェイスクーブルを必ず抜いてください。
- ★ 移動する時は、大きな振動を与えないでください。
- ★ 移動後は、必ずレベルフットを調整し、水平出しを行ってください。

移動方法

本装置を移動するときは、8人以上でゆっくり
と図のように運んでください。



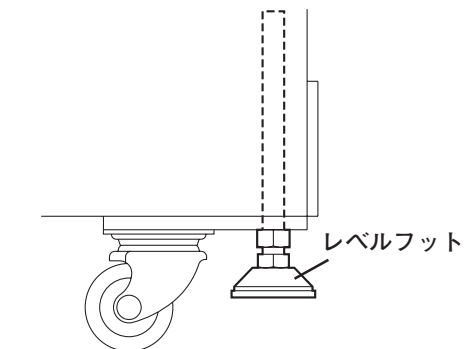
キャストのロック

装置を移動するときは、テーブルフレームの
レベルフットを十分に上げてください。
本装置を設置するときは、レベルフットを
下げ、水平出しを行ってください。



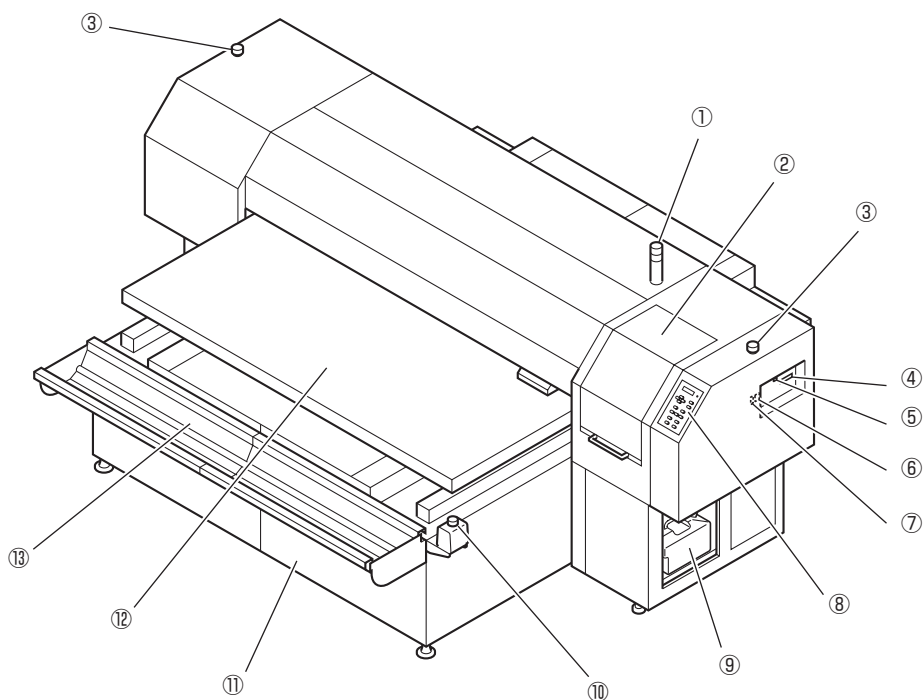
注意

- ★ 水平出しは、テーブル面が最前位置、および最後位置にて水平となるよう、水準器などを用いて行ってください。



各部の名称とはたらきについて

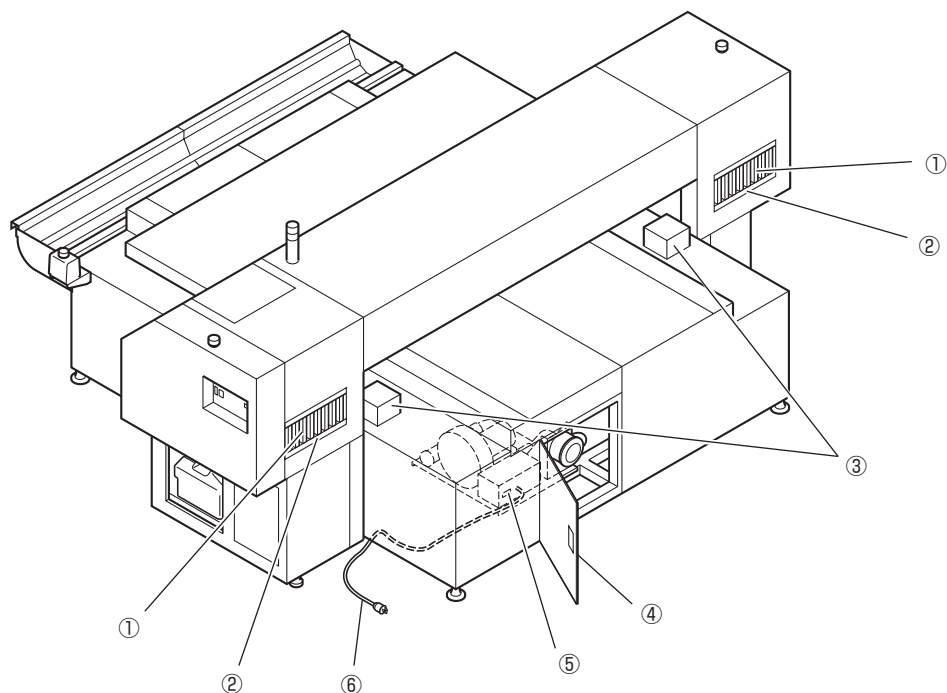
装置前面



| | 名称 | はたらき |
|---|---------------------|---|
| ① | 表示灯 | 動作中（緑）、異常（赤）を表示します。 |
| ② | ステーションカバー | メンテナンスステーションのカバーです。ステーションメンテの際に開きます。（⇒3章） |
| ③ | EMERGENCY ストップ スイッチ | 可動部を停止します。 |
| ④ | パラレルコネクタ | 双方向パラレルインターフェイスコネクタです。（IEEE1284 準拠） |
| ⑤ | IEEE1394 コネクタ | 400 Mbps の IEEE1394 に準拠したインターフェイスです。 |
| ⑥ | AC インレット | 電源ケーブルを接続します。 |
| ⑦ | 電源スイッチ | 本装置の電源をオン / オフします。（⇒P.2-3） |
| ⑧ | 操作パネル | 本装置に必要な設定を行う操作キーや、操作項目を表示するディスプレイがあるパネルです。 |
| ⑨ | 廃インクタンク | 廃インクを溜めるタンクです。（⇒P.3-13） |
| ⑩ | プロワ操作スイッチ | プロワの電源をオン / オフします。（⇒P.2-4） |
| ⑪ | テーブルフレーム | 本体を支える部分です。本装置を移動するためのキャスタとレベルフットが付いています。（⇒P.1-3） |
| ⑫ | テーブル | ワークを固定し、作図時に前後に移動します。（⇒P.2-7） |
| ⑬ | ロール受け | ロール状ワーク、テーブル吸着穴目張りシート等の置き台として使用します。 |

各部の名称とはたらきについて

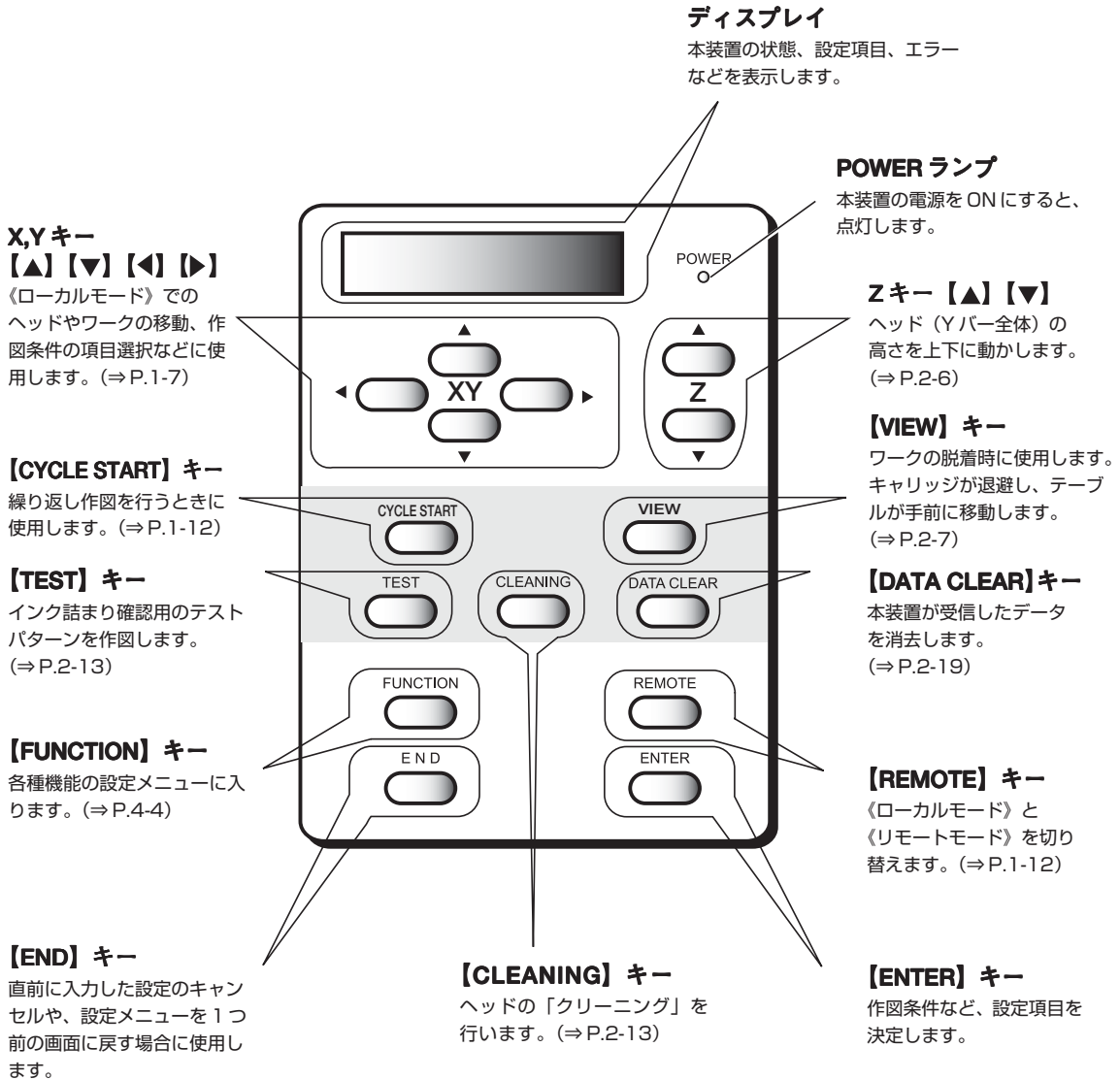
装置背面



| | 名称 | はたらき |
|---|---------------------|---------------------------------------|
| ① | インクカートリッジ | 各色のインクが入っています。 |
| ② | インクステーション | インクカートリッジをセットします。 |
| ③ | ミストフィルタ (定期交換部品) | ブロワで吸引したほこり、インクミストなどを除去します。(⇒P.3-10) |
| ④ | ブロワ扉 | ブロワ(吸着テーブル)のメインスイッチ操作時に開閉します。(⇒P.2-4) |
| ⑤ | ブロワ主電源スイッチ | ブロワの主電源をオン/オフします。 |
| ⑥ | ブロワ電源ケーブル | ACコンセントに接続します。 |





操作パネル

操作パネルは、作図方法の設定、各種操作に使用します。



X,Y キーのはたらき

X,Y キーは、使用するタイミングにより機能が異なります。

| | 作図原点、範囲設定時 | 機能選択時 | 設定の選択時 |
|---|----------------------|------------|-----------|
|  | キャリッジを左へ移動 | | |
|  | キャリッジを右へ移動 | | |
|  | ワーク（テーブル）を 奥側へ移動 | 1 つ前の機能に戻る | 次の値を選択 |
|  | ワーク（テーブル）を を手前に移動 | 次の機能に移る | 1 つ前の値を選択 |

Z キーのはたらき

Z キーは、ヘッド（Y バー）の高さを上下に動かします。（⇒P.2-6）

キャッピングステーション



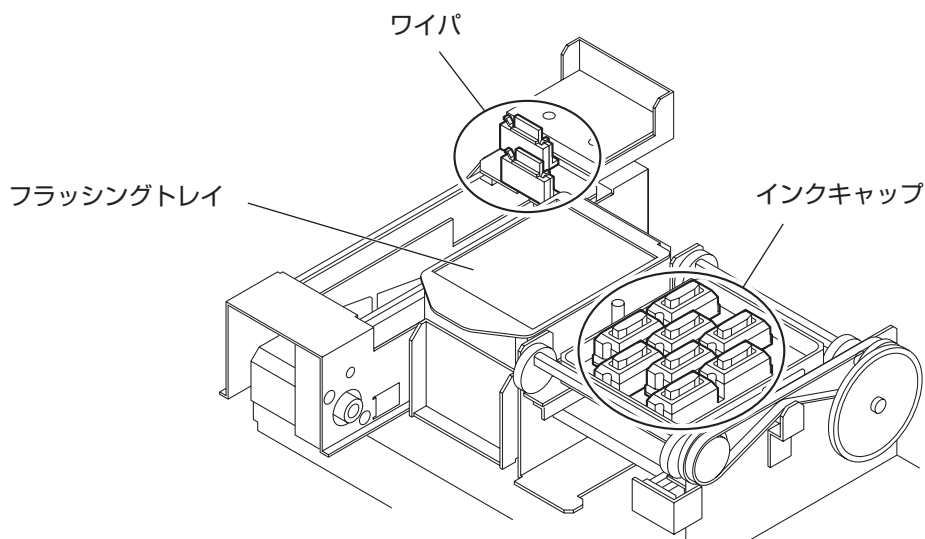
- ★ キャッピングステーション内をクリーニングする場合は、必ず付属の保護メガネを着用してください。目にインクが入る危険があります。

キャッピングステーションは、インクキャップのヘッドのメンテナンスに必要なワイパなどで構成されています。

インクキャップは、プリントヘッドのノズル乾きを防ぎます。












ワイパは、ヘッドのクリーニングに使用します。

ワイパは消耗品です。ワイパが変形したり、ワークが汚れる場合は、新しいワイパに交換してください。









インクについて

取り扱い上のご注意

- 
 ★ インクには有害性があります。皮膚に付着した場合は、直ちに石けん水で洗った後、水で十分に洗い流してください。
 万一、インクが目に入った場合は、直ちに大量の清浄な流水で15分以上洗い流し、まぶたの裏まで完全に洗い流してください。できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 
 ★ インクカートリッジは分解しないでください。
- 
 ★ インクカートリッジを強く振らないでください。強く振ったり、振り回すと、カートリッジからインクがもれることがあります。
- 
 ★ インクカートリッジのインクを詰め替えないでください。故障の原因になります。また、インクを詰め替えて使用して生じた不具合について、弊社はいっさい責任を負いかねます。
- 
 ★ 専用のインクカートリッジをご使用ください。本装置は、専用のインクカートリッジを認識して動作します。インクカートリッジ等の改造により故障した場合は、保証期間内であっても保証の対象外になります。
- 
 ★ インクカートリッジの基板接点部分は、手で触れたり汚さないでください。基板故障の原因になります。
- 
 ★ インクカートリッジを寒い所から暖かい所に移した場合は、3時間以上、室温環境下に放置してから使用してください。
- 
 ★ インクカートリッジは開封してから6カ月以内に使い切ってください。開封後、長時間経過したものは作図品質が低下します。
- 
 ★ インクカートリッジは冷暗所で保存してください。
- 
 ★ インクカートリッジは、子供の手の届かない場所に保管してください。
- 
 ★ 空になったインクカートリッジは、産業廃棄物の処理業者に処理を依頼してください。

有機溶剤中毒予防

有機溶剤は、蒸発しやすく、脂肪を溶かし、呼吸器や皮膚から吸収されます。人体の臓器、中枢神経へ作用し、急性中毒や慢性中毒を発生します。有機溶剤中毒を予防するため、以下の事項を厳守してください。

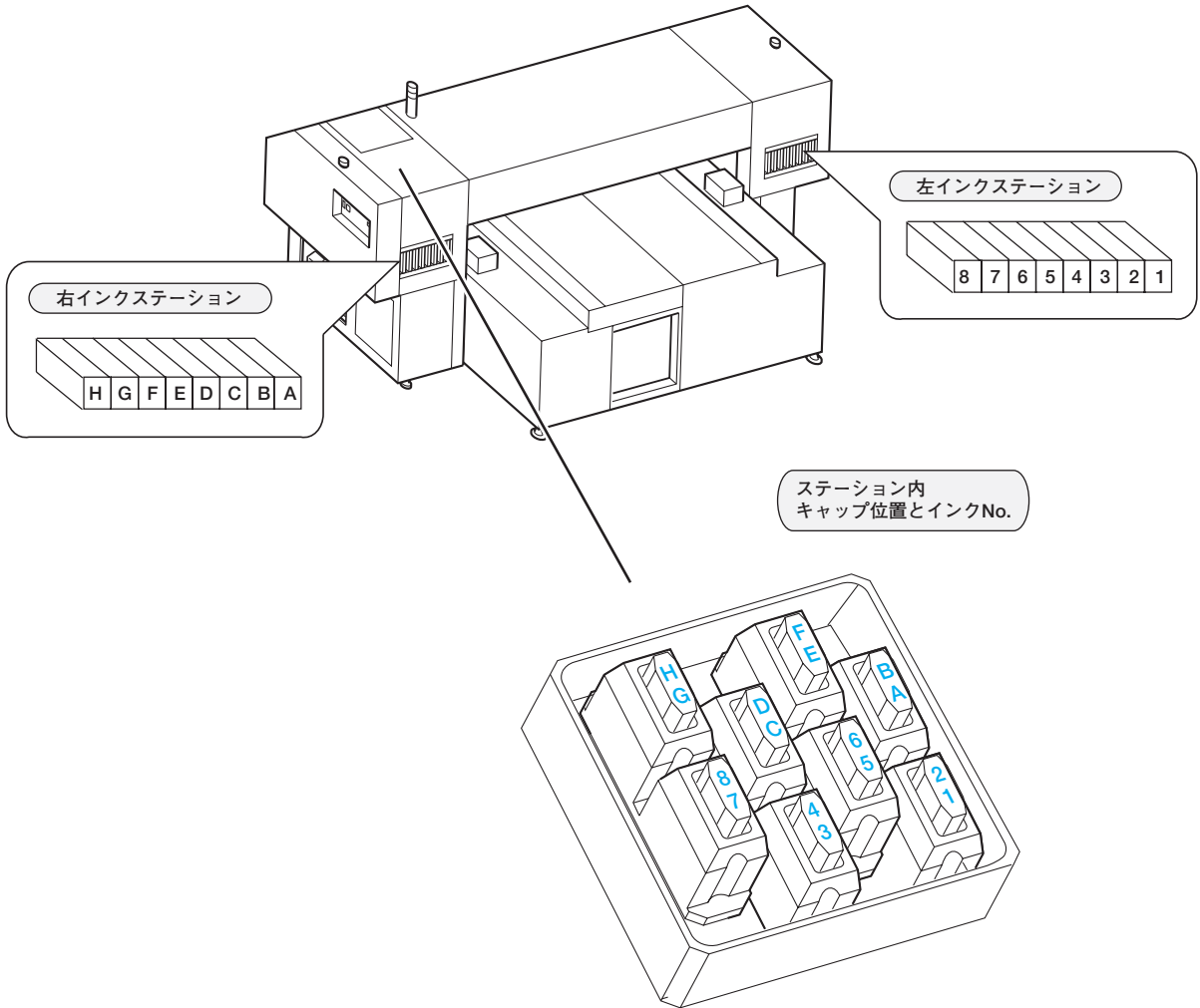
- 
 ★ 適正な換気装置をつけてください。
- 
 ★ 換気装置は、定期的に点検してください。
- 
 ★ 有機溶剤の人体に及ぼす作用、注意事項などを、掲示してください。
- 
 ★ 6ヶ月に1回は、環境測定（作業環境測定士による環境測定、有機溶剤の濃度測定）を行ってください。また、環境測定結果から改善を行ってください。
- 
 ★ 6ヶ月に1回は、健康診断を行ってください。
- 
 ★ 有機溶剤作業主任者技能講習を受けてください。

インクステーションとヘッド列の関係

「右インクステーション」は、キャリッジの前側2列にインクを供給します。

「左インクステーション」は、キャリッジの後ろ側2列にインクを供給します。

ヘッドのノズル詰まりのチェックや、インクを交換する場合の対応関係にご使用ください。



使用可能なワークについて

使用可能なワークサイズと、その取り扱い方法について説明します。

使用可能ワークサイズ

使用可能なワークは、以下の通りです。

| | |
|-------|-----------------|
| 最大幅 | 1870 mm |
| 最大長 | 1050 mm |
| 最大作図幅 | 1860 mm |
| 最大作図長 | 1010 mm |
| 厚さ | 50 mm 以下 |
| 重量 | 等分布荷重で 60 kg 以下 |

ワーク取り扱い上の注意

ワークの取り扱いについて、次の点にご注意ください。



★ ワークの厚さ

ワークをセットする場合、必ずヘッドの高さを調整してください。
ワークやヘッドを破損する恐れがあります。



★ ワークの伸縮

包装を開けて間もないシート状のワークは、使用しないでください。
室内の温度や湿度によって、ワークが伸縮する場合があります。
包装を開けて 30 分以上、使用する場所の外気にさらす必要があります。



★ ワークの反り

板状ワークは、平らなもの、作図面を上にして下に反っているもの（中央が浮いているもの）をご使用ください。上に反っているワークは、テーブルに吸着できない場合があります。

反りやすいワークは、一回り小さめの台、パレットなどの上に置くなど、下反りになるように保管してください。



★ ソルベントインクの定着性向上

ワークを 40℃ 以上に温めておくと、インクの定着性が上がります。



★ 吸着テーブルを使用する場合

ワークが覆えないテーブル上の吸着穴は、吸着効果を維持するために全て塞いでください。



★ その他の注意点

- ・ 本装置は、テーブル可動式です。吸着しきれないカールしたワークや、テーブル動作時にずれてしまうワークは使用できません。どうしてもという場合は、テーピングでワークを固定してからご使用ください。

モードについて

本装置には4つのモードがあります。
各メニューモードについて説明します。

《ローカルモード》

ローカルモードは、作図準備状態のモードです。

全てのキーが有効です。

コンピュータから、データを受信できます。ただし、作図は行いません。

ローカルモードでは以下の操作が可能です。

1. X,Y キーを押して、作図原点や作図範囲を設定します。
2. Z キーを押して、ヘッド (Yバー) の高さを設定します。
3. [TEST] キーを押して、「テスト作図」をします。
4. [CLEANING] キーを押して「ヘッドクリーニング」をします。
5. [DATA CLEAR] キーを押して、受信した作図データを消去します。
6. [FUNCTION] キーを押して、機能を設定します。
7. [VIEW] キーを押して、ワーク脱着をしやすい状態にします。

《リモートモード》

受信したデータを作図します。

ローカルモード時は、[REMOTE] キーを押すとリモートモードになります。

《サイクルスタートモード》

「Raster Link Pro」との組み合わせで、同一データの繰り返し作図 (コピー) が可能になります。

「Raster Link Pro」のコピー機能により、その都度データをコンピュータから送信する必要がありません。

ローカルモード時は、[CYCLE START] キーを押すとサイクルスタートモードになります。

- ・ ES3 インク充填時は、ES3用プロファイルをインストール後ご使用ください。

《ファンクションモード》

ローカルモード時に、[FUNCTION] キーを押すとファンクションモードになります。

作図方法に関する機能の設定を行います。

2章

基本操作

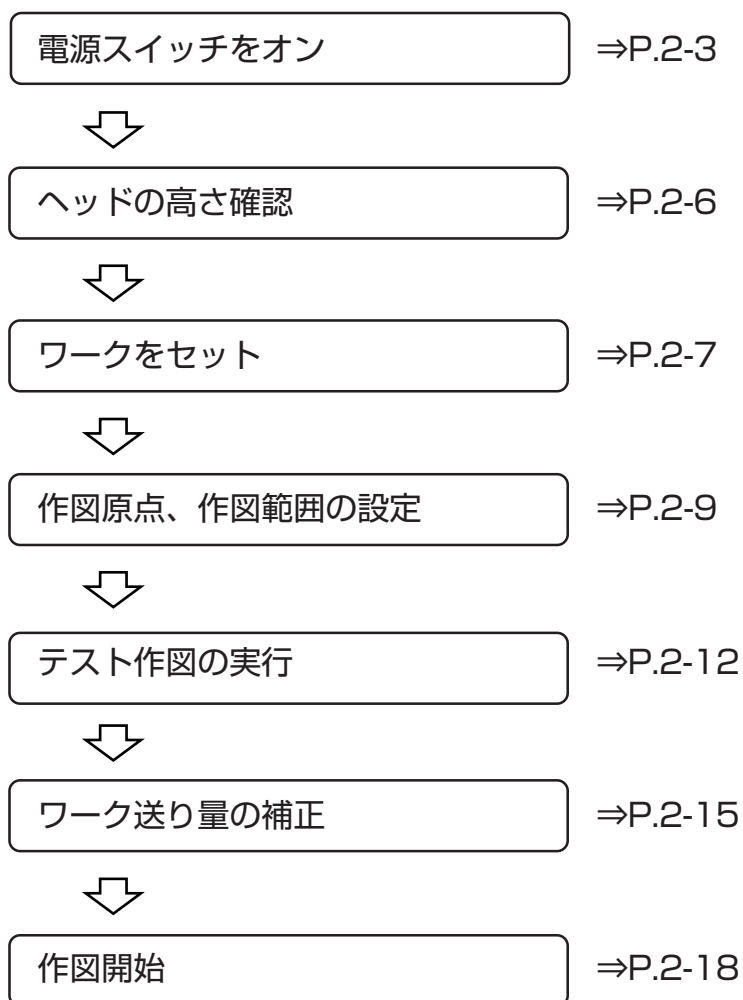
作図を行うために必要な操作について説明します。

本章の内容

| | |
|----------------------|------|
| 作業の流れ | 2-2 |
| 電源をオンにする | 2-3 |
| ステーションカバーについて | 2-5 |
| ヘッドの高さを調整する | 2-6 |
| ワークをセットする | 2-7 |
| 作図原点、作図範囲を設定する | 2-9 |
| ワーク外の吸着穴を塞ぐ | 2-11 |
| ノズル詰まりの確認/解消 | 2-12 |
| ワークの送り量を補正する | 2-15 |
| 作図中に送り量を補正する | 2-17 |
| 画像データを作図する | 2-18 |
| 本装置の情報を表示する | 2-20 |
| インク残量が少なくなったら | 2-22 |
| 電源をオフにする | 2-23 |

作業の流れ

電源を入れてから、作図が終了するまでの作業について説明します。
各項目の詳細は、参照ページをご覧ください。



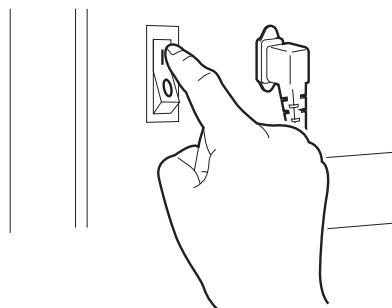
電源をオンにする

電源のオン

1. 本装置の電源を入れます。
電源スイッチを「|」側に倒すと、電源がオンになります。



- ★ ステーションカバーは閉じておいてください。
カバーを開けておくと、電源を入れてもキャリッジが動きません。



電源をオンにするると[BOOT]を表示し、続けてファームウェアのバージョンを表示します。

BOOT

DM3-1810S V * . * *

シバラク オマチクダサイ

2. [シバラク オマチクダサイ]の表示を点滅します。
初期動作を実行します。



- ★ テーブルが手前に移動します。
手がついていると危険です。



- ★ インクノズル詰まり防止のため、通常は電源をオフにしないでください。(⇒P.2-23)
お手入れなどの際、電源をオフにした場合は、オフ時間に応じて、ノズル詰まり防止機能が動作することがあります。

3. ローカルモードになります。
作図範囲のサイズを表示します。

<<ローカル>>

X=1010 Y=1860



注意

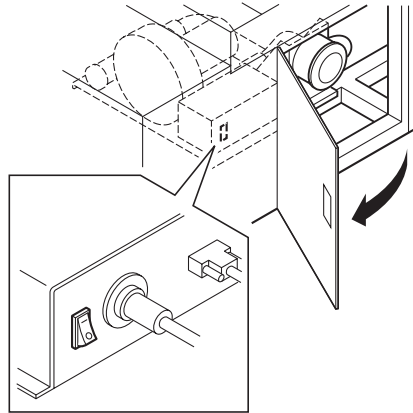
- ★ インクの初期充填が済んでいない場合は、ローカルモードになりません。
インクの初期充填を行ってください。(⇒セットアップガイドP.28)
- ★ インクカートリッジをセットしていない場合は、以下の表示になります。

ジュウテン カートリッジ
1 2 3 4 5 6 7 8 A B C D E F G H

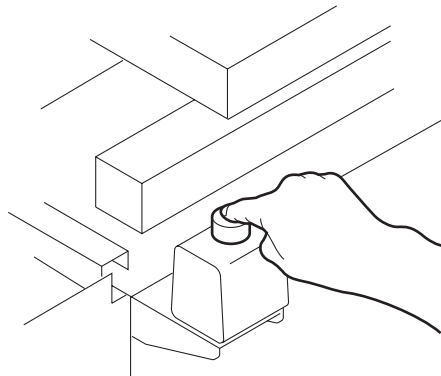
4. 接続してあるコンピュータの電源をオンにします。

吸着テーブル用ブロワのオン

1. ブロワ扉を開けます。
2. ブロワ電源スイッチを「|」側に倒します。



3. ブロワ操作スイッチを1回押します。
(スイッチのランプが点灯します。)
ブロワがオンになり、エア吸引状態になります。



- サイクルスタートモード時は、1回の作図が終わり、テーブルがワーク脱着位置に戻った時点で、ブロワは自動的にオフになります。

ステーションカバーについて

ステーションカバーの開閉について



★ 作図中にステーションカバーを開けないでください。作図中にステーションカバーを開けると、画像の作図を中断し、継続できなくなります。

作図中にステーションカバーを開けてしまった場合、本装置は安全のためキャリッジを停止し、作図動作が止まります。

次の操作手順で本装置、およびコンピュータを再起動してください。

操作手順

1. 作図中にステーションカバーを開けると、メッセージを表示します。
作図を停止します。

ステーションカバー マタハ
STOP スイッチヲ チェック

2. コンピュータからのデータ送信を停止します。

3. ステーションカバーを閉めます。

< ENT >ヲ オシテクダサイ

4. 【ENTER】キーを1回押します。



シバラク オマチクダサイ

5. キャリッジが動き始めます。
本装置の電源をオンにした時と同じ初期動作をします。(⇒P.2-3)

ヘッドの高さを調整する

使用するワークの厚みに応じて、ヘッドの高さを調整する必要があります。
ワーク厚に対して適正なヘッド高さでない場合は、作図も適正に行われません。
また、作図品質の低下、またはワークや本装置が破損するなど大変危険です。
必ずヘッドの高さを確認してください。



★ ヘッドの高さは、ワークをセットする前に調整してください。



● ヘッド高さの数値を確認する場合、ローカルモードまたはリモートモード、CYLCE モードで【ENTER】キーを押します。(⇒P.2-20)

操作手順

1. ローカルモードにします。

<<ローカル>>
X=1010 Y=1860

2. Zキー【▲】または【▼】を押して、ヘッドの高さを変更します。

ヘッドの高さは、ワークの厚み+1.0～2.0 mmが適当です。事前にワークの厚みを確認しておいてください。



ヘッド タカサ
. mm



注意

★ ワークの厚さが均一でない場合、最も厚い部分をそのワークの厚さとして調整してください。

3. 【ENTER】キーを押します。



ヘッド タカサ
. mm

4. ローカルモードになります。

<<ローカル>>
X=1010 Y=1860

ワークをセットする

下記の手順で、ワークをテーブルにセットします。



- ★ ワークをセットする前に、必ずヘッドの高さを確認してください。(⇒P.2-6)
- ★ テーブル上にある、ワークの載っていない吸着穴を塞いでください。(⇒P.2-11)
- ★ 平らなワーク、または下反り（中央が浮いている状態）のワークをご使用ください。上反りのワークは、テーブルに吸着できない場合があります。(⇒P.1-11)
- ★ エアー吸着機能で固定しきれないワークの場合は、テーピングを併用してください。

操作手順

1. 電源をオンにします。

<<ローカル>>
X=1010 Y=1860

2. ヘッドの高さを調整します。(⇒P.2-6)
調整後、ローカルモードになります。

ヘッド タカサ
* * . * mm

<<ローカル>>
X=1010 Y=1860

3. 【VIEW】キーを押します。



ビュー
< ENT >

4. 【VIEW】キーまたは【ENTER】キーを押します。
テーブルが手前に移動します。



* * ビュー * *

5. ローカルモードに戻ります。

<<ローカル>>
X=1010 Y=1860

6. ワークをテーブル上のマークに合わせてセット
します。



- ★ 作図中にワークが浮いたり動かないように、ワークを固定してください。

ワーク押さえで固定する

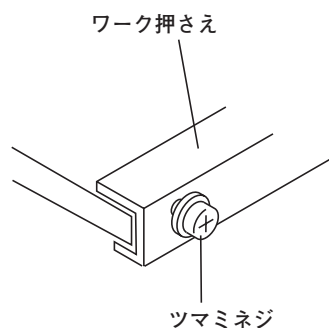
セット可能サイズ(1870x1050 mm)に近い大きさで、上反り（2辺または4辺が浮いている状態）のワークを固定する場合、テーブル4辺にあるワーク押さえで固定することができます。

操作手順

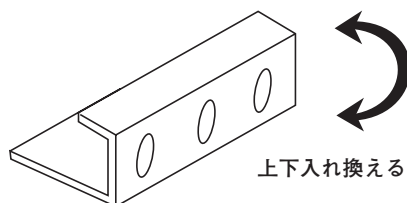
1. ワーク押さえを固定しているツマミネジを緩めます。（または外します。）



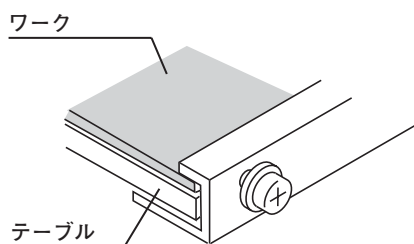
★ ワーク押さえの左右ツマミネジには、ネジ部分にカラーが取り付けられています。カラーをなくさないように注意してください。



2. 固定するワークサイズに合わせ、ワーク押さえの上下を入れ換えます。



3. ワーク押さえとテーブルの隙間にワークを差し込みます。

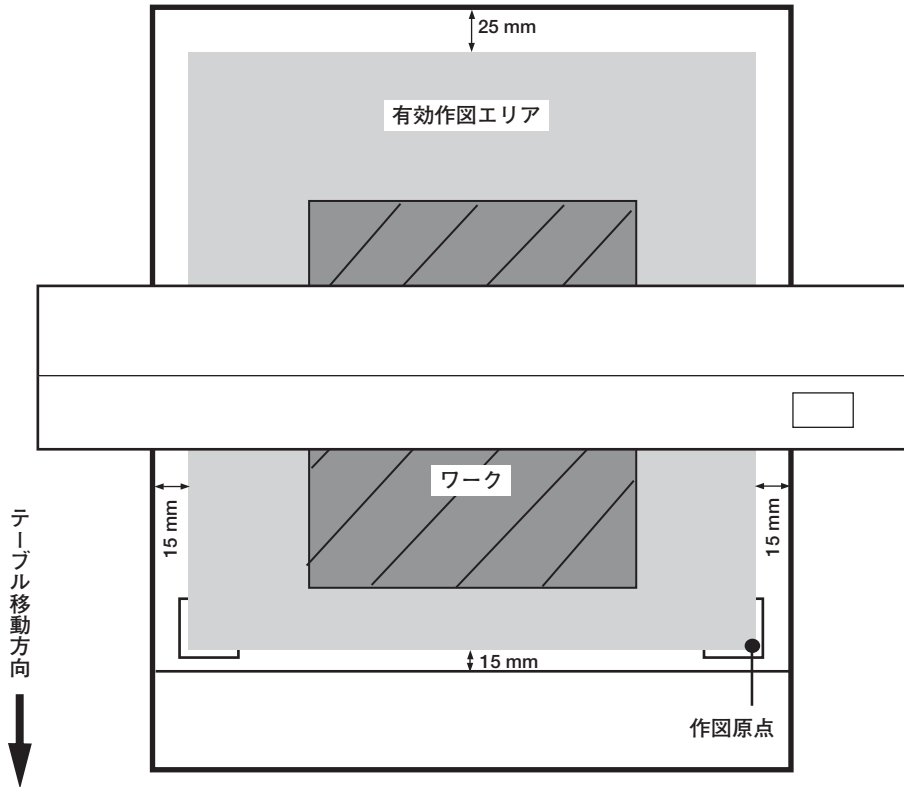


4. ワーク押さえを下に押しつけた状態で、ツマミネジを固定します。

作図原点、作図範囲を設定する

初期値

作図原点、作図範囲は、新たに設定するまで、下図のようになっています。



作図原点、作図範囲の設定

初期値以外の場所で作図する場合は、原点、作図範囲を変更します。



- ★ ワーク全面にプリント（縁なしプリント）する場合、作図原点、作図範囲ともワークの外に設定します。作図原点、作図範囲は、できる限りワークぎりぎりに設定してください。装置や、その周辺の汚れが少なくなります。特に厚みのあるワークの場合、ワーク外に浮遊するインクミストが多くなります。

操作手順

1. ローカルモードにします。

<<ローカル>>
X=1010 Y=1860

2. XYキー【▲】、【▼】、【◀】または【▶】を押し、作図原点を設定する位置までキャリッジを動かします。

キャリッジに合わせて原点が変わります。

ゲンテンセッテイ
X=500 Y=970



- テーブル、またはワーク上に「+」字のポイントマークを映します。その点が表示座標になります。

3. 作図原点を決定したら、【ENTER】キーを押します。



ゲンテンセッテイ
**** ゲンテン ****

4. 【ENTER】キーを押します。

作図範囲を変更しない場合は、【END】キーを押します。

サクズ ハンイ
end < > ent

5. XYキー【▲】、【▼】、【◀】または【▶】を押し、作図範囲を設定します。

キャリッジ移動による作図範囲をディスプレイに表示します。

サクズ ハンイ
X=990 Y=1860

6. 作図範囲を決定したら、【ENTER】キーを押します。

ローカルモードになります。

ディスプレイに設定した作図範囲を表示します。



<<ローカル>>
X=990 Y=1860



- 再度、作図原点、作図範囲を変更するまで、この設定を保存します。
- 作図範囲を作図原点と同じ位置に設定すると、作図範囲は初期値になります。

ワーク外の吸着穴を塞ぐ

ワークのサイズにより、テーブル上の吸着穴を全て塞げないことがあります。
ワーク吸着機能は、テーブル上のワーク外の穴も塞ぐと、より効果があります。
必要に応じて、紙、フィルムなどのシートで穴を塞いでください。



- ロール受けは、ロール状のワークや、ワーク外吸着穴用ロールシートの置き台としてご利用ください。



注意

- ★ 作図範囲をワーク外に設定した場合、作図範囲の吸着穴は、全て塞ぐようにしてください。吸着穴からインクを吸い込むのを防ぎます。

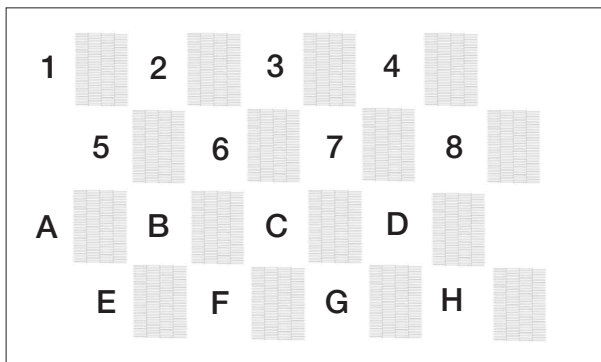
ノズル詰まりの確認 / 解消

テスト作図を行い、ノズル詰まりなどの作図不良（カスレや抜け）がないか確認します。
異常がある場合は、クリーニング機能を実行します。



★ テストパターンを作図する場合、A4（縦置き）サイズ以上の紙を使用してください。

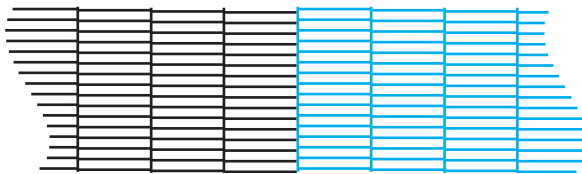
テストパターン



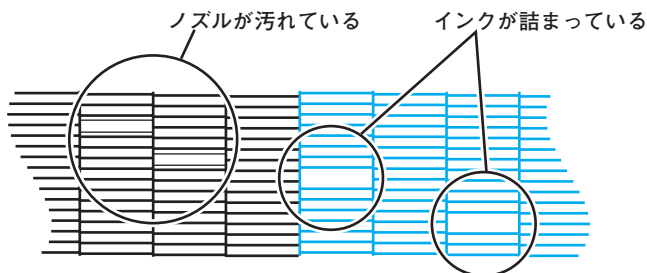
テーブル
移動方向



正常なパターン



異常なパターン



ノズル詰まりの確認 / 解消

操作手順

1. ローカルモードにします。

<<ローカル>>
X=1010 Y=1860

2. 【TEST】キーを押します。



テスト サクズ
< ENT >

3. 【TEST】キーまたは【ENTER】キーを押します。
テスト作図を開始します。



** テスト サクズ **

テスト作図が終了すると、テーブルが手前に移動し、ローカルモードになります。

<<ローカル>>
X=1010 Y=1860

4. 作図結果を確認します。
正常な場合は、操作を終了します。

異常があった場合は、以下の操作を行います。

5. [CLEANING] キーを押します。



<<ローカル>>
X=1010 Y=1860

6. XYキー【◀】または【▶】を押して、クリーニングするヘッドブロックを選択します。
(⇒インクステーションとヘッド列の関係P.1-10)



クリーニング: 1 2 5 6 3 4 7 8
センタク : A B E F C D G H
[1256ABEF] / [3478CDGH]

7. XYキー【▲】または【▼】を押して、選択したブロックのクリーニングを実行するか選択します。
[- - -]を表示しているヘッドは、クリーニングしません。



クリーニング: 1 2 5 6 - - -
センタク : A B E F - - -
On / Off

8. 【ENTER】キーを押します。



9. XYキー【▲】または【▼】を押して、クリーニングタイプを選択します。



クリーニング
タイプ : ノーマル
ノーマル / ソフト / キョウリョク

ノーマル: 線の抜けがある時

ソフト: 作図カスレがある時

キョウリョク: ノーマル、ソフトで作図不良が改善しない時

10. 【ENTER】 キーを押します。
残り実行時間を表示します。



クリーニングチュウ
00:***:**

11. ローカルモードに戻ります。

<<ローカル>>
X=1010 Y=1860

12. ワークを交換、または作図原点を更新します。

13. 再度手順2,3を実行し、作図結果を確認します。
作図結果が正常になるまで、手順2～10を繰り返します。



- ★ クリーニング動作を繰り返しても作図不良が改善しない場合は、ワイパとインクキャップを清掃してください。(⇒P.3-4)

ワークの送り量を補正する

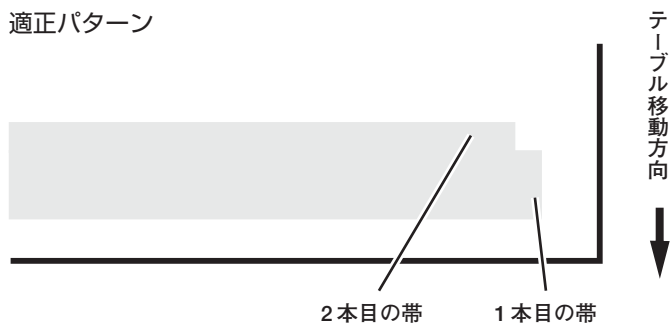
ワークの種類を変えた場合などは、ワークの送り量を補正します。
補正値が適切でないと、縞が入るなど、綺麗に作図できない場合があります。
作図中に、送り量を補正することもできます。(⇒P.2-17)

補正パターン

2本の帯を作図します。
2本の帯の境が均等の濃さになるように調整してください。

設定値 -100～100

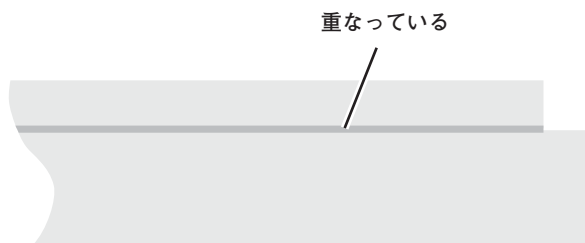
適正パターン



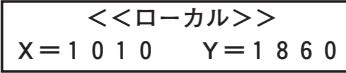




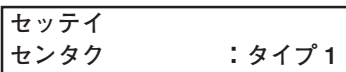


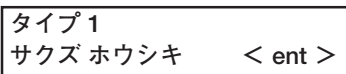

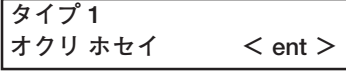



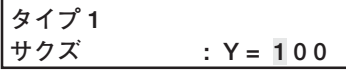


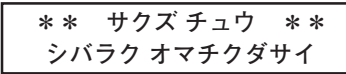





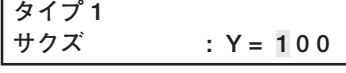

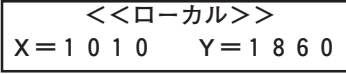
補正値が大きい → 補正値を減らす



補正値が小さい → 補正値を増やす



操作手順

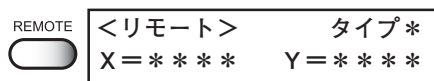
- ローカルモードにします。

- 【FUNCTION】キーを押します。


- 【ENTER】キーを押します。

- XYキー【▲】または【▼】を押して、タイプを選びます。



- 【ENTER】キーを押します。


- XYキー【▲】または【▼】を押して、[オクリ ホセイ]を選びます。



- 【ENTER】キーを押します。

- XYキー【▲】または【▼】を押して、出力する幅を入力します。



- 【ENTER】キーを押します。
補正パターンを作図します。


- 出力結果を確認します。
XYキー【▲】または【▼】を押して、補正値を入力します。



-  ● 補正値を15変更するごとに、帯が約0.1mm移動します。この移動量を参考に、補正値を決定してください。
- 【ENTER】キーを押します。
正常なパターンを作図するまで、手順8～11を繰り返します。


- 【END】キーを3回押すと、ローカルモードに戻ります。



作図中に送り量を補正する

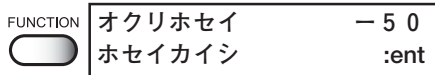
「オクリホセイ」(⇒ P.2-15) では、ローカルモード中に作業を行いましたが、ここではリモートモード、または CYCLE モード中にワークの送り量を補正する方法を説明します。

操作手順

1. 【REMOTE】 キーを押します。



2. 【FUNCTION】 キーを押すと、現在の補正値を確認できます。



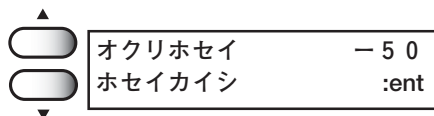
補正値が適正な場合や操作を中止する場合、【END】 キーを押すと、リモート表示に戻ります。

3. 【ENTER】 キーを押します。



補正値の変更状態になります。

4. XY キー【▲】または【▼】を押して、補正値を変更します。



送り量は -100 ~ +100 までの補正値を設定することができます。

【END】 キーを押すと、リモート表示に戻ります。変更した補正値は無効になり、変更前の値になります。

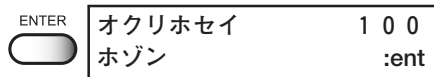


- 画像データ作図中の場合、補正値を変更した時点で数値が反映されるため、作図をみながら微調整することができます。
- 補正値の単位はローカルモード時の「オクリホセイ」と同じです。(⇒ P.2-15)
- 補正値は以下の動作でリセットされます。
 - ・「オクリホセイ」の実行時。
 - ・「セッテイ リセット」の実行時

5. 【ENTER】 キーを押します。

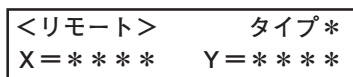
補正値の保存確認になります。

【END】 キーを押すと、リモート表示に戻ります。変更した補正値は、次回の電源投入時まで有効になります。



6. 【ENTER】 キーを押すと、リモート表示に戻ります。

変更した補正値を保存します。補正値はリセットするまで有効になります。



画像データを作図する

作図を開始する

作図の開始手順を説明します。

各種機能の設定は、「4章 設定機能について」をお読みください。

操作手順

1. ローカルモードにします。

| | |
|----------|--------|
| <<ローカル>> | |
| X=1010 | Y=1860 |

2. 【REMOTE】 キーを押します。

リモートモードになります。

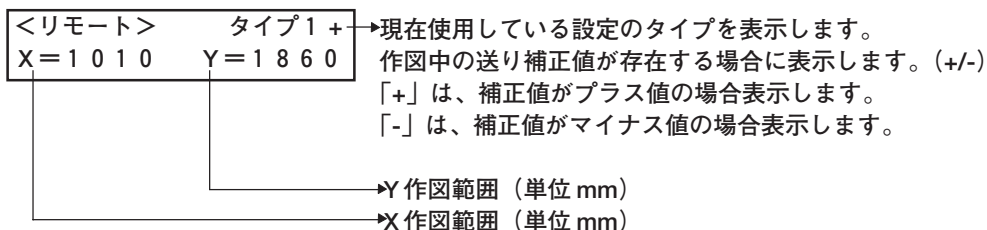


| | |
|--------|--------|
| <リモート> | タイプ* |
| X=1010 | Y=1860 |

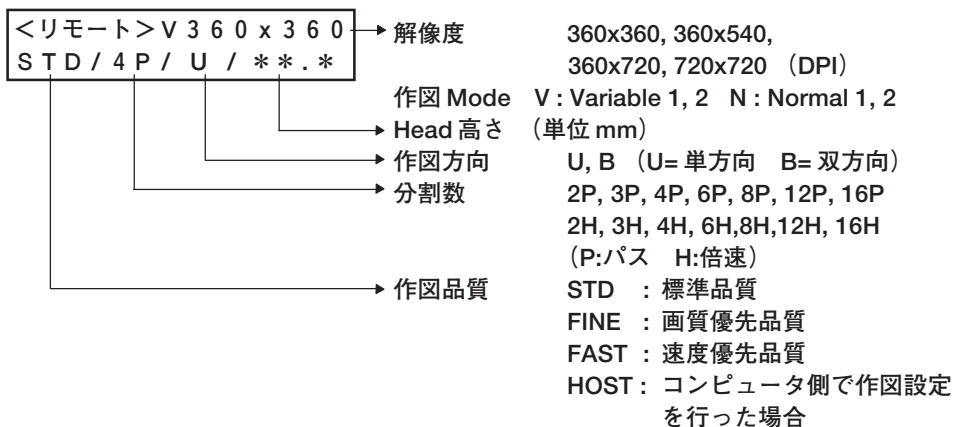
3. コンピュータからデータを送信します。

作図条件を表示します。

データの送信方法については、出力ソフトウェアの取扱説明書をお読みください。



交互に表示する



4. 作図を開始します。

| | |
|----------|--------|
| <<ローカル>> | |
| X=1010 | Y=1860 |

5. 作図が終了したら、終了位置(X)でローカルモードに戻ります。

サイクルスタートモードで作図した場合は、テーブルが手前まで移動します。



- 作図原点、作図範囲は、作図が終了しても変更されません。変更する場合は、再度設定しなおしてください。(⇒P.2-9)

作図を中止する

作図を途中で中止する場合、作図動作を止めて受信したデータを本装置から消去します。

操作手順

1. 【REMOTE】キーを押して、作図を中止します。



| | |
|----------|--------|
| <<ローカル>> | |
| X=1010 | Y=1860 |

2. コンピュータからデータを送信している場合、データ送信を止めます。

3. 【DATA CLEAR】キーを押します。

受信したデータを消去します。



| | |
|---------|--|
| データクリア | |
| < ENT > | |

4. 【DATA CLEAR】キーまたは【ENTER】キーを押します。

ローカルモードに戻ります。



| | |
|----------|--------|
| <<ローカル>> | |
| X=1010 | Y=1860 |



- 表示灯の緑が消えている時は、本装置にデータはありません。

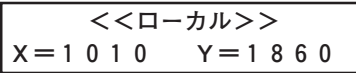

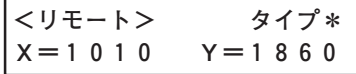



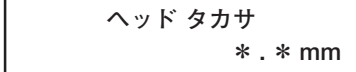

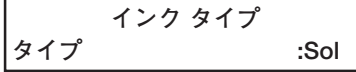





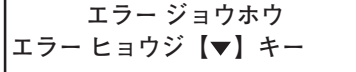
本装置の情報を表示する

本装置の情報を表示します。リモートモード、または CYCLE モード中に情報を表示する方法を説明します。



- ローカルモードでも【ENTER】キーを押して、同様に情報を表示できます。

操作手順

1. ローカルモードにします。

2. 【REMOTE】キーを押します。
リモートモードになります。


3. 【ENTER】キーを押すと、インク残量を表示します。


4. 【ENTER】キーを押すと、ヘッド高さを表示します。


5. 【ENTER】キーを押すと、インクタイプを表示します。


6. 【ENTER】キーを押すと、バージョン、コマンドを表示します。


7. 【ENTER】キーを押すと、設定状態のガイダンスを表示します。
【▼】キーを押すと、現在使用中の設定内容を表示します。


8. 【ENTER】キーを押すと、エラー情報ガイダンスを表示します。
【▼】キーを押すと、現在発生中ワーニングを表示します。



本装置の情報を表示する

9. 【END】キーを押すと、リモートモードまたは CYCLE モードに戻ります。



| | |
|--------|--------|
| <リモート> | タイプ* |
| X=1010 | Y=1860 |



- 60 秒経過または ERROR 発生時は自動的にリモートモードまたは CYCLE モードに戻ります。

インク残量が少なくなったら

インクカートリッジ内のインクが少なくなると、メッセージを表示します。作図は続行できますが、作図中にインクが無くなる場合があります。速やかに新しいインクカートリッジに交換してください。

[使用中にインク残量が少なくなった場合]

インク残量が少ないカートリッジ番号を表示します。
右の表示は、[スロット 1]と[スロット A]のインク残量が少ないことを示します。

インク ニアエンド
1 - - - - - A - - - - -

[使用中にインク残量が全く無くなった場合]

インク残量が無くなったカートリッジ番号を表示します。
右の表示は、[スロット C]のインク残量がなくなったことを示します。

インク エンド
- - - - - C - - - - -

交換手順

1. 作図中に、上記のメッセージを表示します。

- [インクニアエンド]の表示では、1データの作図が終了するまで、作図を続行します。
作図終了後、またはローカルモードにした後、手順2に進んでください。
- [インクエンド]の表示では、作図は続行できません。
手順2に進んでください。

2. 新しいインクと交換します。

スロット番号を表示したインクカートリッジを引き抜いて、新しいインクカートリッジをセットします。

3. リモートモードにし、再作図可能です。

インク情報を表示する

インク残量を表示し、確認することができます。

1. ローカルモードの時に、【ENTER】キーを押します。

インク残量を1から9までの数字で表示します。
1はニアエンドを、9はフルを示します。

インクザンリョウ
9 9 8 9 5 6 9 7 8 9 9 6 9 5 9

ニアエンド ← フル
:
1 2 3 4 5 6 7 8 9

2. 【ENTER】キーを押すと、ローカルモードに戻ります。

インクカートリッジに異常がある場合は、エラーの詳細を表示します。

電源をオフにする



★ 通常は電源をオフにしないでください。

本装置は、インクの吐出安定性を確保するため、定期的に微量のインクを吐出（フラッシング）する必要があります。長時間使用しない場合でも、電源スイッチはオンにしたまま、コンセントは抜かないでください。本装置の状態（リモートモード、ローカルモード）に関わらず、定期微量吐出を行います。



★ お手入れなどで電源をオフにする場合は・・・

1 時間以上、継続して電源をオフにしないでください。

なお、電源オフの状態でも5日間以上放置した場合は、インクの吐出ができなくなる場合があります。（ブロワの電源はオフにしても問題ありません。）

電源スイッチ部には、誤って押すのを防止するために、カバーが付いています。電源をオフにする場合は、このカバーを持ち上げてオフにします。



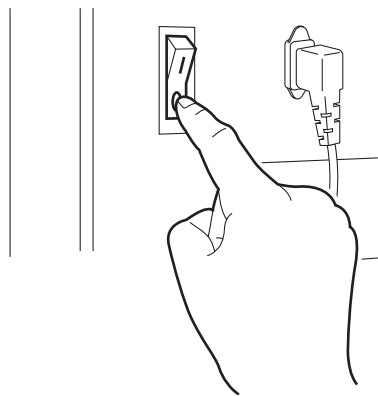
★ ヘッドがキャッピングステーションにあることを確認してください。

キャッピングしていないまま電源をオフにした場合は、再度電源をオンにしてください。ヘッドがキャッピングステーションに戻り、ヘッドの乾燥を防ぎます。

作図中に電源をオフにすると、ヘッドがキャッピングステーションに格納されない場合があります。キャッピングしていない状態で長時間放置すると、ノズル詰まりの原因になります。

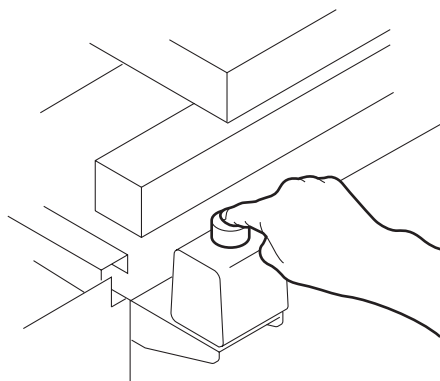
1. 接続してあるコンピュータの電源をオフにします。

2. 本装置の電源を切ります。
電源スイッチを「○」側に倒します。



吸着テーブル用ブロワのオフ

1. VACUUMスイッチを1回押します。
(スイッチのランプが消灯します。)
ブロワがオフになります。





3章

日常のお手入れ

日常行なうお手入れについて説明します。

本章の内容

| | |
|--------------------------------|------|
| 日常のお手入れ | 3-2 |
| ワイパとキャップのクリーニング | 3-4 |
| ノズルの洗浄[ノズル センジョウ] | 3-7 |
| ミストフィルタのお手入れ | 3-10 |
| フラッシングトレイインク吸収材の交換 | 3-11 |
| 廃インクタンクのインクが溜まったら | 3-13 |
| インク排出路の洗浄について[ハイロ センジョウ] | 3-14 |
| 長期間使用しない場合[ホカン センジョウ] | 3-16 |

日常のお手入れ

本装置の精度を保ちながら末永くお使いいただけるよう、使用頻度に応じて、または定期的にお手入れをしてください。

お手入れ上のご注意



★ メンテナンス用洗剤を使用する場合は、必ず付属の保護メガネと手袋を着用してください。



★ 本装置を、絶対に分解しないでください。感電および破損の原因になります。



★ 本装置の内部に水気が入らないようにしてください。内部が濡れると、感電および破損の原因になります。



★ お手入れは、電源スイッチをオフにし、電源ケーブルを抜いて行ってください。思わぬ事故が発生する原因になります。電源オフ時間は、1時間以内としてください。継続して1時間以上電源をオフにすると、ノズル防止機能が正常に動作しない場合があります。また5日間以上、電源をオフにした場合、インクの吐出ができなくなります。



★ ヘッドのノズル面やワイパ、キャップ等を水、アルコールなどで拭かないでください。有機溶剤インクは、水やアルコールと混ざると、凝集物が発生します。



★ ベンジン、シンナーや研磨剤の入った薬品は使用しないでください。カバーの表面が変質・変形する恐れがあります。



★ 本装置の内部に潤滑油などを注油しないでください。プロッタ機構が故障する恐れがあります。



★ メンテナンス用洗剤やインクが、カバーに付着しないように注意してください。カバーの表面が変質、変形します。

メンテナンス用洗淨液について

メンテナンス用洗淨液は、お使いになるインクに対応したものをお使いください。

ES3 インク：メンテナンス用洗淨液 MS2/ES3/MS キット(SPC-0369)

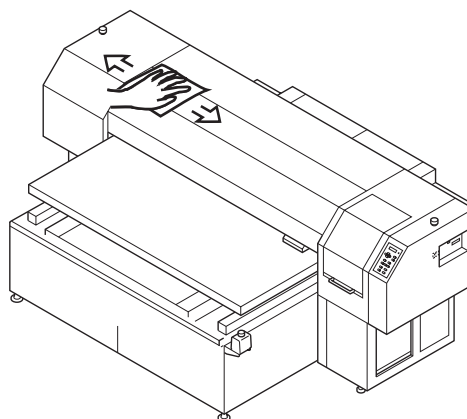
SS1 インク：メンテナンス用洗淨液 RS(SPC-0336)

テーブル、外装のお手入れ

本体の外装が汚れた場合は、柔らかい布に水または水で薄めた中性洗剤を含ませ、堅くしぼってから拭き取ってください。テーブル上のホコリも清掃してください。飛行曲がり、インクボタ落ちの要因になります。

用意するもの：

- ・中性洗剤
- ・ウエス（適宜）



スライダ下面の付着インクの洗淨

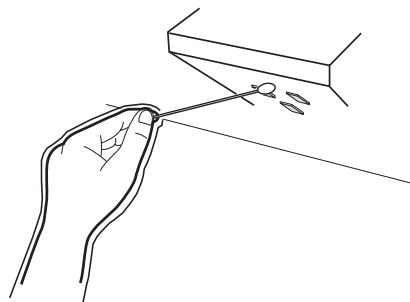
本装置を長期間ご使用になると、ゲル状になったインクがスライダ下面に溜まってくる場合があります。この付着インク滴が大きくなると、ワークを汚す原因になります。定期的にヘッド下部の付着インクを付属の綿棒にメンテナンス用洗淨液をつけて、こすり落としてください。



- ★ ヘッドのノズル部分を綿棒でこすらないように注意して洗淨を行ってください。ヘッドのノズル部分を傷つけると、インクの吐出不良の原因になります。

用意するもの：

- ・メンテナンス用洗淨液
- ・綿棒
- ・スポット
- ・手袋、保護メガネ



ワイパとキャップのクリーニング

キャップは、ヘッドのノズルが乾燥して目詰まりするのを防止します。

ワイパは、ヘッドのノズルに付着したインクを拭き取ります。

本装置を使用していると、インクやホコリ等でワイパやキャップが汚れてきます。綿棒などで定期的にクリーニングします。



★ クリーニング時は、必ず付属の保護メガネと手袋を着用してください。インクが目に入ったり、手に付着する場合があります。



★ ホコリが多量に付着したワイパを使用して、ヘッドクリーニングを実行しないでください。ワイパに付着したホコリは、ヘッドを傷つけ、作図不良の原因になります。



★ ワイパは、2個同時にクリーニングして下さい。



★ 手でキャリッジをキャッピングステーションから出さないでください。キャリッジは操作キーを使用して動かします。



★ 新しいワイパのゴム部分に触れないでください。ノズル詰まりの原因になります。



★ クリーニングが終了したら、速やかに【ENTER】キーを押してキャリッジをキャッピングステーションに戻してください。キャリッジがキャッピングステーションから出た状態で長時間放置しておくと、ノズル詰まりの原因になります。

用意するもの：

- ・メンテナンス用洗浄液
- ・綿棒
- ・手袋、保護メガネ

操作手順

1. 【FUNCTION】キーを押します。

FUNCTION



FUNCTION

セッテイ

< ENT >

2. XYキー【▲】または【▼】を押して、[メンテナンス]を選びます。



FUNCTION

メンテナンス

< ENT >

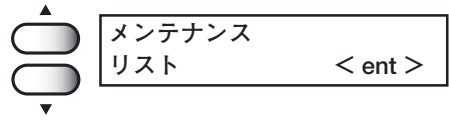
3. 【ENTER】キーを押します。

ENTER



ワイパとキャップのクリーニング

4. XYキー【▲】または【▼】を押して、[ステーションメンテ]を選びます。

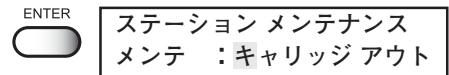


5. 【ENTER】キーを押します。



6. 【ENTER】キーを押します。

テーブルが奥側に、Yバーが上に移動します。
ワイパが前に移動し、キャリッジがステーション上から移動します。

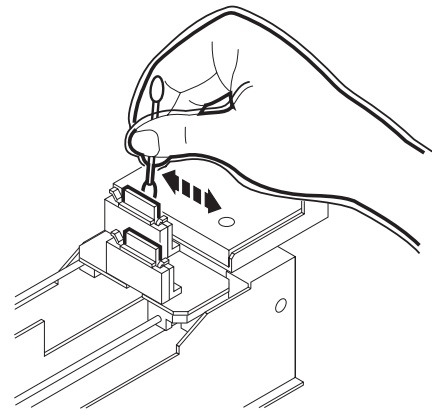


7. ステーションカバーを開け、ワイパの両面をクリーニングします。

メンテナンス用洗浄液を含ませた綿棒で、ワイパとブラケットに付着したインクを取り除きます。

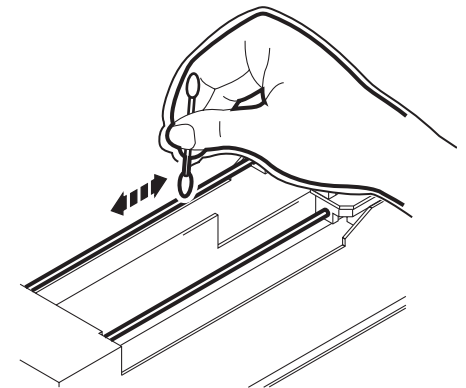


- 汚れ、曲がりかひどい場合は、新しいワイパと交換します。交換する場合は、本装置を終了後、ワイパ交換手順に従って、ワイパを交換してください。(⇒P.5-9)



8. ワイパのガイド軸を綿棒、または布等でクリーニングします。

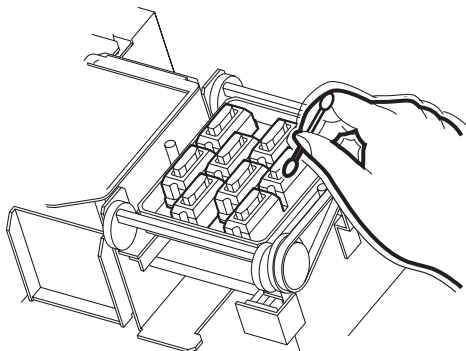
(汚れが落ちにくい場合は、綿棒または布等をメンテナンス用洗浄液で湿らせてクリーニングします。)



注意

- ★ ワイパのガイド軸が極度に汚れていると、ワイパの動作不良によりエラーを表示する場合があります。

9. キャップのゴムに付着したインク等を綿棒で拭き取ります。



10. ステーションカバーを閉じて、【ENTER】キーを押します。
初期動作を開始します。

ENTER
キャリッジアウト
シュウリョウ : ent



シヨキカチュウ
シバラク オマチクダサイ



11. ローカルモードに戻ります。

<<ローカル>>
X=1010 Y=1860

ノズルの洗浄[ノズル センジョウ]

ノズル抜けが発生する場合、ノズルを洗浄します。

この洗浄を何回か実行してもノズル抜けが解消されない場合は、[インクジュウテン]機能(⇒P.5-11)を実行してください。それでも解消されない場合は、弊社営業所または販売店までご連絡ください。



★ 1ヘッド当たり2色(2カートリッジ)を使用している関係で、双方のインク残量の差が大きい場合、水頭値を均一にしようとする働きが生じ、インク残量の少ないカートリッジへインクが流れ、混色する可能性があります。

混色が発生した場合は、「インクジュウテン」機能(P.5-11)を実行して下さい。

★ ノズル抜けの発生しているヘッドのみに実施して下さい。

用意するもの：

- ・メンテナンス用洗浄液
- ・スポイト
- ・保護メガネ、手袋

操作手順

1. 【FUNCTION】キーを押します。

FUNCTION
 FUNCTION
 セッテイ < ENT >

2. XYキー【▲】または【▼】を押して、[メンテナンス]を選びます。

▲
 FUNCTION
 メンテナンス < ENT >

▼
 メンテナンス
 リスト < ent >

3. 【ENTER】キーを押します。
 [ステーションメンテ]を表示します。

ENTER
 メンテナンス
 ステーションメンテ < ent >

4. XYキー【▲】または【▼】を押して、[ノズルセンジョウ]を選びます。

▲
 メンテナンス
 メンテ : ノズルセンジョウ

5. 【ENTER】キーを押します。
 テーブルが奥に、Yバーが最上に移動します。
 ワイパが前に移動し、キャリッジがテーブル上に移動します。

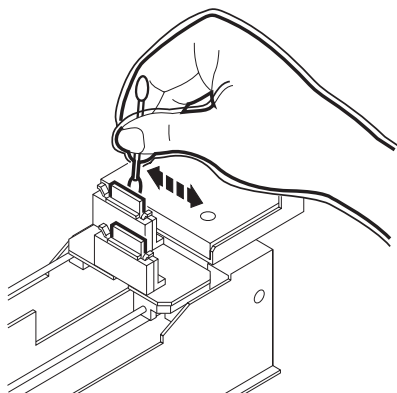
ENTER
 イロガマザルコトガアリマス
 ジッコウ OK? : ent

6. ステーションカバーを開け、ワイパの両面をクリーニングします。

メンテナンス用洗浄液を含ませた綿棒で、ワイパとブラケットに付着したインクを取り除きます。



- 汚れ、曲がりかひどい場合は、新しいワイパと交換します。交換する場合は、本装置を終了後、ワイパ交換手順に従って、ワイパを交換してください。(⇒P.5-9)



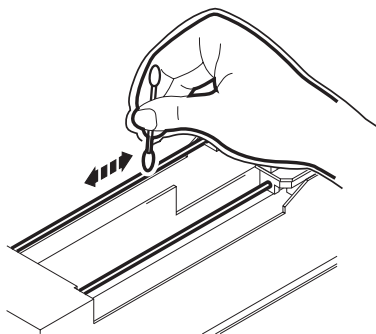
7. ワイパのガイド軸を綿棒、または布等でクリーニングします。

(汚れが落ちにくい場合は、綿棒または布等をメンテナンス用洗浄液で湿らせてクリーニングします。)



注意

- ★ ワイパのガイド軸が極度に汚れていると、ワイパの動作不良によりエラーを表示する場合があります。

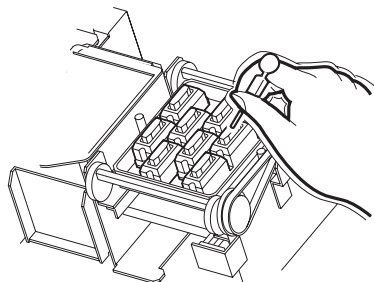


8. ワイパをクリーニングし、【ENTER】キーを押します。



ワイパクリーニング
シュウリョウ : ent

9. スポイトでメンテナンス用洗浄液をとり、キャップ一杯になるまで垂らします。



10. ステーションカバーを閉じて、【ENTER】キーを押します。



センジョウエキヨミタス
シュウリョウ : ent

ノズルの洗浄[ノズル センジョウ]

11. XYキー【▲】または【▼】を押して、放置する時間を選びます。(1～99分：1分単位)
通常は「1 min」で設定します。



| | |
|-----------|---------|
| ノズル センジョウ | |
| ホウチ ジカン | = 1 min |

12. 【ENTER】キーを押します。
初期動作を実行します。



| |
|--------------|
| シヨキカ チュウ |
| シバラク オマチクダサイ |



残り放置時間を表示します。

| |
|----------|
| ホウチ チュウ |
| 00:00:00 |

放置時間経過後、クリーニングを実行します。
残りクリーニング時間を表示します。

| |
|------------|
| クリーニング チュウ |
| 00:00:00 |

13. クリーニング終了後、ローカルモードに戻ります。

| |
|---------------|
| <<ローカル>> |
| X=1010 Y=1860 |

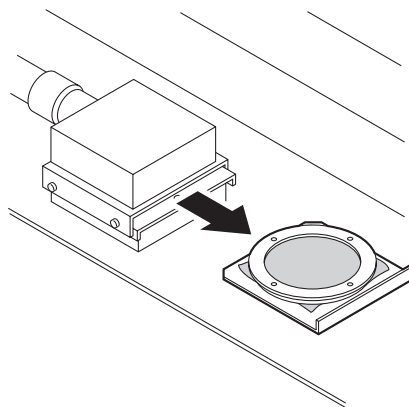
ミストフィルタのお手入れ

本装置には、吸着テーブル左右の下2カ所にフィルタが付いています。
ホコリの付着は、掃除機などで除去してください。
インク付着により、目詰まりが始まっている場合は、フィルタを交換してください。

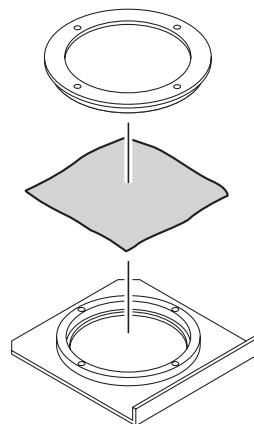
用意するもの：交換用フィルタ 100 枚入り（注文番号 M-3）
（インク吸収材と同じものです）

交換方法

1. フィルタユニットからフィルタホルダーを引き抜き、取り外します。



2. フィルタホルダーから古いフィルタを取り外し、新しいフィルタと交換します。
フィルタは、四つ折り状態のまま位置を合わせ、全周をはさみこみ固定します。



3. フィルタホルダーをフィルタユニットに取り付けます。

フラッシングトレイインク吸収材の交換

インク吸収材の目が詰まった状態になり始めたら、フラッシングトレイのインク吸収材を交換してください。そのまま使用すると、インクミストの発生、ヘッドノズル面を汚す原因になります。

また、フラッシング時に、インクの跳ね返りでノズル面にインクの飛沫が付着しやすくなります。インクの飛沫が付着すると、インクの吐出が正常にできなくなります。

用意するもの：交換用フィルタ 100枚入り（注文番号 M-3）
（ミストフィルタと同じものです）

交換方法

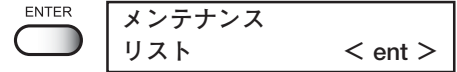
1. 【FUNCTION】 キーを押します。



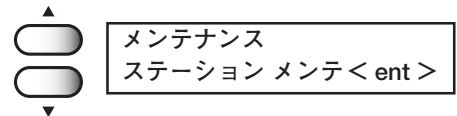
2. XYキー【▲】または【▼】を押して、[メンテナンス]を選びます。



3. 【ENTER】 キーを押します。



4. XYキー【▲】または【▼】を押して、[ステーションメンテ]を選びます。



5. 【ENTER】 キーを押します。



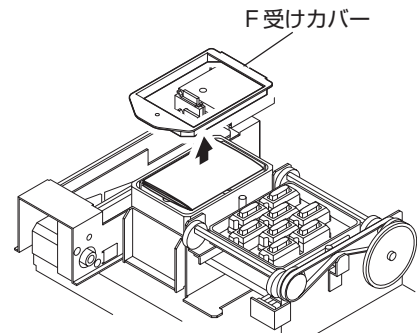
6. 【ENTER】 キーを押します。

テーブルが奥側に、Yバーが上に移動します。
ワイパが前に移動し、キャリッジがステーション上から移動します。



7. ステーションカバーを開けます。

8. フラッシングトレイ上のF受けカバーを上を外します。



9. インク吸収材を取り除きます。

10. 新しいインク吸収材 (添付品) をトレイ上に敷きます。

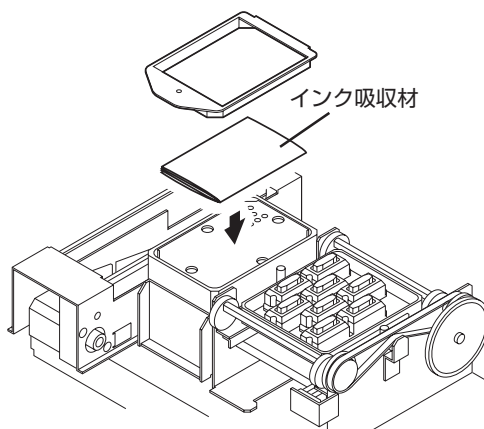
四つ折り状態のまま、中央に敷いてください。

11. 上からF受けカバーをかぶせます。



注意

★F受けカバーは、奥まで押し込んでください。カバーが浮いていると、トラブルの原因になります。



12. ステーションカバーを閉じ、【ENTER】キーを押します。

初期動作を開始します。



キャリッジアウト
シュウリョウ : ent

シヨキカチュウ
シバラク オマチクダサイ

13. ローカルモードに戻ります。

<<ローカル>>
X=1010 Y=1860

廃インクタンクのインクが溜まったら

ヘッドのクリーニングなどで使用したインクは、廃インクタンクにたまりまます。ディスプレイに「ニアフル」、「フル」を表示したら(⇒ P.6-5)、速やかに廃インクタンク内のインクを処分してください。

インクタンク
ハイインク タンク ニアフル

インクタンク
ハイインク タンク フル



- 予備の廃インクタンクをお求めの場合は、お近くの販売店、弊社営業所までお問い合わせください。
- 廃インクを移すポリエチレンタンクをご用意ください。



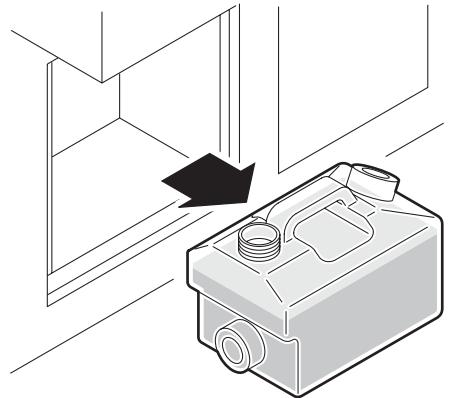
- ★ インクを排出中の場合は、排出が終了してから作業を行ってください。
- ★ 長期間使用しない場合は、廃インクの多い、少ないにかかわらず、廃インクを処分してください。

操作手順

1. 廃インクタンクを手前に引き出します。



- ★ 廃インクタンクを引き出す際に、廃インクを飛ばさないように、廃インクタンクの口をティッシュなどで押さえながら、ゆっくり引き出してください。
- ★ インクで床を汚さないように、下に紙を敷いてから廃インクタンクを交換してください。



2. 廃インクを別の廃油缶などに移します。



- ★ 廃インクは、産業廃棄物処理業者に処理を依頼してください。

3. 空にした廃インクタンクを再度セットします。

インク排出路の洗浄について[ハイロ センジョウ]

インクの排出路内において、インクの凝固によるインク詰まりが発生する場合があります。このインク詰まりを防止するために、排出路内を洗浄します。



★ 清掃をする場合は、必ず付属の保護メガネと手袋を着用してください。インクが目に入る場合があります。



★ キャリッジを手でキャッピングステーションから出さないでください。キャリッジは操作キーを使用して動かします。

用意するもの：

- ・メンテナンス用洗浄液
- ・スポイト
- ・保護メガネ、手袋

操作手順

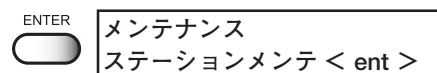
1. 【FUNCTION】 キーを 1 回押します。



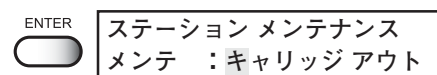
2. XY キー【▲】または【▼】を押して、[メンテナンス]を選びます。



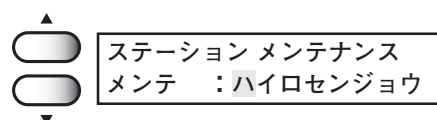
3. 【ENTER】 キーを押します。
[ステーションメンテ]を表示します。



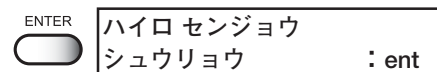
4. 【ENTER】 キーを押します。
[キャリッジアウト]を表示します。



5. XY キー【▲】または【▼】を押して、[ハイロ センジョウ]を選びます。

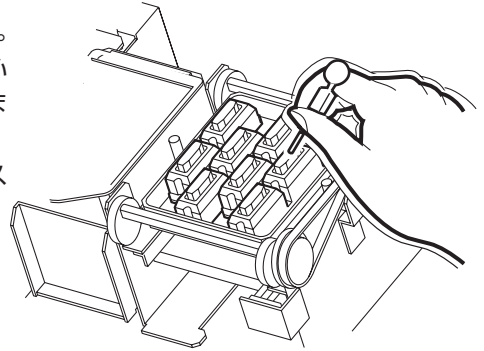


6. 【ENTER】 キーを押します。
テーブルが奥側に、Yバーが最上に移動します。ワイパが前に移動し、キャリッジがテーブル上に移動します。
空吸引動作が始まります。吸引動作を 10 秒、停止時間が 10 秒をそれぞれ交互に動作し続けます。



7. ステーションカバーを開けます。

8. スポイトでメンテナンス用洗浄液をとります。
空吸引が停止している間に、キャップからあふれる寸前までメンテナンス用洗浄液を垂らします。
すべてのキャップに対して同様にメンテナンス用洗浄液を垂らします。



9. フロントカバーを閉め、【ENTER】キーを押します。
30秒間空吸引を実行した後、初期動作を開始します。



ハイロ センジョウ
シュウリョウ : ent

シヨキカチュウ
シバラク オマチクダサイ

10. ローカルモードに戻ります。

<<ローカル>>
X=1010 Y=1860

長期間使用しない場合[ホカン センジョウ]

1週間以上使用しない場合は、保管洗浄機能を使用し、ヘッドのノズルとインクの排路をクリーニングしてください。

その後、本装置を保管してください。



★ 1ヘッド当たり2色(2カートリッジ)を使用している関係で、双方のインク残量の差が大きい場合、水頭値を均一にしようとする働きが生じ、インク残量の少ないカートリッジへインクが流れ、混色する可能性があります。

混色が発生した場合は、「インクジュウテン」機能(P.5-11)を実行して下さい。

用意するもの：

- ・メンテナンス用洗浄液
- ・スポイト
- ・保護メガネ、手袋

操作手順

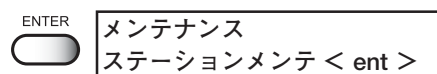
1. 【FUNCTION】キーを1回押します。



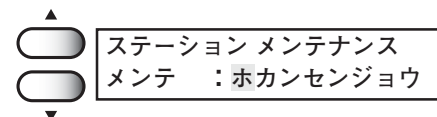
2. XYキー【▲】または【▼】を押して、[メンテナンス]を選びます。



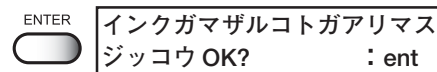
3. 【ENTER】キーを押します。
[ステーションメンテ]を表示します。



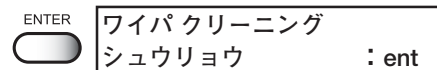
4. XYキー【▲】または【▼】を押して、[ホカンセンジョウ]を選びます。



5. インクが混ざる注意を表示します。
【ENTER】キーを押します。



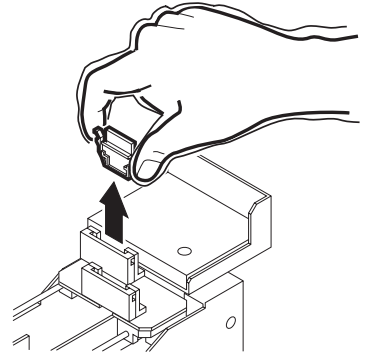
6. 【ENTER】キーを押します。
テーブルが奥側に、Yバーが最上に移動します。ワイパが前に移動し、キャリッジがテーブル上に移動します。



7. ステーションカバーを開けます。

長期間使用しない場合[ホカン センジョウ]

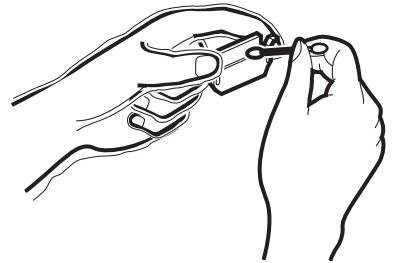
8. ワイパ両端の突起を持ってワイパを引き抜きます。



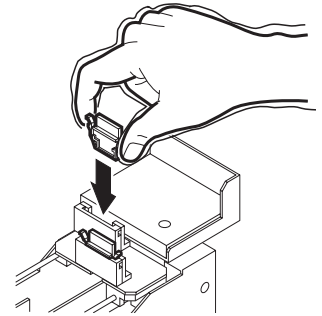
9. ワイパとブラケットに付着したインクを、メンテナンス用洗浄液を含ませた綿棒で取り除きます。



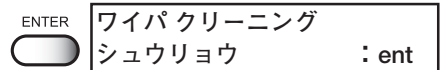
- 汚れ、曲がりかひどい場合は、新しいワイパと交換します。本操作を終了後、ワイパ交換手順に従って、ワイパを交換してください。



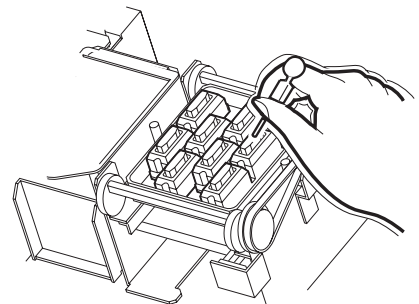
10. 両端の突起を持って、クリーニングしたワイパを差し込みます。



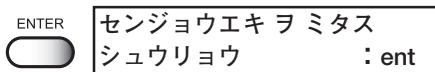
11. 【ENTER】キーを押します。



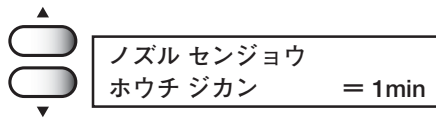
12. スポイトでメンテナンス用洗浄液をとり、キャップ一杯になるまで垂らします。



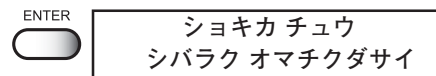
13. ステーションカバーを閉め、【ENTER】キーを押します。



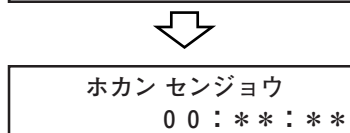
14. ジョグキー【▲】または【▼】を押して、放置する時間を選びます。(1～99分：1分単位)
通常は「1分」に設定します。



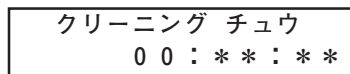
15. 【ENTER】キーを押します。
初期動作を実行します。



残り放置時間を表示します。



放置時間経過後、クリーニングを実行します。
残りクリーニング時間を表示します。



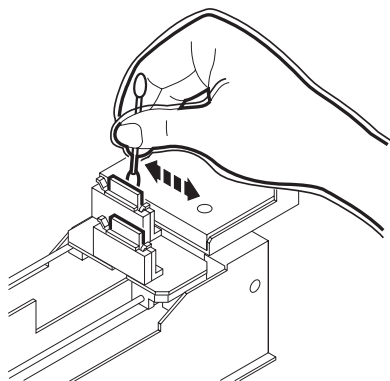
ノズルの洗浄が終了すると、Yバーが最上に移動します。ワイパが前に移動し、キャリッジがテーブル上に移動します。

16. ステーションカバーを開け、ワイパの両面をクリーニングします。

17. メンテナンス用洗浄液を含ませた綿棒で、ワイパとブラケットに付着したインクを取り除きます。



- 汚れ、曲がりかひどい場合は、新しいワイパと交換します。交換する場合は、本装置を終了後、ワイパ交換手順に従って、ワイパを交換してください。(⇒ P.5-9)

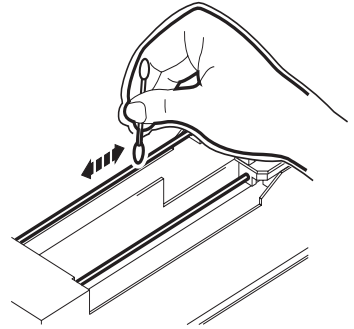


長期間使用しない場合[ホカン センジョウ]

18. ワイパのガイド軸を綿棒、または布等でクリーニングします。
(汚れが落ちにくい場合は、綿棒または布等をメンテナンス用洗淨液で湿らせてクリーニングします。)



★ワイパのガイド軸が極度に汚れていると、ワイパの動作不良によりエラーを表示する場合があります。

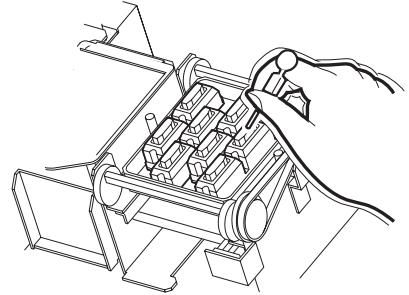


19. ワイパをクリーニングし、【ENTER】キーを押します。



ワイパクリーニング
シュウリョウ : ent

20. スポイトでメンテナンス用洗淨液をとり、キャップ一杯になるまで垂らします。
空吸引動作が始まります。吸引動作を10秒、停止時間が10秒をそれぞれ交互に動作し続けます。
停止中に空吸引動作を数回繰り返し、インクの排路をクリーニングします。
すべてのキャップに対して行います。



21. ステーションカバーを閉め、【ENTER】キーを押します。
キャリッジが、ステーションに戻り、初期動作を開始します。



ハイロ センジョウ
シュウリョウ : ent

シヨキカチュウ
シバラク オマチクダサイ



22. ローカルモードに戻ります。

<<ローカル>>
X=1010 Y=1860



4章

設定機能について

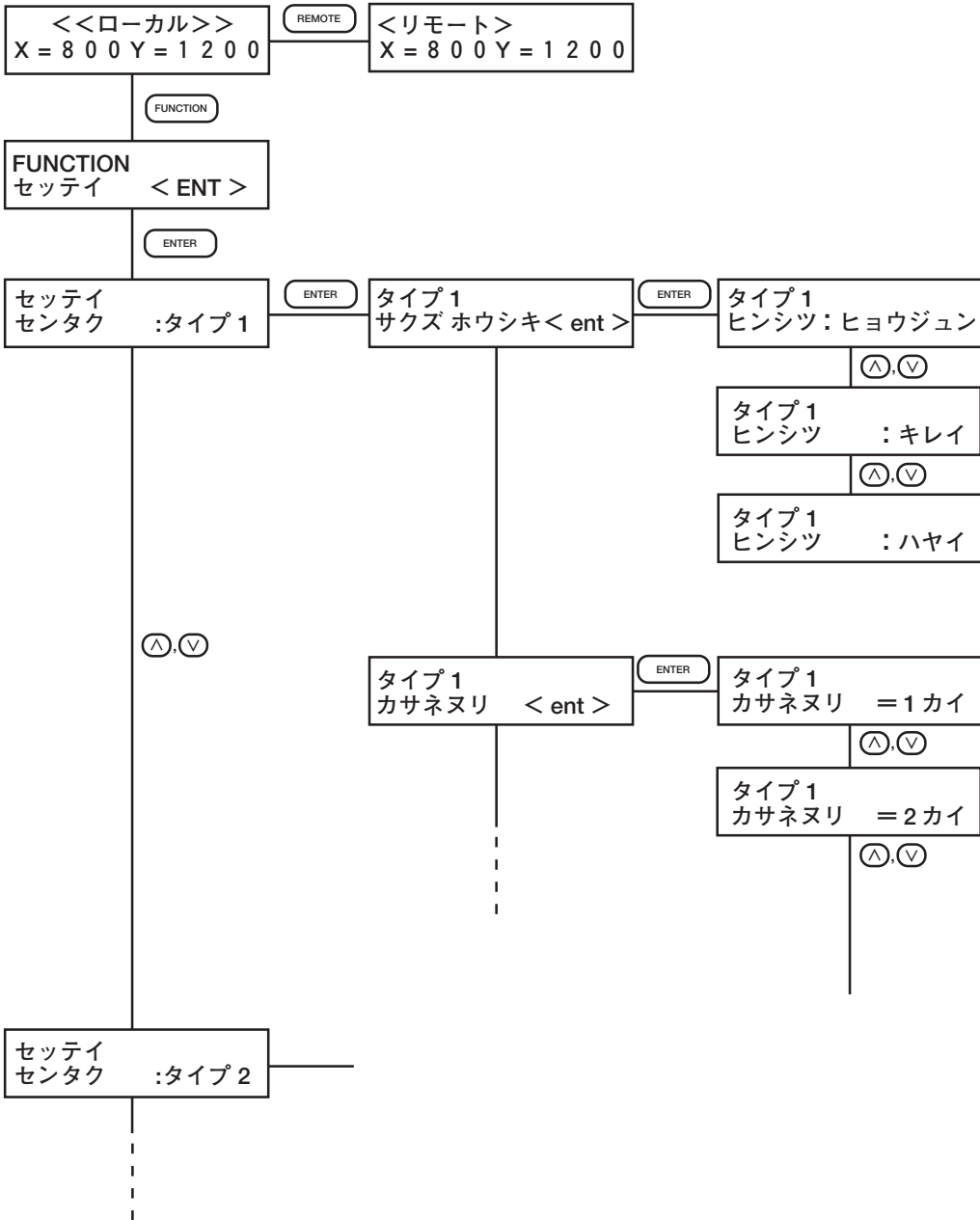
ファンクション機能について説明します。

本章の内容

| | |
|------------------------|------|
| メニューの基本操作 | 4-2 |
| タイプの登録 | 4-4 |
| 設定機能 | 4-5 |
| ディスプレイの表示言語を変更する | 4-10 |

メニューの基本操作

ここでは、各モードの切り替え、メニューの操作方法について説明します。
各メニューに入る操作は、下図のようになります。
詳細なメニュー構造は、付録をご覧ください。



① ローカルモードにします。

リモートモードにしても作図しないことを確認してから、【REMOTE】キーを押してローカルモードにします。

② ファンクションモードに入ります。

【FUNCTION】キーを押すと、ファンクションモードに入ります。
ファンクションモードは、設定機能とメンテナンス機能に分かれています。
ここで設定機能かメンテナンス機能かを選択します。

③ タイプを選択します。

タイプは4種類あり、それぞれのタイプにファンクション機能を設定できます。使用するワークの種類によってファンクション機能を設定できます。

④ ファンクション機能を選択します。

XYキー【▲】または【▼】を押して、機能を選択します。

⑤ 選択したファンクション機能に入ります。

【ENTER】キーを押します。

⑥ パラメータを選択します。

XYキー【▲】または【▼】を押して、パラメータを選択します。

⑦ 設定を登録します。

【ENTER】キーを押します。

⑧ ローカルモードに戻ります。

【END】キーを数回押して、ローカルモードに戻ります。

タイプの登録

ファンクションモードの作図機能は、4タイプに登録できます。
ワークの種類別にタイプを登録しておけば、ワークを変更した場合に容易に作図条件などを変更できます。

- 例) **タイプ1** : ABS用
タイプ2 : PS用
タイプ3 : PVC用
タイプ4 : チェック用

操作手順

1. 本装置の設定モードが、ローカルモードになっていることを確認します。

<<ローカル>>
X = 1 0 1 0 Y = 1 8 6 0

2. 【FUNCTION】キーを押します。

FUNCTION
セッテイ < ENT >

3. 【ENTER】キーを押します。

ENTER
セッテイ
センタク : タイプ1

4. XYキー【▲】または【▼】を押して、タイプ1から4を選びます。

▲
セッテイ
センタク : タイプ1
▼

5. 【ENTER】キーを押します。
各作図条件を設定します。
(⇒P.4-5～P.4-8)

ENTER
タイプ1
サクズ ホウシキ < ent >

タイプの変更

既にタイプ1から4の各作図条件を登録してある場合は、タイプを選択するだけで、作図に合わせた設定を切り替えて使用できます。

1. 上記操作手順1から5を実行します。
使用するタイプを選択します。
2. 【END】キーを押します。
選択したタイプの作図条件で作図が行えます。

設定機能

ファンクションモードには、14項目の設定機能があります。
各機能の概要と設定値について説明します。

[サクズ ホウシキ]

作図品質[ヒンシツ]と、作図方向[ホウコウ]、[ロジカルシーク]の3種類を設定します。

[ヒンシツ]: 3種類の中から選択します。

[ヒョウジュン]: 標準的な作図品質

[キレイ]: 高品質・低スピード

[ハヤイ]: 高スピード・やや劣る品質

[ホウコウ]: 作図する方向を選択します。

[タンホウコウ]: キャリッジが左へ移動しながら作図します。

[ソウホウコウ]: キャリッジが左右に移動しながら作図します。

速度重視のため、作図品質は[タノコ]より多少低下します。

[モドリソクド]:

タンホウコウ印字で作図幅が1000mm以下の場合、ノズル抜けが起こる場合があります。ヘッドの戻る速度を遅くすることにより、ノズル抜けを解消できる場合があります。

[NORMAL]: ヘッドは、通常で速度で戻ります。

[SLOW]: ヘッドの戻り速度を遅くします。

[ロジカルシーク]: 画像の幅に合わせて、ヘッドが左右に移動して作図します。

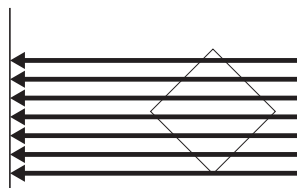
(通常、ヘッドはメディアの幅いっぱい移動して作図します。)

作図時間が短縮できます。

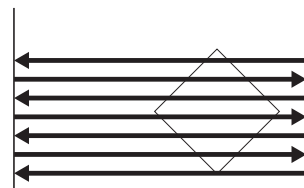
写真画のような四角形全面のラスタデータでは効果が得られませんが、イラストのようなデータには効果が得られます。

下図にヘッドの動きを示します。

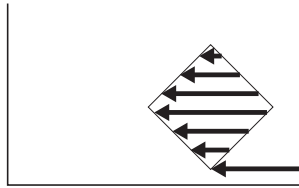
OFF (単方向作図)



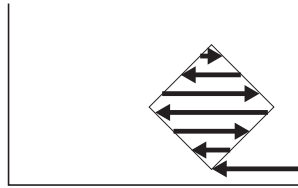
OFF (双方向作図)



ON (单方向作图)



ON (双方向作图)



[カサネヌリ]

インクの発色が悪い場合に重ね書きする回数を設定します。

重ね塗り回数: 1～9回



★ 防災クロス、絹などのメディアを使用する場合は、重ね塗りを実行しないでください。重ね塗りを実行すると、メディアが伸縮する原因になります。

[カンソウジカン]

インクの乾燥時間を設定します。スキャンごとの待ち時間を設定します。乾燥時間は、作図の印字密度およびワークの種類により設定します。

[びか]: 0.0～9.9秒

ヘッドがスキャンするたびに、一時停止する時間を設定します。

[ユウセンジュンイ]

下記の5機能を本装置で設定した値を優先にするか、コンピュータで設定した値を優先にするか選択します。

- ・ 作図方式[サクズ ホウシキ]
- ・ 重ね塗り[カサネヌリ]
- ・ 乾燥時間[カンソウジカン]
- ・ 送り補正[オクリホセイ]
- ・ リフレッシュ

[ホスト]: コンピュータ（出カソフト）の設定を優先して作図します。

[パネル]: プロッタ（本装置）の設定を優先して作図します。

[リフレッシュ]

作図中にプリントヘッドのリフレッシュをします。
ホコリが多い場所や、湿度が低い場所で本装置を使用し、ヘッドのインク詰まりを防ぎます。
レベル数が大きいほど、リフレッシュ回数が多くなります。

リフレッシュ回数: レベル0～3

[ミリ/インチ]

ディスプレイに表示する設定値の単位を設定します。
出荷時は[ミリ]に設定してあります。

[ミリ]: 設定値の単位をミリで表示します。

[インチ]: 設定値の単位をインチで表示します。

[オクリホセイ] ⇒ P.2-15

作図した画像に縞などが入るなど綺麗に作図できない場合に、送り量の狂いを補正します。

[ホセイチ]: -100～100

[オートクリーニング]

自動的にヘッドをクリーニングします。
クリーニングを作図ごとに実行して、作図不良を防止します。

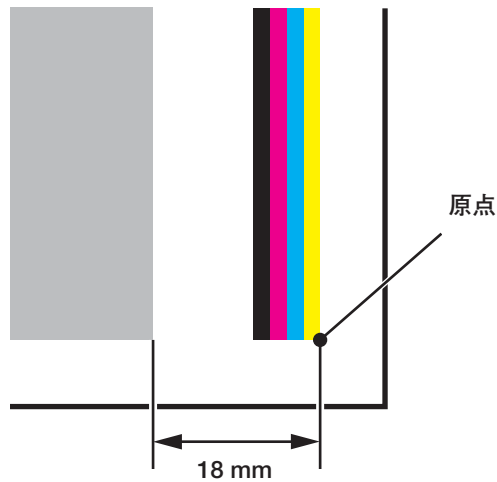
ON: 自動的にヘッドをクリーニングします。

OFF: 自動的にはクリーニングを行いません。

[カラーパターン]

メディアの右端にカラーパターンを作図します。作図中にノズル詰まりを確認できます。カラーパターンは、原点から 18 mm のエリアに作図します。作図エリアが狭くなるため、メディア幅いっぱいには作図する場合は、本機能をオフにしてください。

- ON :** カラーパターンを作図します。
OFF : カラーパターンを作図しません。



[セッテイ リセット]

設定した作図条件を工場出荷時の設定値に戻します。タイプごとにリセットします。

- ENTER :** 設定をリセットします。
END : 設定をリセットしません。

ディスプレイの表示言語を変更する

ディスプレイに表示する言語は、日本語または英語を選択できます。
表示言語を英語に変更する方法について説明します。

操作手順

1. 本装置の設定モードが、ローカルモードになっていることを確認します。

<<ローカル>>
X = 1 0 1 0 Y = 1 8 6 0

2. 【FUNCTION】 キーを押します。

FUNCTION



FUNCTION
セッテイ < ENT >

3. XYキー【▼】を2回押します。



FUNCTION
DISPLAY < ENT >

4. 【ENTER】 キーを押します。

ENTER



DISPLAY
JAPANESE < ent >

5. XYキー【▲】または【▼】を押して、表示する言語を選びます。



DISPLAY
ENGLISH < ent >

6. 【ENTER】 キーを押します。
ローカルモードに戻ります。

ENTER



<< LOCAL >>
X = 1 0 1 0 Y = 1 8 6 0

5章

メンテナンス機能

本装置を適正にお使いいただくよう、メンテナンスをします。
作図品質の悪化の解決や、ワイパの交換方法に関する機能を説明します。

本章の内容

| | |
|---|------|
| メンテナンスについて | 5-2 |
| 設定状態を作図する[リスト] | 5-4 |
| HEXコードで作図する[データダンプ] | 5-5 |
| ワークの厚みが変わったら[ドットイチ ホセイ] | 5-6 |
| キャリッジを移動する[ステーションメンテ]-[キャリッジアウト] | 5-8 |
| ワイパ交換メッセージを表示したら [ステーションメンテ]-[ワイパコウカン] | 5-9 |
| インクを充填する[インクジュウテン] | 5-11 |
| ワイパ寿命の警告を表示する[ワイパレベル] | 5-12 |
| ファームウェアバージョンを表示する[マシン ジョウホウ] | 5-13 |
| プリントヘッドラインを指定する[シヨウヘッド] | 5-14 |
| フラッシングとクリーニングの定期実行[テイキ セイギョ] | 5-15 |

メンテナンスについて

メンテナンスは、本装置を適正にお使いいただくためのお手入れに関する操作をいいます。メンテナンスは、ファンクションメニューの[メンテナンス]を選択し、各詳細を設定してから実行します。

メンテナンス機能の導入について

メンテナンス機能を実行する場合、操作パネル上で以下の操作が必要です。メンテナンス機能への導入操作を覚え、各メンテナンスを実行します。

操作手順

1. 本装置の設定が、ローカルモードになっていることを確認します。

| |
|---------------------------|
| <<ローカル>> X=1010 Y=1860 |
|---------------------------|


2. 【FUNCTION】キーを1回押します。

| | |
|---|--------------|
| FUNCTION | FUNCTION |
|  | セッテイ < ENT > |

3. XYキー【▲】または【▼】を押して、[メンテナンス]を選びます。

| | |
|---|----------------|
| ▲ | FUNCTION |
|  | メンテナンス < ENT > |
| ▼ | |

4. 【ENTER】キーを押します。

| | |
|---|-------------|
| ENTER | メンテナンス |
|  | リスト < ent > |

5. 次の操作を選択します。
各機能 (⇒P.5-3) を設定して、メンテナンスを実行します。

メンテナンスについて

設定機能一覧

| 機能名称 | 概要 | 参照ページ |
|-----------|---|--------|
| リスト | 本装置の設定状態を作図します。 | P.5-4 |
| データダンプ | 受信したデータを HEXコードで作図します。 | P.5-5 |
| ドットイチホセイ | ヘッド高さを変更した後、ドット位置を補正します。 | P.5-6 |
| ステーションメンテ | ステーション内部の清掃、ワイパ交換などを行います。 (キャリッジアウト、ワイパコウカン、ノズルセンジョウ) | P.5-8 |
| インクジュウテン | インクを充填します。 ノズル詰まりが解消しない場合に実行します。 また、ノズルセンジョウやホカンセンジョウを実行すると、インクが混色する場合があります。 混色したインクを排出する場合に実行します。 | P.5-11 |
| インクコウカン | 通常は使用しません。 | — |
| マシンジョウホウ | 本装置とインターフェイスのファームウェアバージョンを表示します。 | P.5-15 |
| テキセイギョ | ノズル詰まり等の防止として、フラッシングとクリーニングを定期的に行う時間を設定します。 | P.5-17 |
| ワイパレベル | ワイパの交換レベルを指定します。 | P.5-14 |
| シヨウヘッド | ヘッドラインを指定して作図します。 | P.5-16 |

設定状態を作図する[リスト]

本装置の設定状態を出力します。

メンテナンスの参考にしてください。

1. ファンクション機能の設定[セッテイ]に関する情報
2. メンテナンス機能のドット位置補正[ドットイチ ホセイ]の情報
3. 各インクカートリッジの交換回数
4. 本装置で使用中のファームウェアのバージョン情報
5. 保守（サービスエンジニア用）に必要な各設定値



注意

★ A4 サイズ以上のシートを縦にセットして、作図を行ってください。

```

LIST (System Ver1.00 :1/F Ver1.40)
(1) セッテイ < タイフ*1 > タイフ*2 タイフ*3 タイフ*4
          サクス ネットワーク ヒョウジ`ユン :ネスト ヒョウジ`ユン :ネスト ヒョウジ`ユン :ネスト ヒョウジ`ユン :ネスト
          ネットワーク タンネウコウ タンネウコウ タンネウコウ タンネウコウ
          カサネネリ 1 :ネスト 1 :ネスト 1 :ネスト 1 :ネスト
          カンツウ シ`カク 0.0s :ネスト 0.0s :ネスト 0.0s :ネスト 0.0s :ネスト
          リフレッシュ レハ`#3 :ネスト レハ`#3 :ネスト レハ`#3 :ネスト レハ`#3 :ネスト
          ミリノイチ ミリ ミリ ミリ ミリ
          オクリ ホセイ 0 :ネスト 0 :ネスト 0 :ネスト 0 :ネスト
          オートリ`ニング オフ OFF OFF OFF OFF
(2) DISPLAY Japanese
(3) トットイチ ホセイ n`タ-ン1 n`タ-ン2 n`タ-ン3 n`タ-ン4
          0.0 0.0 0.0 0.0
          n`タ-ン5 n`タ-ン6 n`タ-ン7
          0.0 0.0 0.0
(4) 0ク`ヒョウツ` カ-トリッヅ`
          1:1 2:1 3:1 4:1 5:1 6:1 7:1 8:1
          A:1 B:1 C:1 D:1 E:1 F:1 G:1 H:1
          X:1
          タイフ*1:0 タイフ*2:0 タイフ*3:0 タイフ*4:0 (x10000)
          インク サ`ンリョウ 1:100% 2:100% 3:100% 4:100% 5:100% 6:100% 7:100% 8:100%
          A:100% B:100% C:100% D:100% E:100% F:100% G:100% H:100%
          インク タイフ` GPlg
    
```


ワークの厚みが変わったら[ドットイチ ホセイ]

作図の往路と復路のインク落下点の位置を補正し、適正な作図結果を得られるようにします。
7パターンのテスト作図の「往路」と「復路」のインク落下点を比較して補正します。
ドット位置補正は、ヘッドの高さを調整した後に必ず実行してください。

操作手順

1. A4サイズ以上のシートを縦にセットし、作図原点を設定します。

シート表面の高さとワーク表面の高さを合わせてください。(使用するワークの上にシートを敷くと、ほぼ同じ高さです。)

2. ドット位置補正[ドットイチ ホセイ]を選びます。

メンテナンス
ドットイチ ホセイ < ent >

3. 【ENTER】 キーを押します。

ENTER
ドットイチ ホセイ
サクズ : ent

4. 【ENTER】 キーを押します。

ドット位置補正のテストパターン作図を開始します。
テストパターンは7種類作図します。

ENTER
** サクズ チュウ **
シバラク オマチクダサイ

5. XYキー【▲】または【▼】を押して、パターン1のドット位置補正をします。

出力した7パターンは、作図した順にパターン1から7と呼びます。

パターン1の適正なドット位置をジョグキーで選択します。

テストパターンの往路と復路が、1本の直線になっている位置を選びます。

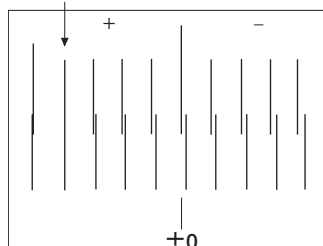
▲
▼
ドットイチ ホセイ
パターン1 = 4.0



注意

★ 直線のパターンの補正值が、-15から+15の中にある場合は、ヘッドの高さ調整をしてから、もう一度、ドット位置補正を実行してください。

プラス方向に0位置から4本目が直線に表示しています。この場合のドット位置補正值は4.0です。



ワークの厚みが変わったら[ドットイチ ホセイ]

6. 【ENTER】 キーを押します。



| | |
|---------------------|-------|
| ドットイチ ホセイ パターン 2 | = 0.0 |
|---------------------|-------|

7. 手順5・6の操作を再実行し、続けてパターン2から7のドット位置補正をします。
各パターンの適正ドット位置を選択します。

パターン7までドット位置補正値を入力し、
【ENTER】 キーを押します。

| | |
|---------------------|-------|
| ドットイチ ホセイ パターン 3 | = 0.0 |
|---------------------|-------|

| | |
|---------------------|-------|
| ドットイチ ホセイ パターン 4 | = 0.0 |
|---------------------|-------|

| | |
|---------------------|-------|
| ドットイチ ホセイ パターン 5 | = 0.0 |
|---------------------|-------|

| | |
|---------------------|-------|
| ドットイチ ホセイ パターン 6 | = 0.0 |
|---------------------|-------|

| | |
|---------------------|-------|
| ドットイチ ホセイ パターン 7 | = 0.0 |
|---------------------|-------|

パターン作図待ち画面に戻ります。

| | |
|-------------------|-------|
| ドットイチ ホセイ パターン | : ent |
|-------------------|-------|

8. 【END】 キーを押して、ドット位置補正を終了します。



| |
|-----------------------------|
| メンテナンス ドットイチ ホセイ < ent > |
|-----------------------------|

9. 【END】 キーを2回押すと、ローカルモードに戻ります。



| |
|---------------------------------|
| <<ローカル>> X=1 0 1 0 Y=1 8 6 0 |
|---------------------------------|

キャリッジを移動する[ステーションメンテ]-[キャリッジアウト]

[ステーションメンテ]には、以下の項目があります。

- キャリッジアウト : ステーション内部の掃除や、消耗品の交換を行う際に、キャリッジを移動します。(⇒P.3-4)
- ワイパコウカン : ワイパ交換の表示が出たら、ワイパを交換します。(⇒P.5-9)
- ノズルセンジョウ : ノズルをクリーニングします。(⇒P.3-7)

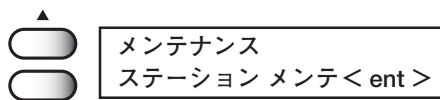
ここでは、キャリッジを移動する方法を説明します。



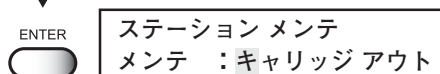
★ 手でキャリッジをキャッピングステーションから出さないでください。
キャリッジは操作キーを使用して動かします。

操作手順

1. XYキー【▲】または【▼】を押して、[ステーションメンテ]を選びます。

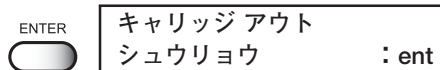


2. 【ENTER】キーを押します。



3. 【ENTER】キーを押します。

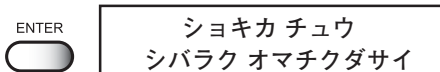
テーブルが奥側に、Yバーが上に移動します。
ワイパが前に移動し、キャリッジがステーション上から移動します。



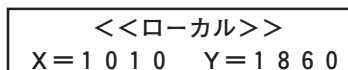
4. ステーションカバーを開けて、ステーション内部のメンテナンスを行います。

- 1) インクキャップのクリーニング (⇒P.3-4)
- 2) ワイパのクリーニング (⇒P.3-4)
- 3) スライダ下面のクリーニング (⇒P.3-3)
- 4) フラッシングトレイインク吸収材の交換 (⇒P.3-11)
- 5) ワイパの交換 (⇒P.5-9) メッセージを表示したら、ワイパを交換してください。

5. ステーションカバーを閉じて、【ENTER】キーを押します。



6. ローカルモードに戻ります。



ワイパ交換メッセージを表示したら[ステーションメンテ]-[ワイパコウカン]

ワイパは消耗品です。以下の表示が出たら、速やかにワイパを交換してください。

ワイパ
ワイパコウカンシテクダサイ



注意



- ★ ワイパを交換する以外は、[ワイパ コウカン]を選択しないでください。本装置内部で管理しているワイパ使用回数がリセットしてしまいます。
- クリーニングワイパは、別売品です。お近くの販売店または弊社営業所でお求めください。

操作手順

1. XYキー【▲】または【▼】を押して、[ステーションメンテ]を選びます。



メンテナンス
ステーションメンテ < ent >

2. 【ENTER】キーを押します。



ステーションメンテナンス
メンテ : キャリッジアウト

3. XYキー【▲】または【▼】を押して、[ワイパコウカン]を選びます。



ステーションメンテナンス
メンテ : ワイパコウカン

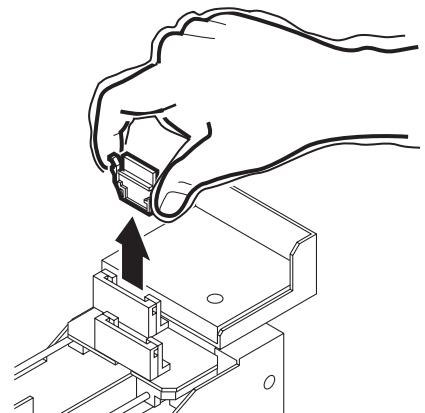
4. 【ENTER】キーを押します。
ワイパが前に移動し、キャリッジがステーション上から移動します。



ワイパコウカン
シュウリョウ : ent

5. ステーションカバーを開けます。

6. 両端の突起を持ってワイパを引き抜きます。
クリーニングワイパキット内の手袋をすると、手が汚れません。

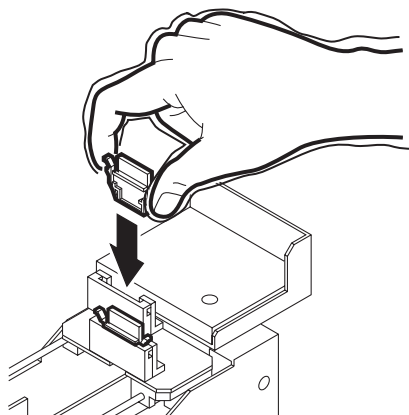


7. 両端の突起を持って新しいワイパを差し込みます。



注意

★ 新しいワイパのゴム部分には触れないでください。ノズル詰まりの原因になります。



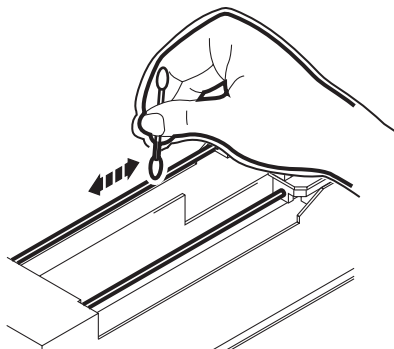
8. ワイパのガイド軸を綿棒、または布等でクリーニングします。

(汚れが落ちにくい場合は、綿棒または布等をメンテナンス用洗浄液で湿らせてクリーニングします。)



注意

★ ワイパのガイド軸は定期的にクリーニングしてください。(⇒P.3-4)
ワイパのガイド軸が極度に汚れていると、ワイパの動作不良によりエラーを表示する場合があります。



9. フラッシングトレイのインク吸収材の汚れ具合を確認します。インクが吸収材表面に浮いていれば、交換します。(⇒P.3-11)

10. ステーションカバーを閉じて、【ENTER】キーを押します。



ショキカ チュウ
シバラク オマチクダサイ

11. ローカルモードに戻ります。

<<ローカル>>
X=1010 Y=1860

インクを充填する[インクジュウテン]

ヘッドクリーニングや「ノズルセンジョウ」機能を実行してもノズル詰まりが改善しない場合、「インクジュウテン」機能を実行します。

また、「ノズルセンジョウ」機能や「ホカンセンジョウ」機能を実行すると、インクが混色する場合があります。

混色したインクを排出するために「インクジュウテン」機能を実行します。

操作手順

1. ファンクションモードにします。

FUNCTION
セッテイ < ENT >

2. XYキー【▲】または【▼】を押して、[メンテナンス]を選びます。

FUNCTION
メンテナンス < ENT >

3. 【ENTER】キーを押します。

ENTER
メンテナンス
リスト < ENT >

4. XYキー【▲】または【▼】を押して、[インク ジュウテン]を選びます。

メンテナンス
インク ジュウテン < ENT >

5. 【ENTER】キーを押します。

ENTER
ジュウテン:1 2 5 6 3 4 7 8
センタク:A B E F C D G H

6. XYキー【◀】または【▶】を押して、インクの混ざっていないヘッドを選びます。
1256 / 3478 / ABEF/CDGH

ジュウテン:1 2 5 6 3 4 7 8
センタク:A B E F C D G H

7. XYキー【▲】または【▼】を押して、インクの混ざっていないヘッドを[- - - -]表示します。

ジュウテン:1 2 5 6 - - - -
センタク:- - - - - - - -

8. 【ENTER】キーを押します。

ENTER
ジュウテン チュウ
0 0 : * * : * *

9. インク充填が終了すると、手順4. の表示に戻ります。

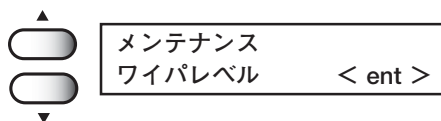
メンテナンス
インク ジュウテン < ENT >

ワイパ寿命の警告を表示する[ワイパレベル]

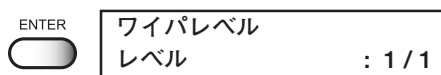
ワイパは消耗品です。ホコリの多い環境などでは、ヘッドが汚れやすくなります。また、曲がったり摩耗したワイパではクリーニング効果が得られません。環境により、ワイパ交換時期の警告を標準より早期に促します。

操作手順

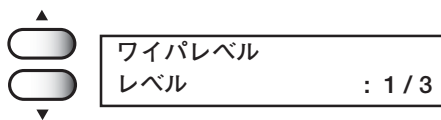
1. XYキー【▲】または【▼】を押して、[ワイパレベル]を選びます。



2. 【ENTER】キーを押します。



3. XYキー【▲】または【▼】を押して、ワイパ交換の表示レベルを選択します。



1/1 : 標準のワイピング回数でワイパ交換の警告を表示 (初期値)

1/2 : 標準の 1/2 回でワイパ交換の警告を表示

1/3 : 標準の 1/3 回でワイパ交換の警告を表示

1/4 : 標準の 1/4 回でワイパ交換の警告を表示

4. 【ENTER】キーを押します。



5. 【END】キーを2回押すと、ローカルモードに戻ります。



ファームウェアバージョンを表示する[マシン ジョウホウ]

本装置とインターフェイスのファームウェアバージョンを表示します。

トラブル発生時に、販売店または弊社営業所にこの情報とトラブル内容とをご連絡ください。

操作手順

1. ファンクションモードにします。

FUNCTION



| | |
|----------|---------|
| FUNCTION | < ENT > |
| セッテイ | |

2. XYキー【▲】または【▼】を押して、[メンテナンス]を選びます。



| | |
|----------|---------|
| FUNCTION | < ENT > |
| メンテナンス | |

3. 【ENTER】キーを押します。

ENTER



| | |
|--------|---------|
| メンテナンス | < ent > |
| ステーション | |

4. XYキー【▲】または【▼】を押して、[マシンジョウホウ]を選びます。



| | |
|-----------|---------|
| メンテナンス | < ent > |
| マシン ジョウホウ | |

5. 【ENTER】キーを押します。

ENTER



| | |
|-----------|--------|
| マシン ジョウホウ | :バージョン |
| ヒョウジ | |

6. [バージョン] を選択して、【ENTER】キーを押します。

ENTER



| | |
|-------|----------|
| MAIN | Ver1. 00 |
| I / F | Ver*. ** |

7. 【END】キーを4回押すと、ローカルモードに戻ります。

END



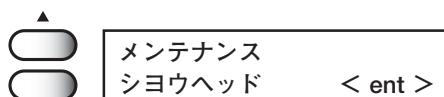
| |
|---------------|
| <<ローカル>> |
| X=1010 Y=1860 |

プリントヘッドラインを指定する[シヨウヘッド]

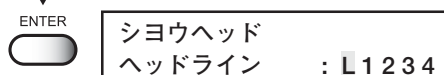
クリーニングを繰り返し行っても、ノズルの抜けや曲がりや復旧しないプリントヘッドがある場合や、より高品質な作図を要求する場合に使用します。キャリッジ上の4x4=16 ノズル列を横4列ずつの4ラインに分割して組み合わせ指定します。

操作手順

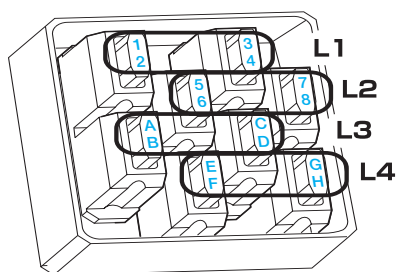
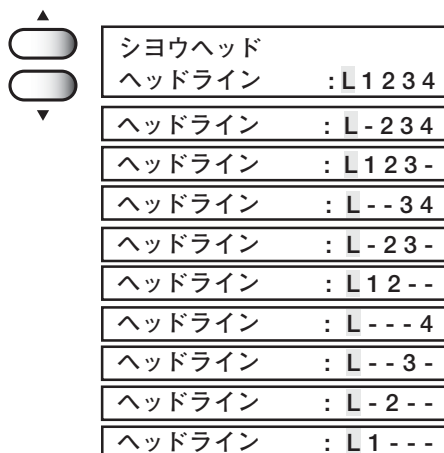
1. XYキー【▲】または【▼】を押して、[シヨウヘッド]を選びます。



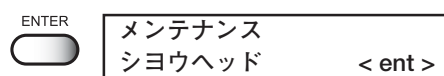
2. 【ENTER】キーを押します。



3. XYキー【▲】または【▼】を押して、使用するヘッドを選択します。



4. 【ENTER】キーを押します。



5. 【END】キーを2回押すと、ローカルモードに戻ります。



フラッシングとクリーニングの定期実行[テイキ セイギョ]

ノズル詰まりの防止やノズル面周辺に付着したごみなどをクリーニングするために、一定時間ごとにフラッシングやクリーニングを行うよう設定します。

テイキ フラッシング

電源ONで放置されているときに、定期的にフラッシングを行います。

本機能をONに設定すると、1時間から24時間まで、1時間単位で設定できます。

操作手順

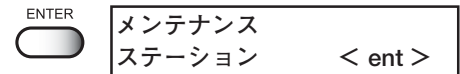
1. ファンクションモードにします。



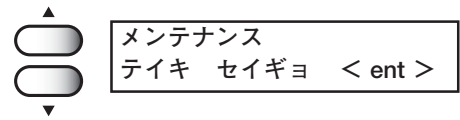
2. XYキー【▲】または【▼】を押して、[メンテナンス]を選びます。



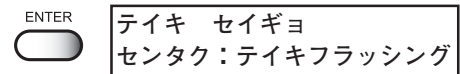
3. 【ENTER】キーを押します。



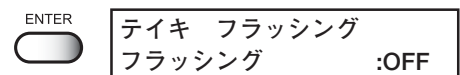
4. XYキー【▲】または【▼】を押して、[テイキ セイギョ]を選びます。



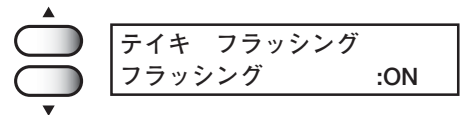
5. 【ENTER】キーを押します。



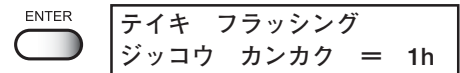
6. [テイキフラッシング]を選択して、【ENTER】キーを押します。



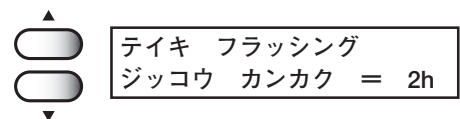
7. XYキー【▲】または【▼】を押して、[ON]を選びます。



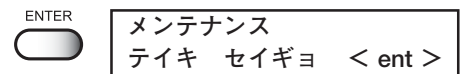
8. 【ENTER】キーを押します。



9. XYキー【▲】または【▼】を押して、間隔時間を選びます。



10. 【ENTER】キーを押します。






テイキクリーニング


電源 ON で放置されているときに、定期的にクリーニングを行います。



本機能を ON に設定すると、1 時間から 48 時間まで、1 時間単位で設定できます。


操作手順


1. ファンクションモードにします。




| | | |
|----------|------|---------|
| FUNCTION | セッタイ | < ENT > |
|----------|------|---------|
2. XYキー【▲】または【▼】を押して、[メンテナンス]を選びます。




| | | |
|----------|--------|---------|
| FUNCTION | メンテナンス | < ENT > |
|----------|--------|---------|
3. 【ENTER】キーを押します。




| | | |
|--------|--------|---------|
| メンテナンス | ステーション | < ent > |
|--------|--------|---------|
4. XYキー【▲】または【▼】を押して、[テイキ セイギョ]を選びます。




| | | |
|--------|----------|---------|
| メンテナンス | テイキ セイギョ | < ent > |
|--------|----------|---------|
5. 【ENTER】キーを押します。


| | | |
|----------|----------------|--|
| テイキ セイギョ | センタク：テイキクリーニング | |
|----------|----------------|--|
6. [テイキクリーニング] を選択して、【ENTER】キーを押します。


| | | |
|------------|--------|------|
| テイキ クリーニング | クリーニング | :OFF |
|------------|--------|------|
7. XYキー【▲】または【▼】を押して、[ON]を選びます。



| | | |
|------------|--------|-----|
| テイキ クリーニング | クリーニング | :ON |
|------------|--------|-----|
8. 【ENTER】キーを押します。


| | | |
|------------|----------------|--|
| テイキ クリーニング | ジッコウ カンカク = 1h | |
|------------|----------------|--|
9. XYキー【▲】または【▼】を押して、間隔時間を選びます。



| | | |
|------------|----------------|--|
| テイキ クリーニング | ジッコウ カンカク = 2h | |
|------------|----------------|--|
10. 【ENTER】キーを押します。


| | | |
|--------|----------|---------|
| メンテナンス | テイキ セイギョ | < ent > |
|--------|----------|---------|

6章

困ったときは

本装置に何らかの異常が発生した場合、またはエラーメッセージを表示した場合のトラブルの解消方法について説明します。

本章の内容

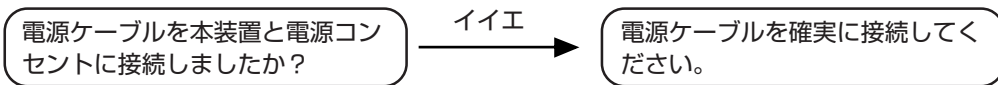
| | |
|----------------------|-----|
| 故障?と思う前に | 6-2 |
| 作図不良が発生したときは | 6-3 |
| メッセージを表示するトラブル | 6-4 |

故障？と思う前に

ディスプレイにエラーメッセージを表示しないときのトラブルの対処方法について説明します。「故障？と思う前に」をもう一度確認してください。対処しても正常に戻らない場合は、販売店または弊社営業所にご連絡ください。

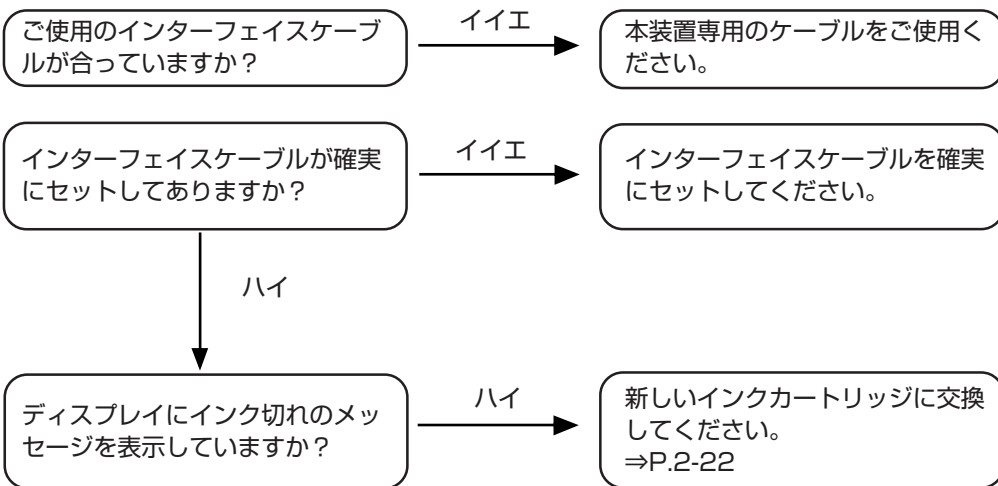
電源が入らない

電源が入らない場合の原因の多くは、電源やコンピュータのケーブル接続ミスによるものです。接続が適正かもう一度確認してください。



作図できない

作図ができない場合は、データが適正に本装置に送られていない場合があります。また、作図機能に不良がある場合や、ワークのセット方法に問題がある場合などが考えられます。



作図不良が発生したときは

ここでは、作図品質に問題があるときの対処方法を説明します。症状に従って対処してください。対処しても改善しない場合は、販売店または弊社営業所にご連絡ください。

白いスジ / カスレ / 色の濃いスジが発生する（ヘッド移動方向）

- 対処方法：1. ヘッドクリーニングをしてください。⇒P.2-12
2. ステーション内部のメンテナンスをしてください。⇒P.3-4,5-8
3. 「送り補正」機能を実行してください。⇒P.2-15
4. ヘッドが通過する部分に、紙片などのゴミが付着している場合は、ゴミを取り除いてください。

文字がワーク送り方向に2重、3重にブレる

対処方法：「送り補正」機能を実行してください。⇒P.2-15

往復印字でズレが発生する / 色ごとにインクが重ならない

対処方法：「ドット位置補正」機能を実行してください。⇒P.5-6

作図中のワーク上に大きなインク滴が落ちる

- 対処方法：1. ワイパをクリーニングしてください。⇒P.3-4
2. インクキャップをクリーニングしてください。⇒P.3-4
3. スライダ下面を洗浄してください。⇒P.3-3
4. ヘッドクリーニングの[ノーマル]を実行してください。
⇒P.2-13
5. 時間が経つと再びインクの滴りができる場合は、ヘッドクリーニングの[キョウリョク]を実行してください。
⇒P.2-13
6. ワーク表面のホコリをクリーニングしてください。
7. テーブル表面に付着しているホコリをクリーニングしてください。

作図途中で色が薄くなり、作図しなくなる

対処方法：1. ご使用になっているRIPの設定または作図データを加工し、作図濃度を下げてください。

作図幅が狭い画像で帯状のスジが発生する

対処方法：1. ヘッドの戻り速度をSLOWに設定してください。⇒P.4-5

メッセージを表示するトラブル

何らかの異常が発生すると、ブザーが鳴りディスプレイにメッセージを表示します。
メッセージの内容によって対処してください。

ワーニングメッセージ

インク関連に対して発生します。

| ワーニングメッセージ | 原因 | 対処方法 |
|---|------------------------------------|--|
| インクカートリッジ 1 2 3 4 5 6 7 8 A B C D F E G H | インクカートリッジが、インクステーションに取り付けられていません。 | 表示している番号のインクカートリッジをインクステーションに取り付けてください。 |
| インクニアエンド 1 2 3 4 5 6 7 8 A B C D F E G H | インクカートリッジのインク残量が少なくなりました。 | 【REMOTE】キーを押すと、1ファイルごと作図できます。早めに表示している番号のインクカートリッジを交換してください。 |
| インクエンド 1 2 3 4 5 6 7 8 A B C D F E G H | インクカートリッジのインクが終わりました。 | 表示している番号のインクカートリッジを交換してください。 |
| インクキゲン 1 2 3 4 5 6 7 8 A B C D F E G H | インクの使用期限が切れています。 | |
| インクザンリョウフソク 1 2 3 4 5 6 7 8 A B C D F E G H | インクの残量が不足しているため、クリーニングを実行できませんでした。 | 表示している番号のインクカートリッジを交換して、クリーニングを実行してください。 |
| インクカラー 1 2 3 4 5 6 7 8 A B C D F E G H | 装着したインクカートリッジの色が、前回装着した色と異なります。 | 表示している番号のインクカートリッジの色を確認してください。 |
| インクシュルイ 1 2 3 4 5 6 7 8 A B C D F E G H | 装着したインクカートリッジの種類が、前回装着した種類と異なります。 | 表示している番号のインクカートリッジの種類を確認してください。 |
| インクヒジュンセイインク 1 2 3 4 5 6 7 8 A B C D F E G H | インクカートリッジが、ミマキ純正品ではありません。 | ミマキ純正品をご使用ください。 |
| ヘッド ヘッドIDミトウロク | ヘッドIDが未登録です。 | 販売店または弊社営業所にサービスコールしてください。 |
| インクICエラー 1 2 3 4 5 6 7 8 A B C D F E G H | インクカートリッジのICチップを正常に読めません。 | 表示している番号のインクカートリッジを再挿入してください。再度、表示する場合は、販売店または弊社営業所にサービスコールしてください。 |
| インクカウントエラー 1 2 3 4 5 6 7 8 A B C D F E G H | インクIC内に異常な情報が発生しました。 | |

メッセージを表示するトラブル

| ワーニングメッセージ | 原因 | 対処方法 |
|-----------------------------------|--|---|
| インクタンク ハイインク タンク ナシ | 廃インクタンクが確認できません。 | 廃インクタンクを奥までセットしてください。 |
| インクタンク ハイインク タンク フル | 廃インクタンクがいっぱいです。 | 廃インクを処分し、空の廃インクタンクをセットしてください。 |
| インクタンク ハイインク タンク ニア フル | 廃インクタンクがもうすぐでいっぱいになります。 | |
| バッテリー コウカン | 電池が切れています。 | 電池を交換してください。 |
| ワイパ ワイパ コウカンシテクダサイ | キャッピングステーションのワイパ交換時期、およびスライダ下面に付着したインクのクリーニング時期です。 | 【REMOTE】キーを押すと、作図できます。早めに新しいワイパに交換してください。(⇒P.5-9) |
| ワイパ ワイパジク クリーニング | ワイパのガイド軸が汚れています。 | ワイパのガイド軸をクリーニングしてください。(⇒P.5-9) |
| ヘッドタカサ Zヲ カクニン シテクダサイ | ヘッドの高さが不適正です。 | ヘッドの高さを再調整してください。(⇒P.2-6) |
| ステーションカバー マタハ Stop スイッチ ヲ チェック | ステーションカバーが開いているか、Stopスイッチが押された状態です。 | ステーションカバーを閉じるか、Stopスイッチを解除してください。 |
| ブロワ フィルタ フィルタ ヲ コウカンシテクダサイ | 吸着テーブル左右のフィルターユニットのフィルター交換時期です。 | フィルターを交換してください。(⇒P.3-10) |
| ヘッドヲ キャッピングシテクダサイ | 30秒以上、ヘッドがキャッピングしていない状態です。 | XYキーを押すか、[ステーション]-[キャッピング]を選択して、ヘッドをキャッピングしてください。(⇒P.5-8) |
| サービス コール 001 | 定期交換部品の交換時期です。 | 継続して使用できますが、お早めに販売店、または弊社営業所にサービスコールしてください。 |
| サービス コール 002 | | |
| テイオン ヒドウサ オンド | 動作可能温度以下です。 | 周囲の温度を調整してください。 |

| ワーニングメッセージ | 原因 | 対処方法 |
|----------------------|-----------------|-----------------|
| オンド カンキョウ オンド ヒクイ | 環境温度が作図保証範囲外です。 | 周囲の温度を調整してください。 |
| オンド カンキョウ オンド タカイ | | |

エラーメッセージ

エラーメッセージは、エラー番号を表示します。

エラーメッセージを表示した場合は、電源をオフにしてしばらくたってから電源をオンにしてください。

それでもメッセージを表示する場合は、販売店または弊社営業所にご連絡ください。

| エラーメッセージ | 原因 | 対処方法 |
|----------------------------|---|--|
| ERROR 01 MAIN ROM | 制御基板に異常が発生しました。 | 一度電源をオフにして、しばらくたってから電源をオンにしてください。 再度、表示する場合は、販売店または弊社営業所にサービスコールしてください。 |
| ERROR 02 MAIN RAM | | |
| ERROR 03 POWER +5V | 制御基板に異常が発生しました。 POWER+5V POWER+35V | |
| ERROR 03 POWER +35V | | |
| ERROR 04 F- ROM | 制御基板に異常が発生しました。 | |
| ERROR 06 D-RAM | | |
| ERROR 07 TEMP (nnnn) | 異常な温度検出が発生しました。 | |
| ERROR 08 LINEAR ENCODER | リニアエンコーダの検出で、異常が発生しました。 | |
| ERROR 09 FPGA | 制御基板に異常が発生しました。 FPGA HDC | |
| ERROR 09 HDC | | |
| ERROR 10 COMUAND | コマンドデータ以外のデータを受信しました。 IEEE1284 に適合していないインターフェイスケーブルが使われています。 | インターフェイスケーブルを確実に接続してください。 規格に適合したインターフェイスケーブルを使用してください。 |

メッセージを表示するトラブル

| エラーメッセージ | 原因 | 対処方法 |
|-----------------------------------|---|--|
| ERROR 11 PARAMETER | 数値範囲外のパラメータを受信しました。 | ホストコンピュータの出力設定値を確認してください。 |
| ERROR 14 COLOR COMMAND | 未対応の色指定データを受信しました。 | |
| ERROR 20 I / F BOARD | I/F ボードと制御基板のインターフェイスに、エラーが発生しました。 | 一度電源をオフにして、しばらくたってから電源をオンにしてください。 |
| ERROR 21 I / F NONE | I/F ボードが制御基板に装着されていません。 | 再度、表示する場合は、販売店または弊社営業所にサービスコールしてください。 |
| ERROR 23 HOST I / F | ホストコンピュータとI/F ボードとの通信に、タイムアウトエラーが発生しました。 | ケーブルが確実に接続しているか、またはホストコンピュータ側でエラーが発生していないか確認してください。 |
| ERROR 24 I / F INITIAL | I/F ボードと制御基板の初期動作不良です。 | 一度電源をオフにして、しばらくたってから電源をオンにしてください。 再度、表示する場合は、販売店または弊社営業所にサービスコールしてください。 |
| ERROR 30 オペレーションエラー | 操作パネルで不当なオペレーションをしました。 | 正しいオペレーションをしてください。 |
| ERROR 34 ミサクス データ アリ | 受信済みで未作図のデータがあるのに、ファンクション機能の設定機能を変更しようとしています。 | 受信済みのデータを全て作図するか、データクリアを実行してから、設定機能を変更してください。 |

| エラーメッセージ | 原因 | 対処方法 |
|----------------------------|----------------------------|--|
| ERROR 40 モータアラーム X | Xモーターに過大な負荷がかかりました。 | 一度電源をオフにして、しばらくたってから電源をオンにしてください。 再度、表示する場合は、販売店または弊社営業所にサービスコールしてください。 |
| ERROR 41 モータアラーム Y | Yモーターに過大な負荷がかかりました。 | |
| ERROR 42 X OVER CURRENT | Xモーターの過電流エラーを検出しました。 | |
| ERROR 43 Y OVER CURRENT | Yモーターの過電流エラーを検出しました。 | |
| ERROR 45 CAPPING | キャッピングステーションの高さが適正ではありません。 | |
| ERROR 46 WIPING | ワイパの位置が適正ではありません。 | |
| ERROR 51 ゲンテンケンシュツ | 原点検出ができませんでした。 | |



付録

各種仕様や構成品、ファンクションメニュー構造を示します。

本章の内容

| | |
|-----------------|------|
| 基本仕様 | 付録-2 |
| インク仕様 | 付録-4 |
| 消耗品 | 付録-5 |
| 警告ラベルについて | 付録-6 |
| 機能フローチャート | 付録-8 |

基本仕様

| 項目 | | DM3-1810S |
|----------|------------|---|
| 作図ヘッド部 | 方式 | ドロップオンデマンドピエゾヘッド |
| | 仕様 | 8ヘッド (2列 x 4スタガ) |
| | ノズル構成 | 4色 x 720ノズル |
| 作図分解能 | | 360, 540, 720 dpi |
| 作図モード | | 360 x 360 dpi : 2/4/8 pass, 双方向 / 単方向 360 x 540 dpi : 3/6/12 pass, 双方向 / 単方向 360 x 720 dpi : 4/8/16 pass, 双方向 / 単方向 720 x 720 dpi : 4/8/16 pass, 双方向 / 単方向 |
| 使用可能インク | | 専用ソルベントインク |
| インクセット | | 1色あたり4カートリッジ |
| インク供給 | | インクカートリッジからのチューブ供給 インク残量表示機能あり インクエンド検出機能あり インクカートリッジ交換方式 |
| インク容量 | | 各色 (220 または 440cc ± 10 cc) x 4カートリッジ |
| 使用可能ワーク | | 段ボール、タイルなど、ある程度フラットな面を持つ不特定なもの プラスチック PET、合成紙などのシート状ワーク |
| ワークサイズ | 最大作図範囲 | 幅 1860 x 長さ 1010 mm |
| | セット可能最大サイズ | 幅 1870 x 長さ 1050 mm |
| | 厚さ | 50 mm 以下 |
| | 重量 | 60 kg 以下 (等分布荷重) |
| 距離精度 | 絶対精度 | ± 0.3 mm または 指定距離の ± 0.15% の大きい方 |
| | 再現性 | ± 0.2 mm または 指定距離の ± 0.05% の大きい方 |
| 直角度 | | ± 0.5 mm/1000 mm |
| ヘッド高さ調整 | | テーブルより 1.3 ~ 51.3 mm 可変 |
| 廃インクタンク | | ボトル式 (5.5 リットル / タンクフルセンサ付き) |
| インターフェイス | | IEEE1284 準拠、IEEE1394 準拠 |
| コマンド | | MRL-IIC <ESC/PL2バース ミマキオリジナルコマンド> |
| 騒音 | 待機時 | 55 dB 以下 (FAST-A, 前後左右 1 m) |
| | 動作連続音 | 70 dB 以下 |
| | 動作不連続音 | 70 dB 以下 |
| 適合規格 | | VCCI クラス A, FCC クラス A, CB レポート CE マーキング (EMC 指令, 低電圧指令), ETL/cETL |

基本仕様

| 項 目 | | DM2-1810 |
|------|--------|---|
| 電源仕様 | | AC100-240 V \pm 10 % (オートボルテージ) 50/60 Hz \pm 1 Hz 吸着テーブル用ブロワは 100 V 別電源 |
| 消費電力 | | 500 VA 吸着テーブル用ブロワは 500 VA 別電源 |
| 設置環境 | 使用可能温度 | 15 ~ 30 $^{\circ}$ C |
| | 相対湿度 | 40 ~ 65 %Rh (結露なきこと) |
| | 精度保証温度 | 18 ~ 25 $^{\circ}$ C |
| | 温度勾配 | \pm 10 $^{\circ}$ C/h 以下 |
| | 粉塵 | オフィス相当 |
| 重量 | | 650 kg 以下 |
| 外形寸法 | | 3070 (W) x 2560 (D) x 1350 (H) mm 以下 |

レーザーセンサーユニット仕様

| 項 目 | 内 容 |
|------|--------------------|
| 規格 | JIS/IEC クラス 1 レーザー |
| 最大出力 | 3.0mW |
| パルス幅 | 3.5 μ S |
| 波長 | 650nm |

インク仕様

詳細は、販売店または弊社営業所にお問い合わせください。

| 項目 | | 品番・仕様 | |
|-------|-----|--------------------------------|---------------|
| 形態 | | 専用ソルベントインクカートリッジ | |
| インク種類 | | K,M,C,Y 4色 | |
| インク容量 | | SS1 インク | 220cc/ カートリッジ |
| | | ES3 インク | 440cc/ カートリッジ |
| 有効期間 | | カートリッジの記載による 開封から6カ月以内 | |
| 保存温度 | 保存時 | 0～25℃（1日の平均温度） | |
| | 輸送時 | -20～60℃ （-20℃、60℃の場合48時間以内） | |



★ インクカートリッジを分解したり、インクを詰め替えないでください。
故障の原因になります。

消耗品

本装置を使用していると、以下の部分が消耗してきます。長い間同じ部品をご使用になると、任意の作図結果が得られません。定期的な交換をお勧めします。お求めの際は、販売店または弊社営業所までご連絡ください。

ワイパ10ヶ入り：型番 SPA-0116

フィルター/綿棒 10本入り：型番 綿棒6” 木軸S

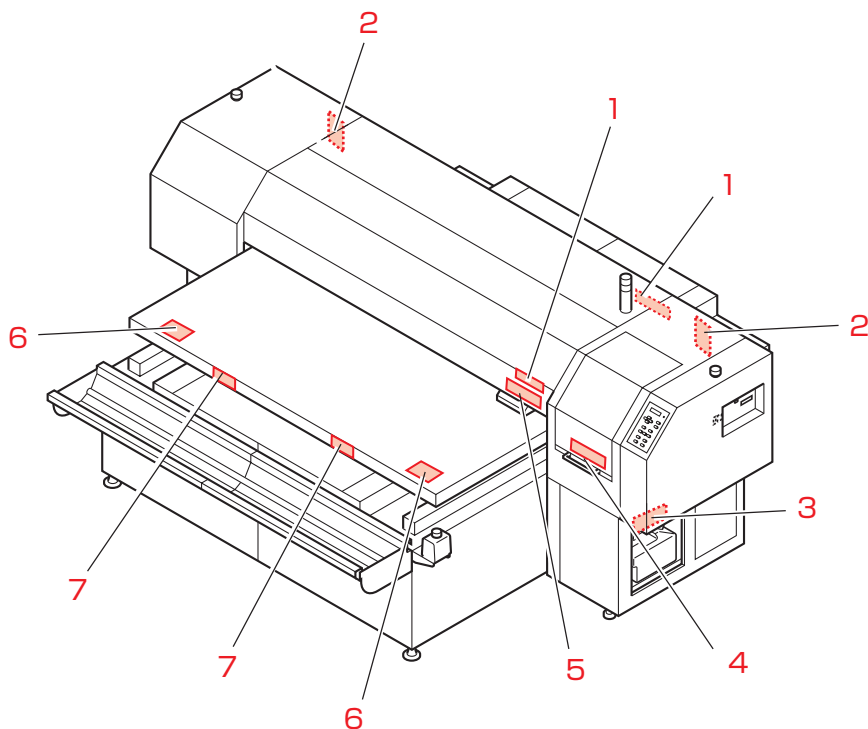
インク吸収材（フラッシングトレイ）100枚入り：型番 M-3

警告ラベルについて




本装置には、10 種類15 枚の警告ラベルが貼ってあります。警告ラベルの内容を十分理解してください。

なお、警告ラベルが汚れて読めなくなったり剥がれた場合は、新しい警告ラベルを販売店または弊社営業所にてお買い求めください。

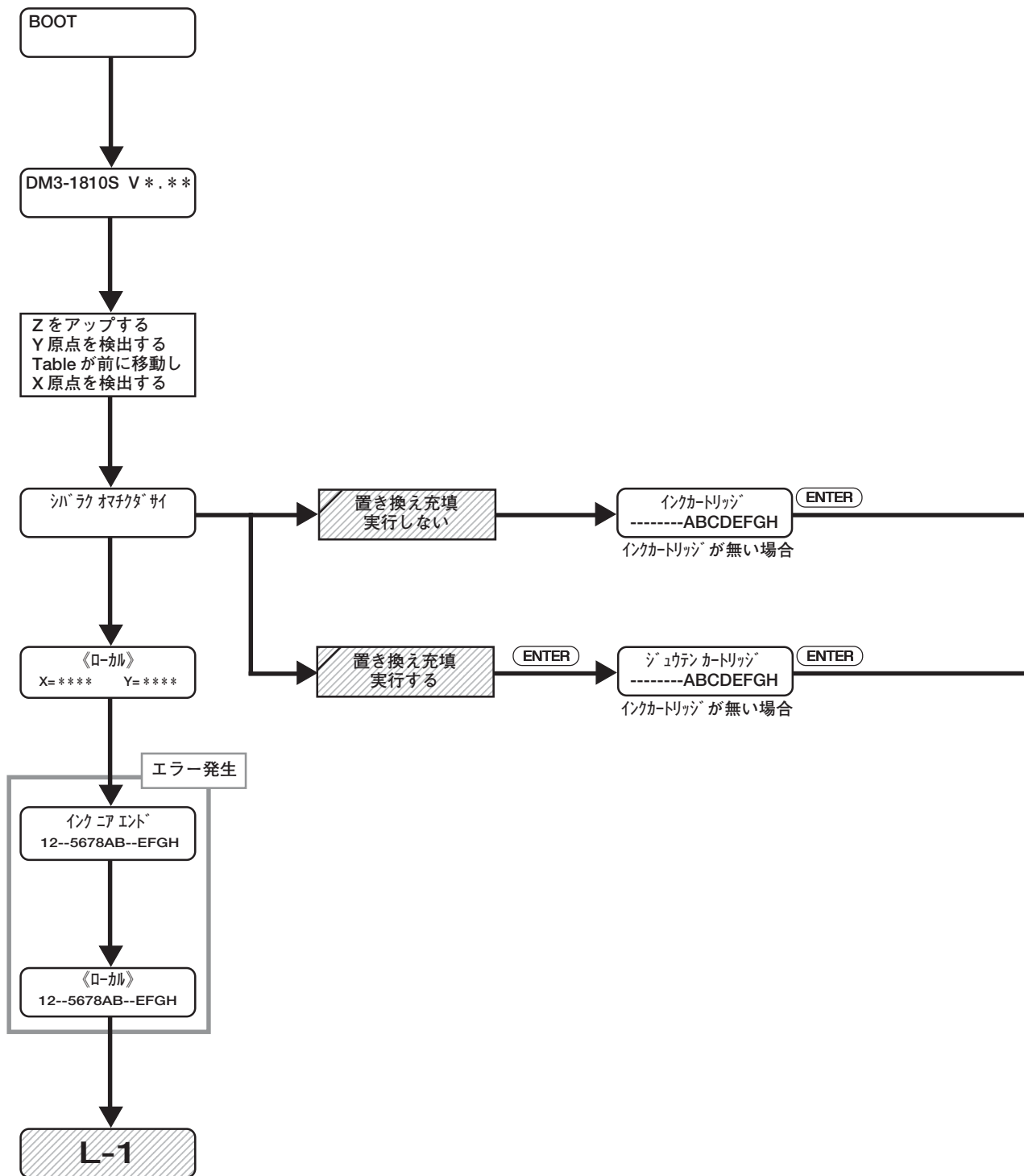
ラベルの位置



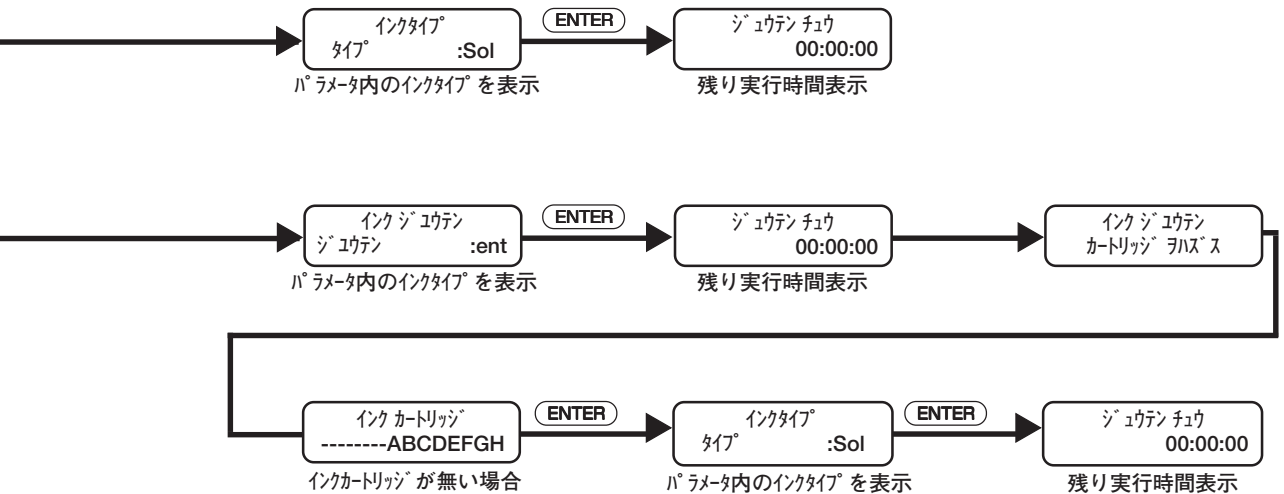
警告ラベルについて

| No. | 注文 No. | ラベル | | | | | |
|--|--|---|--|--|--|--|--|
| 1 | M903968 |  | | | | | |
| 2 | LHDM-04 (日本語) PED-04 (英語) |  | | | | | |
| 3 | M901469 | <table border="1" data-bbox="591 736 1041 823"> <tr> <td>△ 注意 废墨は没有毒性的、 请跟捉地方法排去。</td> <td>△ 注意 废インクに毒性はありま せん。地域の条例に従い、 廃棄してください。</td> <td>△ CAUTION Inks are not poisonous. You can dispose them according to a municipat ordinance.</td> </tr> </table> | △ 注意 废墨は没有毒性的、 请跟捉地方法排去。 | △ 注意 废インクに毒性はありま せん。地域の条例に従い、 廃棄してください。 | △ CAUTION Inks are not poisonous. You can dispose them according to a municipat ordinance. | | |
| △ 注意 废墨は没有毒性的、 请跟捉地方法排去。 | △ 注意 废インクに毒性はありま せん。地域の条例に従い、 廃棄してください。 | △ CAUTION Inks are not poisonous. You can dispose them according to a municipat ordinance. | | | | | |
| 4 | M901607 | <table border="1" data-bbox="474 880 1195 948"> <tr> <td>増印時、请不要打开盖子。如果 打开盖子的话增印就会停止。禁止之 后再度增印时，请将数据再从计算 机中输出。</td> <td>作印中、このカバーを開けないでく ださい。途中で作印が終了してしま います。再度、作印する場合は、 もう一度コンピュータからデータを 送信してください。</td> <td>Do not open this cover during printing. The carriage will stop and ruin the print.</td> <td>Diese Abdeckung während des Druckens nicht öffnen. Der Wagen hält sonst an, wodurch der Druck ruiniert wird.</td> <td>Ne pas ouvrir ce couvercle pendant l'impression. Le chariot peut s'arrêter, abimant l'impression. ㉔</td> </tr> </table> | 増印時、请不要打开盖子。如果 打开盖子的话增印就会停止。禁止之 后再度增印时，请将数据再从计算 机中输出。 | 作印中、このカバーを開けないでく ださい。途中で作印が終了してしま います。再度、作印する場合は、 もう一度コンピュータからデータを 送信してください。 | Do not open this cover during printing. The carriage will stop and ruin the print. | Diese Abdeckung während des Druckens nicht öffnen. Der Wagen hält sonst an, wodurch der Druck ruiniert wird. | Ne pas ouvrir ce couvercle pendant l'impression. Le chariot peut s'arrêter, abimant l'impression. ㉔ |
| 増印時、请不要打开盖子。如果 打开盖子的话增印就会停止。禁止之 后再度增印时，请将数据再从计算 机中输出。 | 作印中、このカバーを開けないでく ださい。途中で作印が終了してしま います。再度、作印する場合は、 もう一度コンピュータからデータを 送信してください。 | Do not open this cover during printing. The carriage will stop and ruin the print. | Diese Abdeckung während des Druckens nicht öffnen. Der Wagen hält sonst an, wodurch der Druck ruiniert wird. | Ne pas ouvrir ce couvercle pendant l'impression. Le chariot peut s'arrêter, abimant l'impression. ㉔ | | | |
| 5 | M901549 | <table border="1" data-bbox="515 993 1157 1064"> <tr> <td>△ 注意 滾转转动时，请勿将手插入 前面外盖的内部。</td> <td>△ 注意 キャリッジ動作中は、フロント カバーの中に指を入れない てください。</td> <td>△ CAUTION -MOVING CARRIAGE- Do not put fingers inside this area</td> <td>△ ACHTUNG -Beweglicher Wagen- Finger nicht in diesen Bereich bringen.</td> <td>△ ATTENTION -CHARIOT MOBILE- Ne pas mettre de doigts dans cette zone. ㉔</td> </tr> </table> | △ 注意 滾转转动时，请勿将手插入 前面外盖的内部。 | △ 注意 キャリッジ動作中は、フロント カバーの中に指を入れない てください。 | △ CAUTION -MOVING CARRIAGE- Do not put fingers inside this area | △ ACHTUNG -Beweglicher Wagen- Finger nicht in diesen Bereich bringen. | △ ATTENTION -CHARIOT MOBILE- Ne pas mettre de doigts dans cette zone. ㉔ |
| △ 注意 滾转转动时，请勿将手插入 前面外盖的内部。 | △ 注意 キャリッジ動作中は、フロント カバーの中に指を入れない てください。 | △ CAUTION -MOVING CARRIAGE- Do not put fingers inside this area | △ ACHTUNG -Beweglicher Wagen- Finger nicht in diesen Bereich bringen. | △ ATTENTION -CHARIOT MOBILE- Ne pas mettre de doigts dans cette zone. ㉔ | | | |
| 6 | M903226 (日本語) M904325 (英語) | <p data-bbox="550 1122 996 1170">このテーブルに腰掛けたり、寄り掛かる等の偏荷重をかけないで下さい。 テーブルが変形し、故障の原因や、画質に影響が出る可能性があります。</p> <p data-bbox="550 1219 1002 1267">Do not sit or lean on the table. Do not put any pressure on one side. These will deform the table and may cause damage and affects the printing.</p> | | | | | |
| 7 | LHCM-02 (日本語) PEC-02 (英語) |  | | | | | |

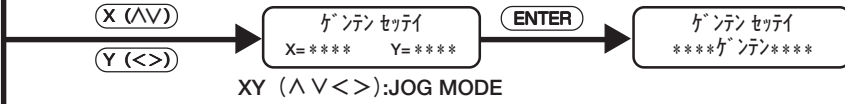
機能フローチャート



機能フローチャート

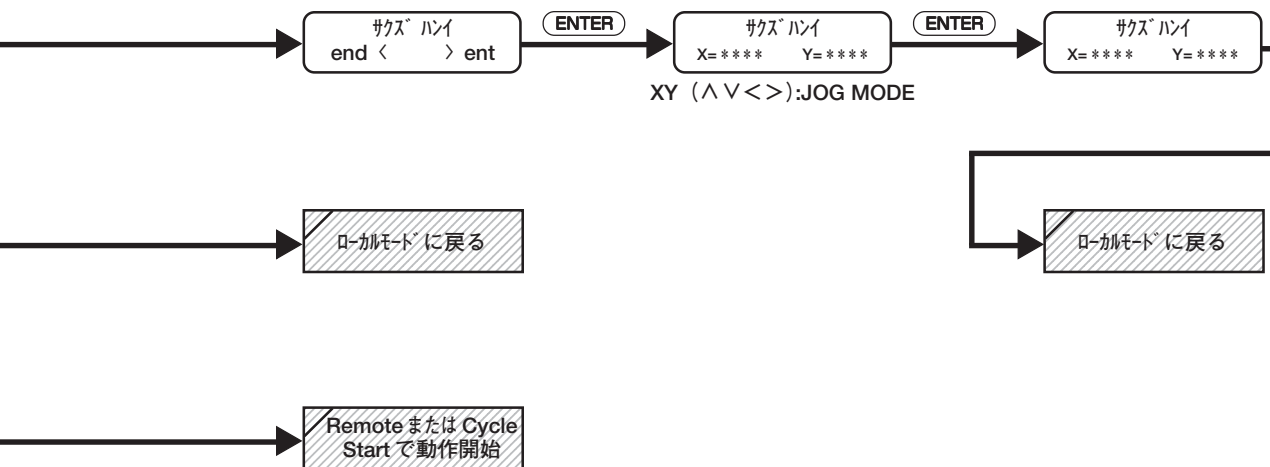


L-1



L-2

機能フローチャート



L-2

CLEANING

クリーニング :12563478
 センタク :ABEFCDBGH
 X (^V) :ヘッド On/Off
 Y (<>) :カーソル移動

ENTER

クリーニング
 タイプ :ノーマル
 X (^V) :ソフト
 :キヨウリョク

ENTER

オンライン作図

REMOTE

<リモート> タイプ *
 X=**** Y=****

データ受信

<リモート> V360x360
 STD / 4P / U / **.*

ニアエンド

CYCLE START

<サイクル> タイプ *
 X=**** Y=****

データ受信

<サイクル> V360x360
 STD / 4P / U / **.*

ニアエンド

ENTER

FUNCTION

オクリ ホセイ

オクリ ホセイ -50
 ホセイ カイン :ent

ENTER

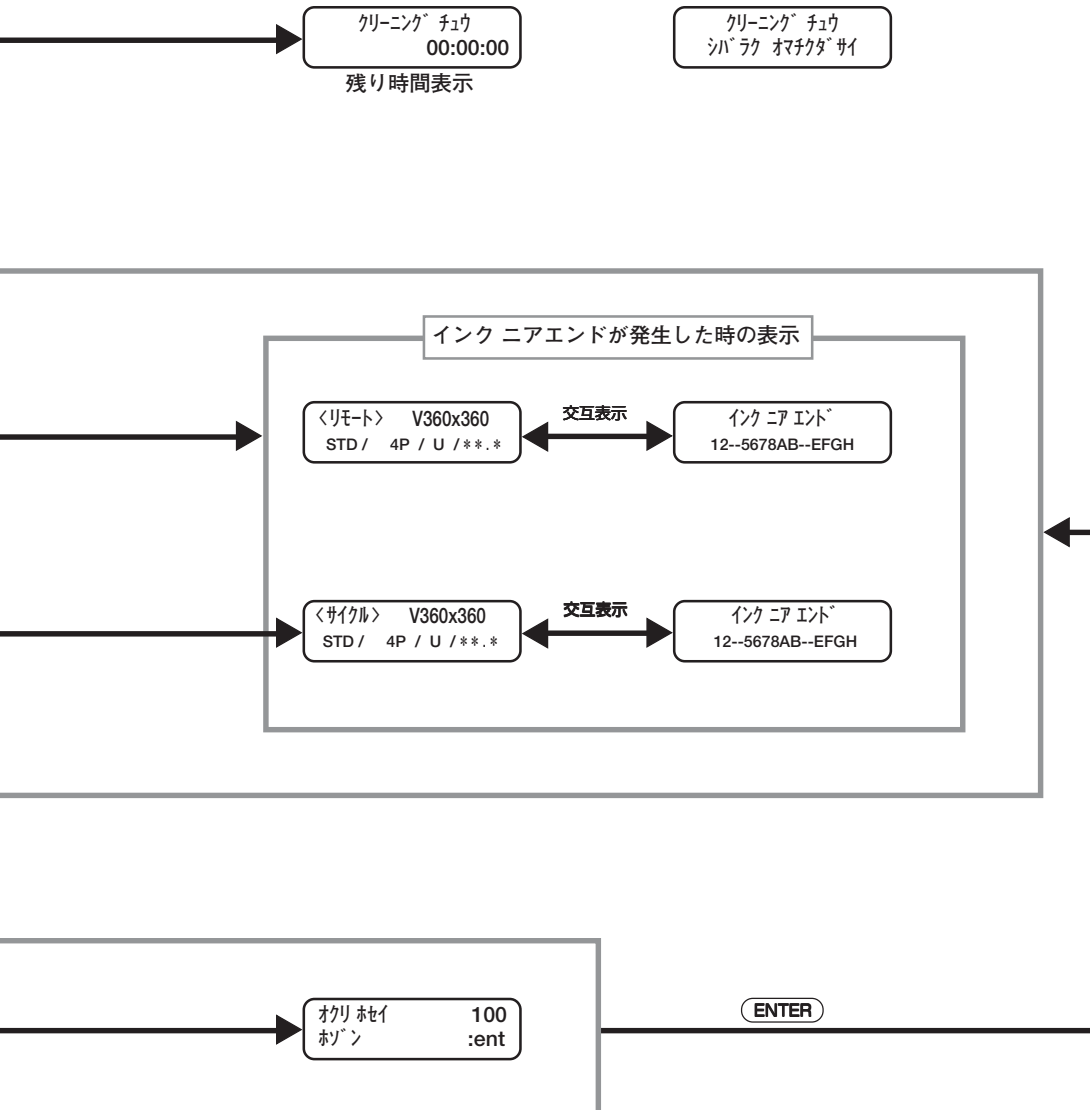
オクリ ホセイ -50
 ホセイ =100

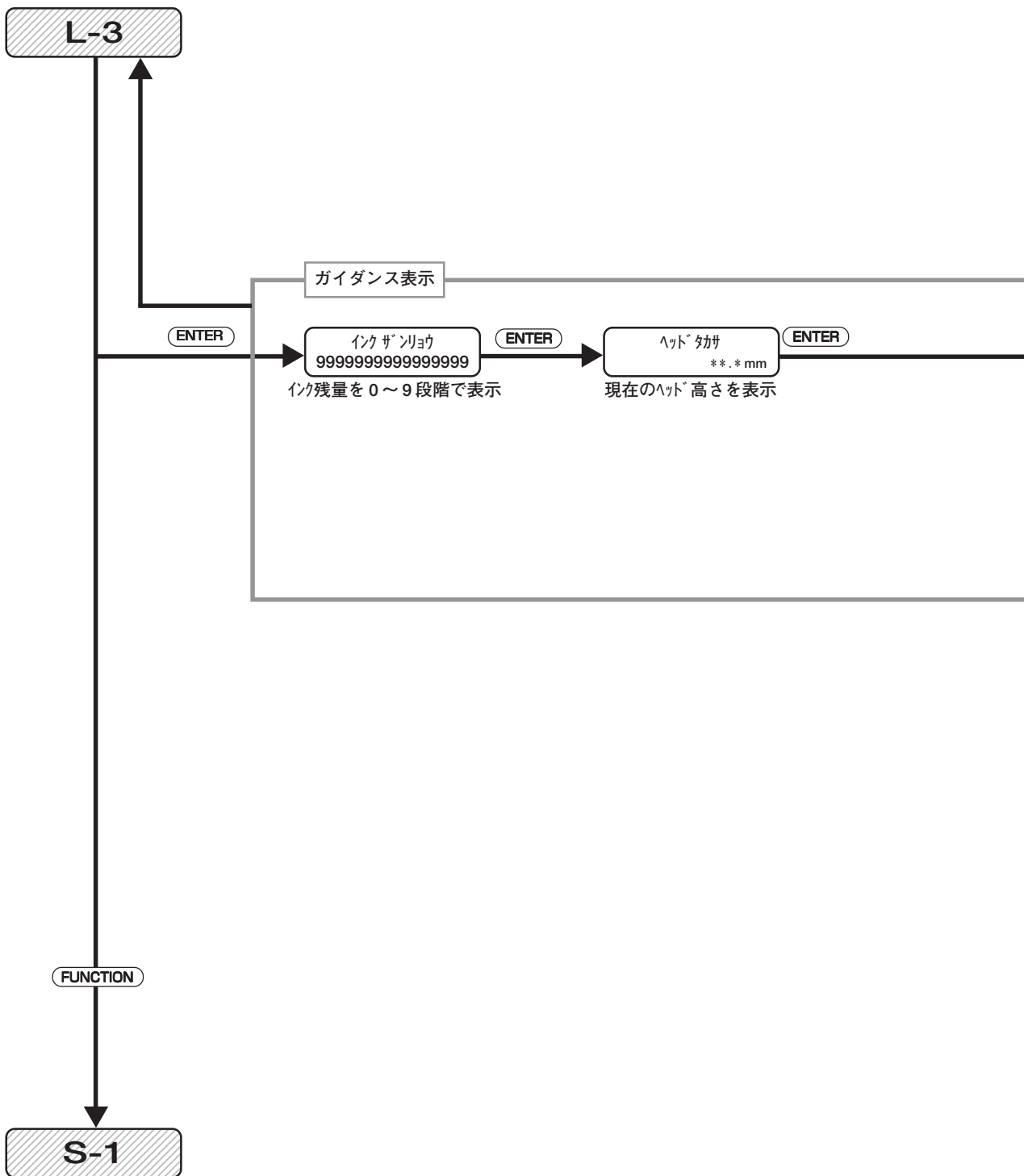
ENTER

X (^V) =-100 ~ 100

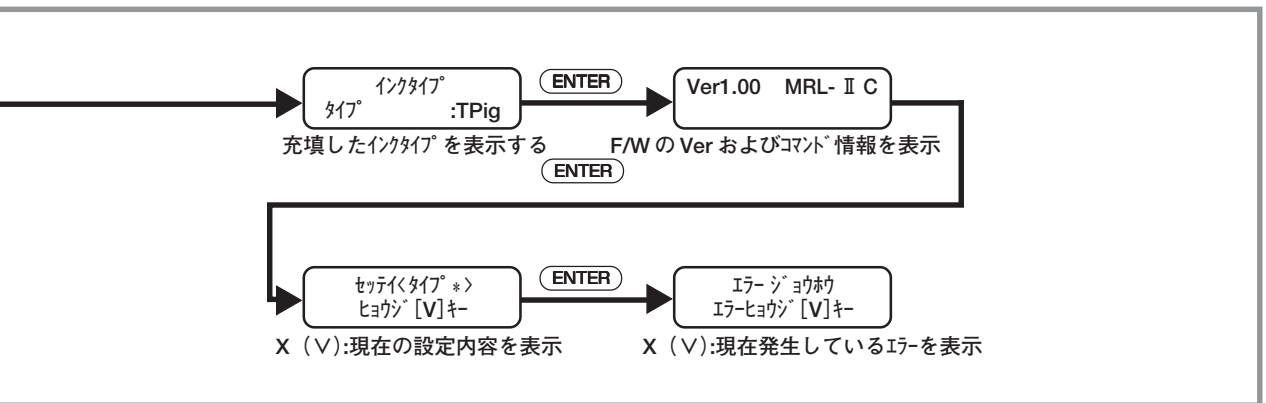
L-3

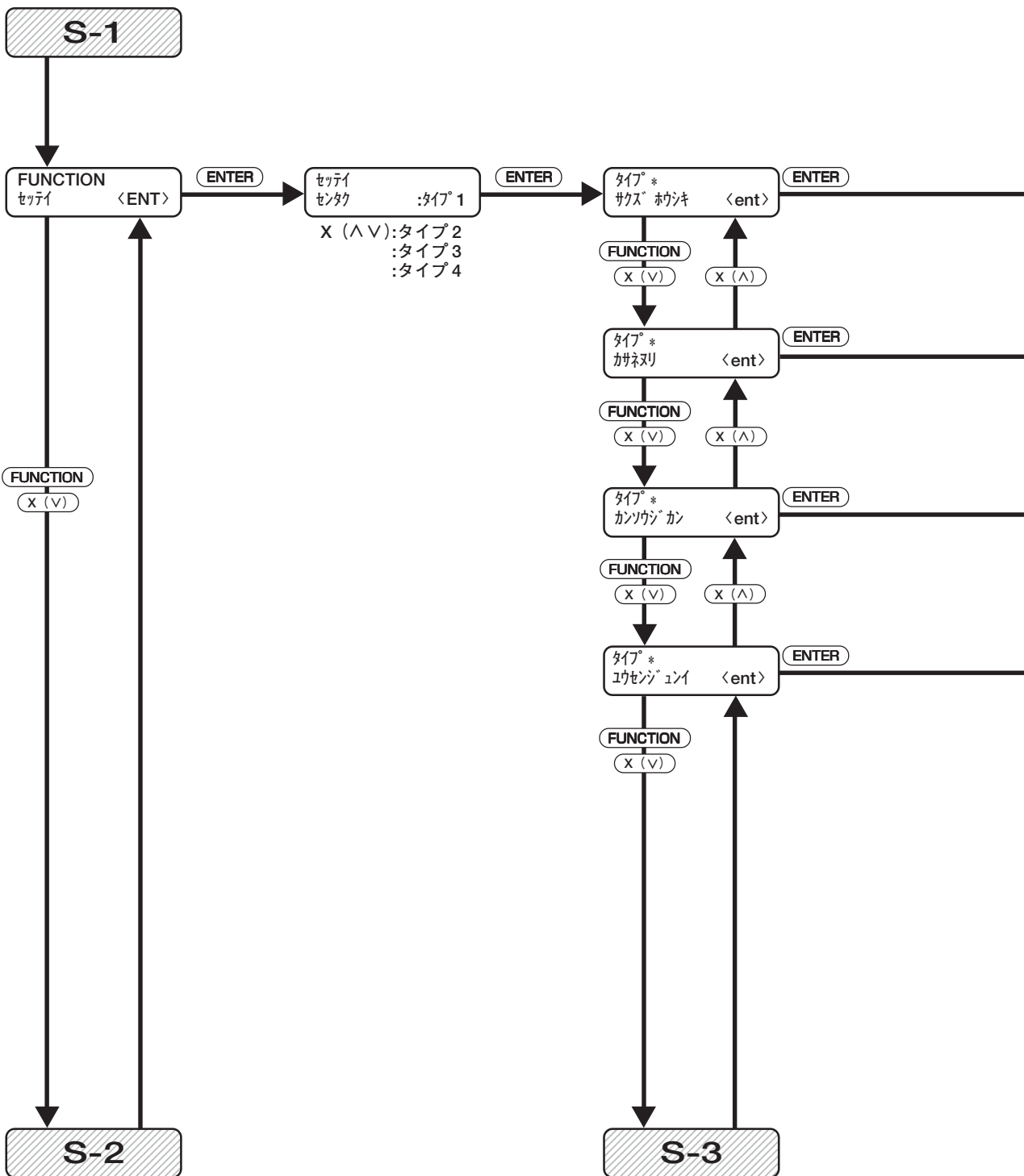
機能フローチャート



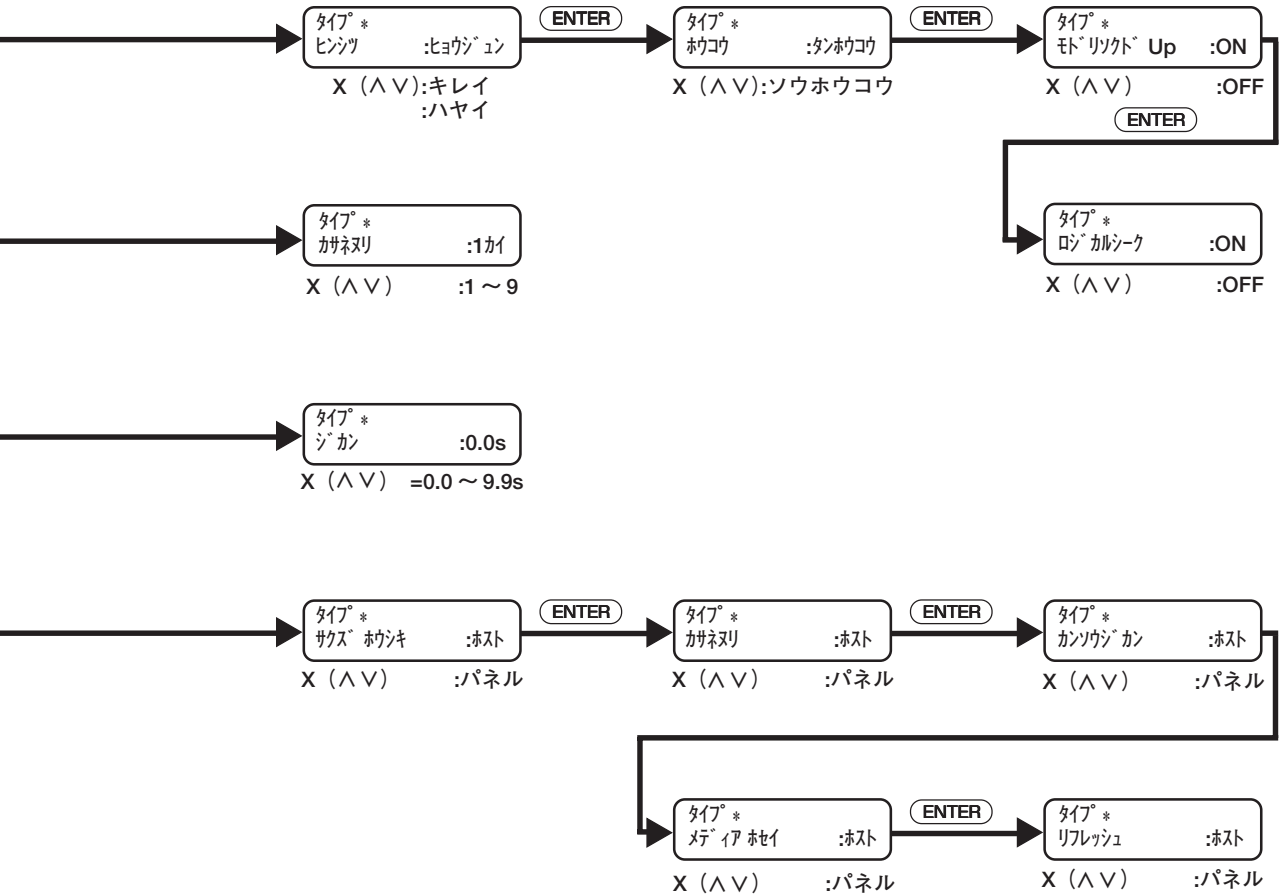


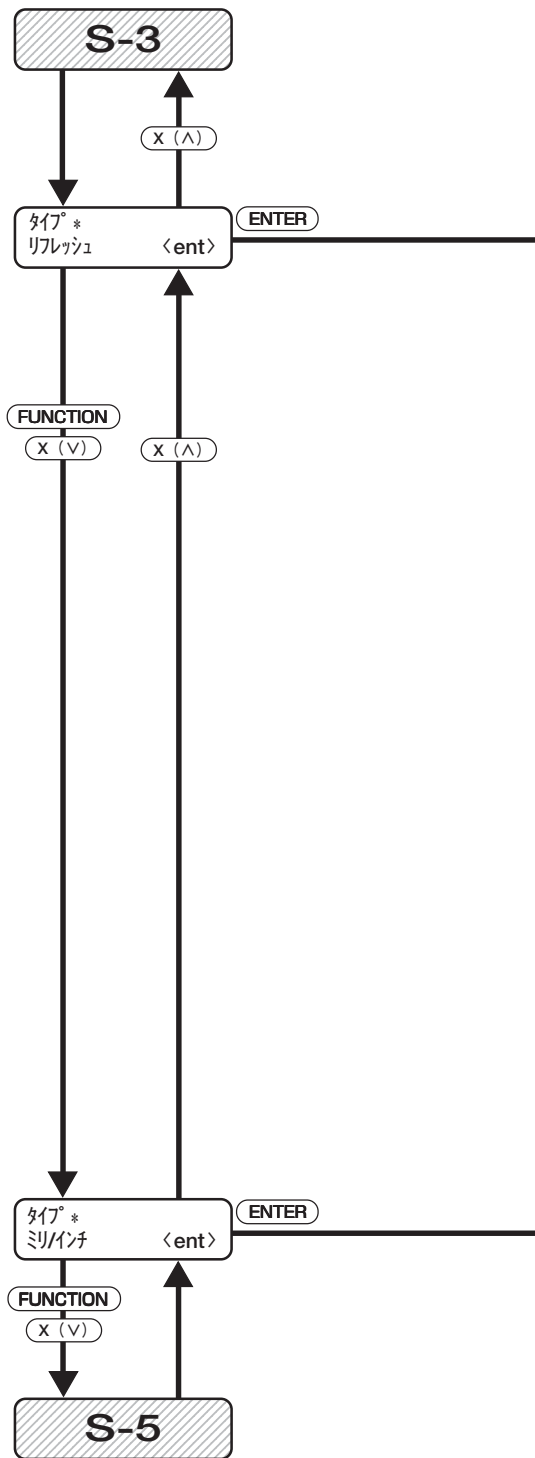
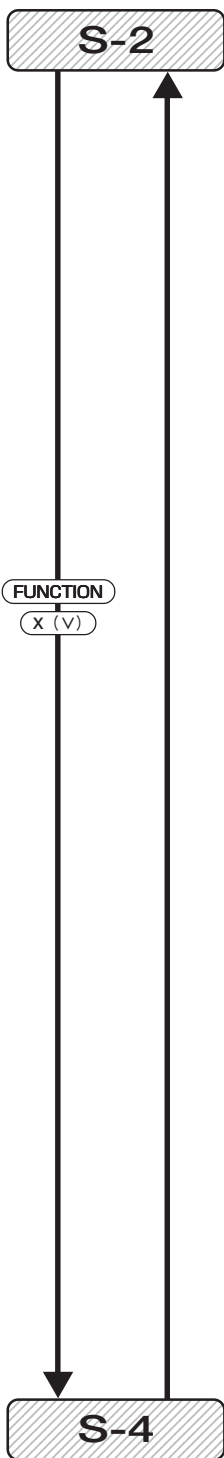
機能フローチャート



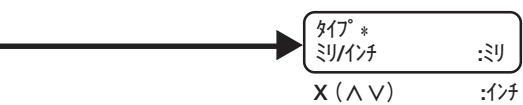
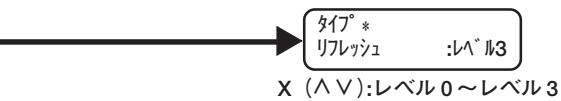


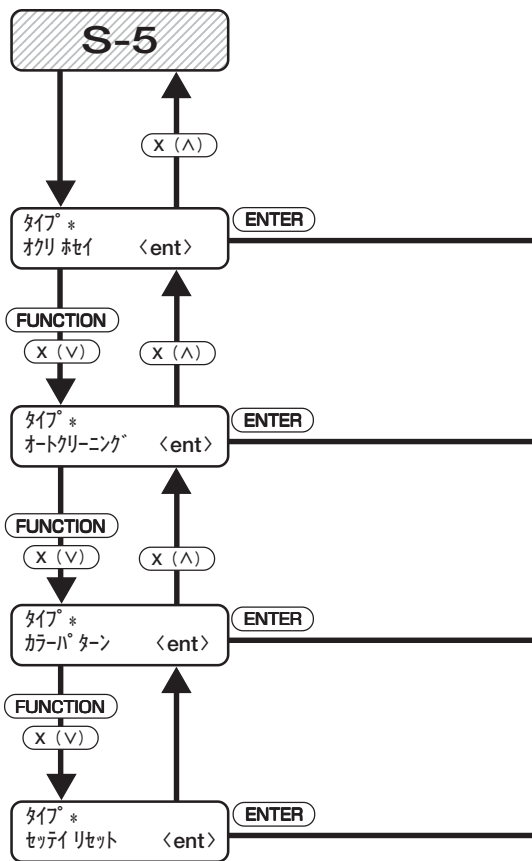
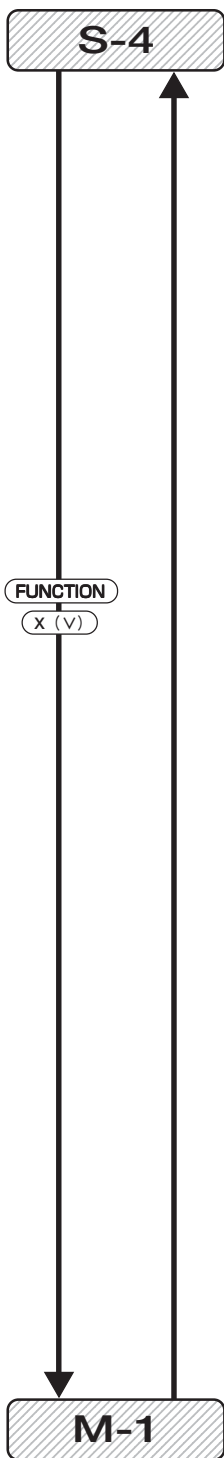
機能フローチャート



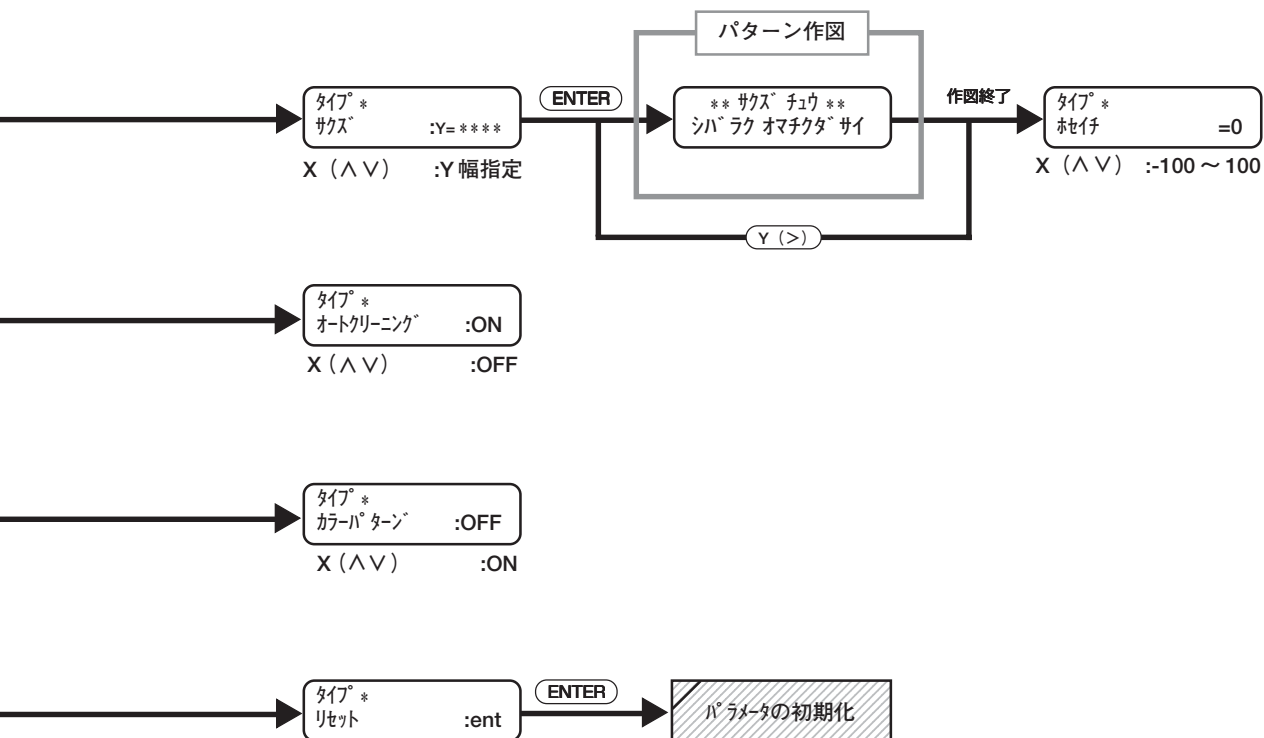


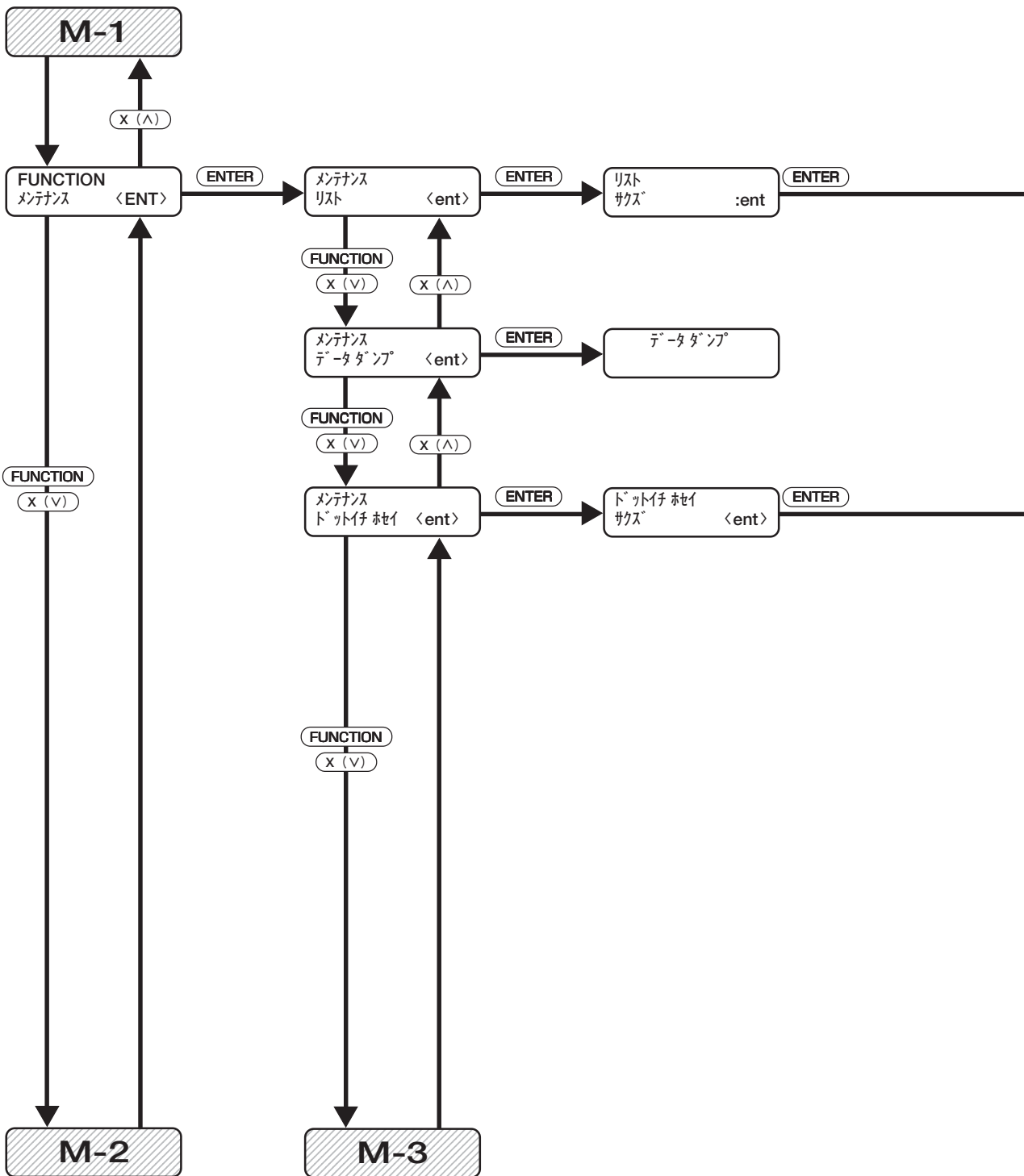
機能フローチャート



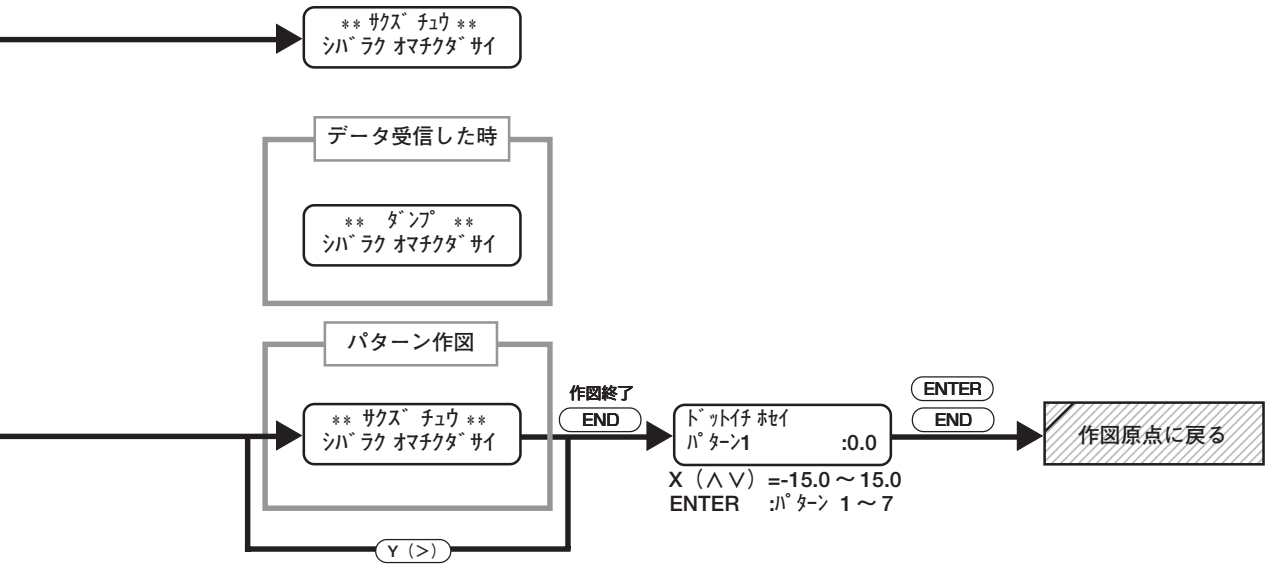


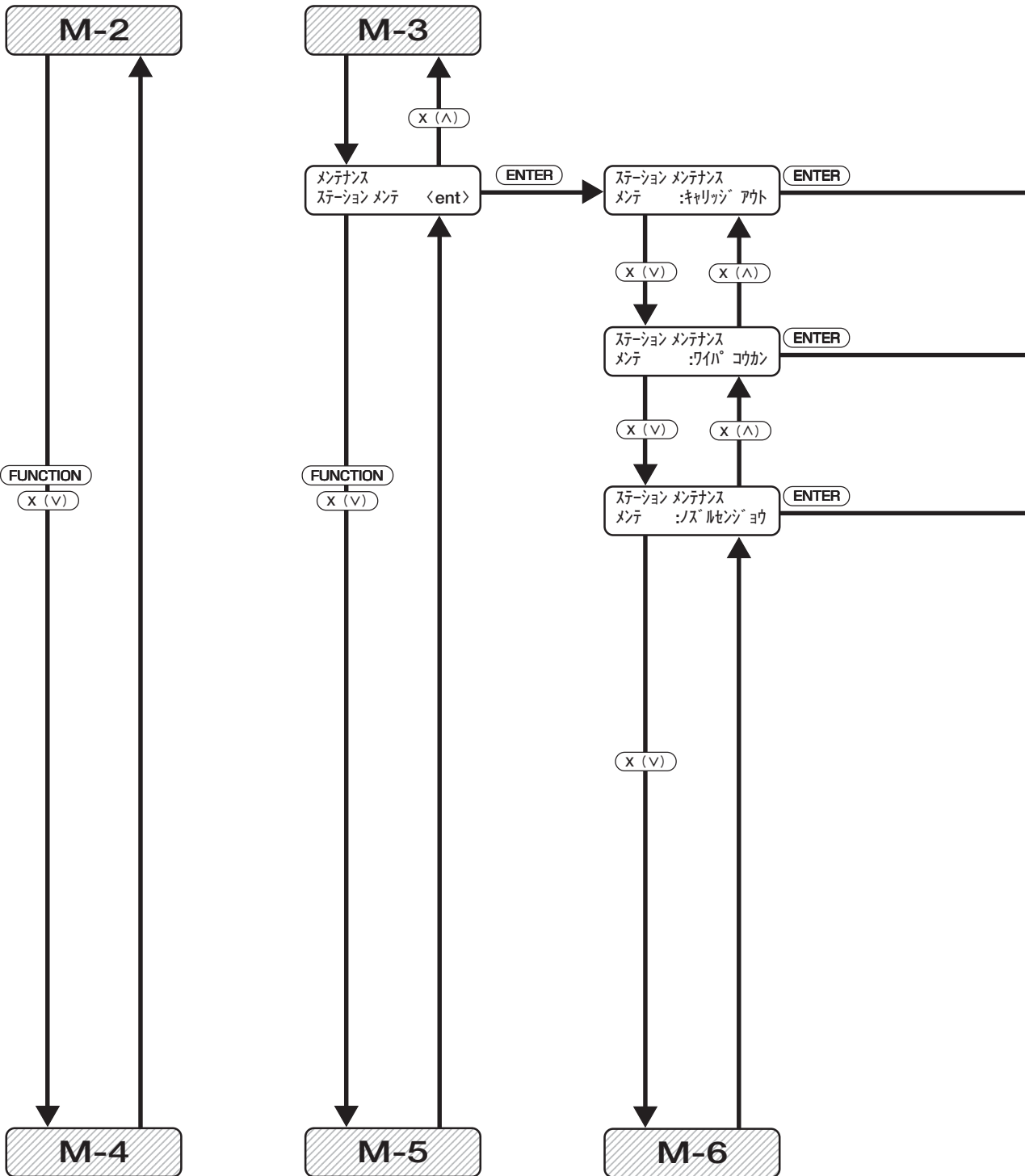
機能フローチャート



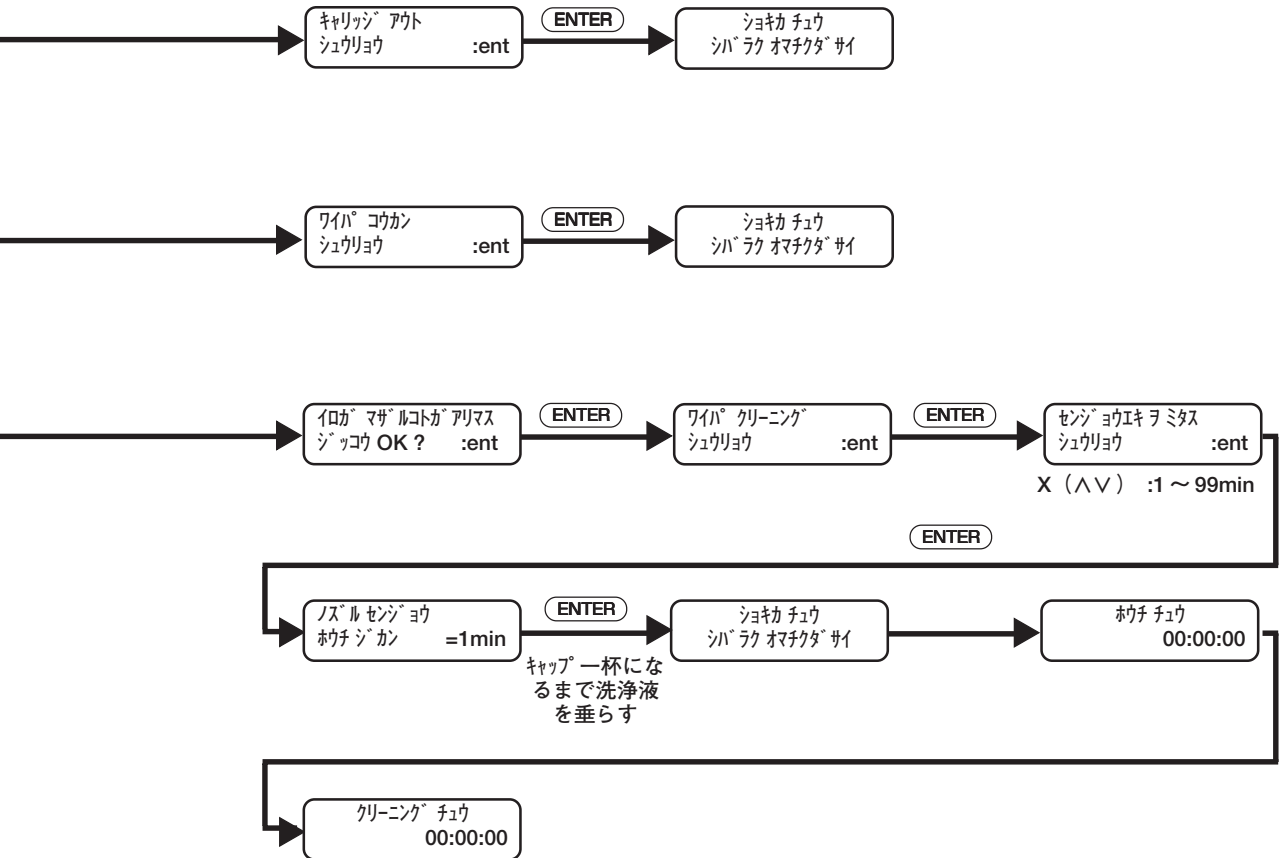


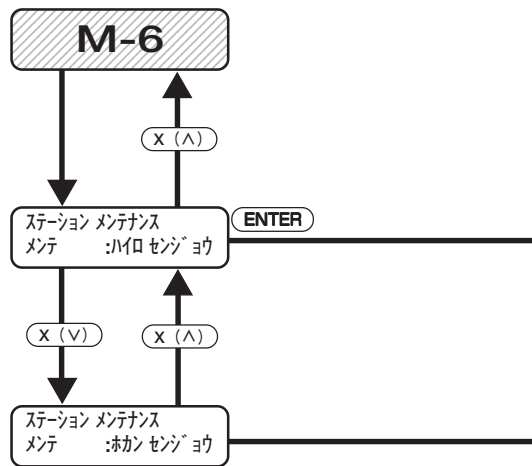
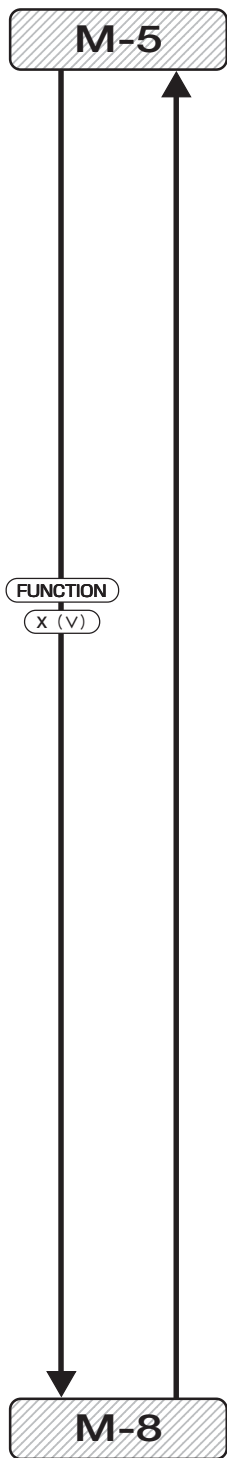
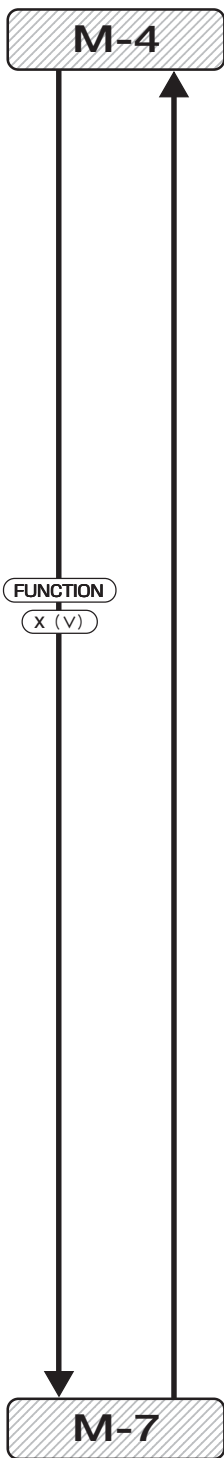
機能フローチャート



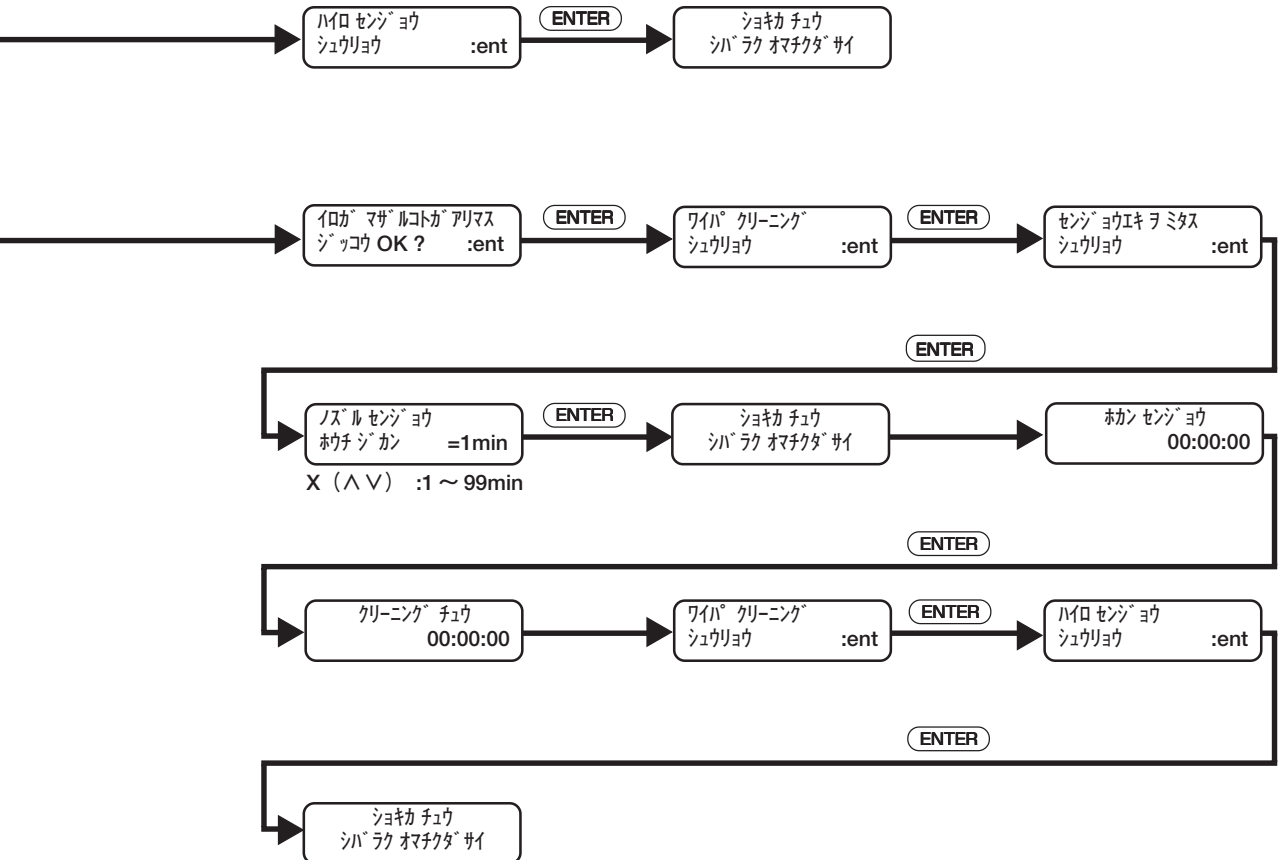


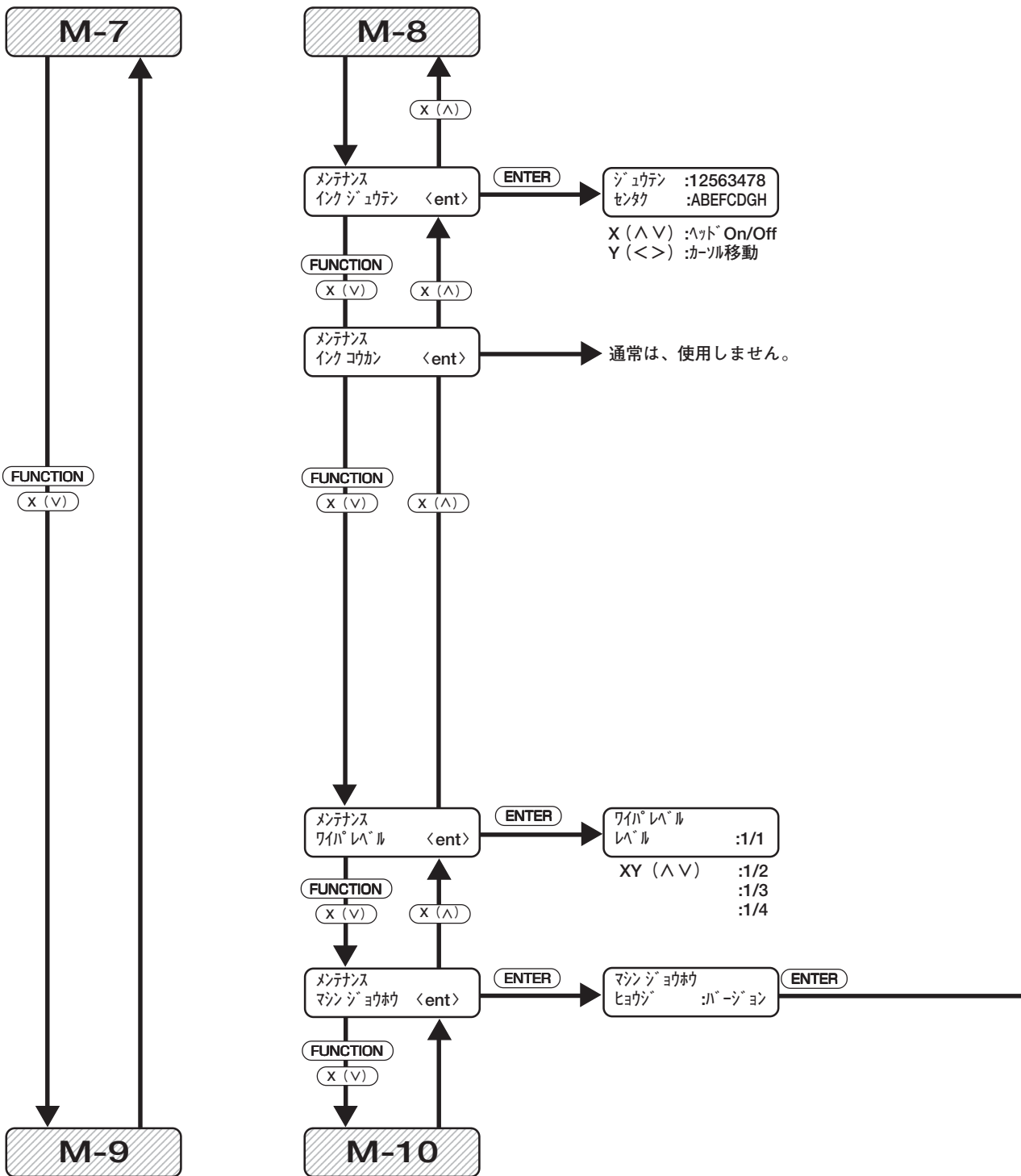
機能フローチャート





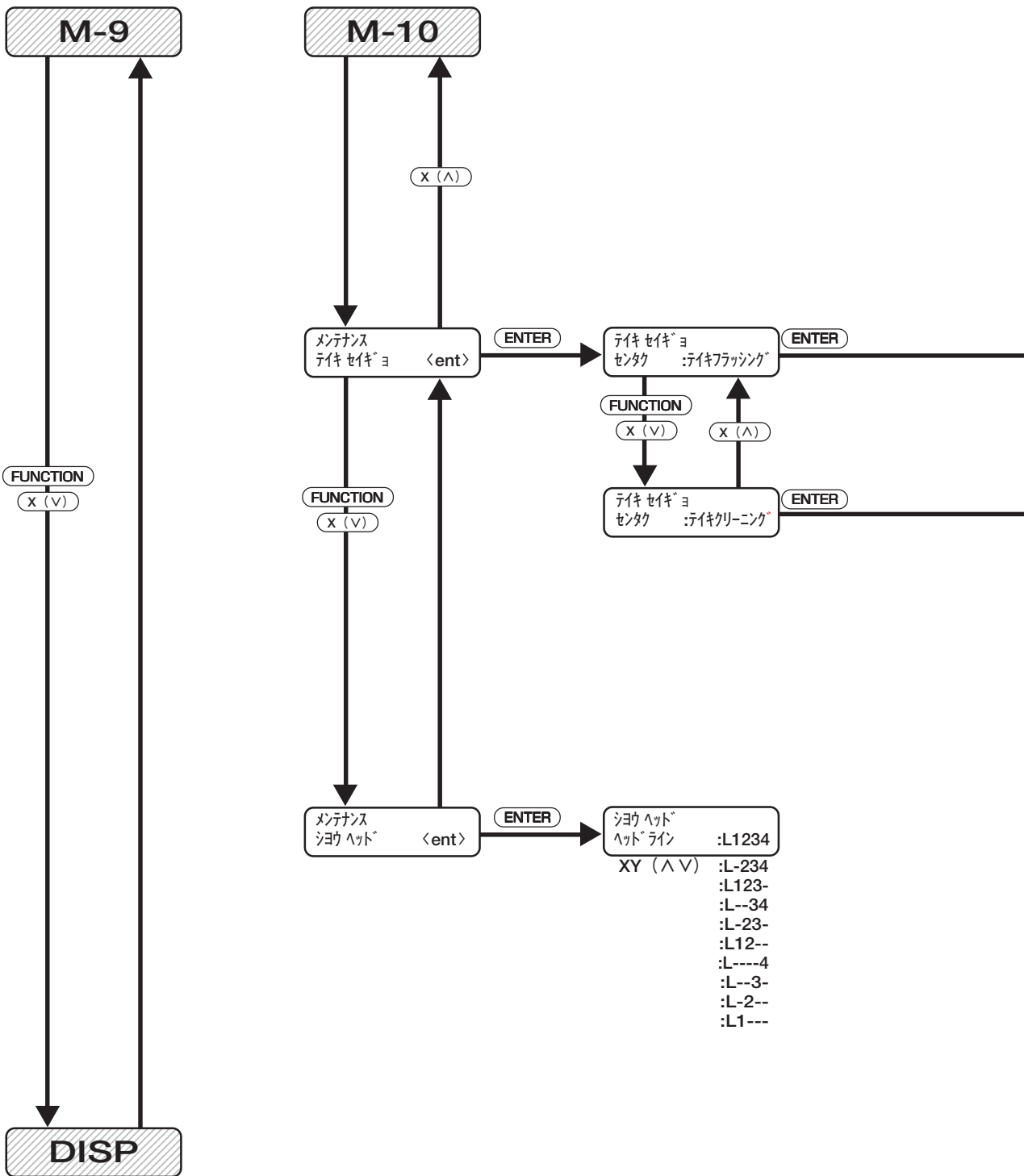
機能フローチャート



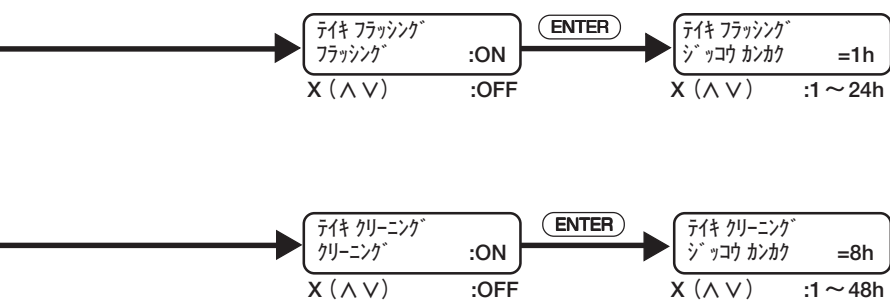


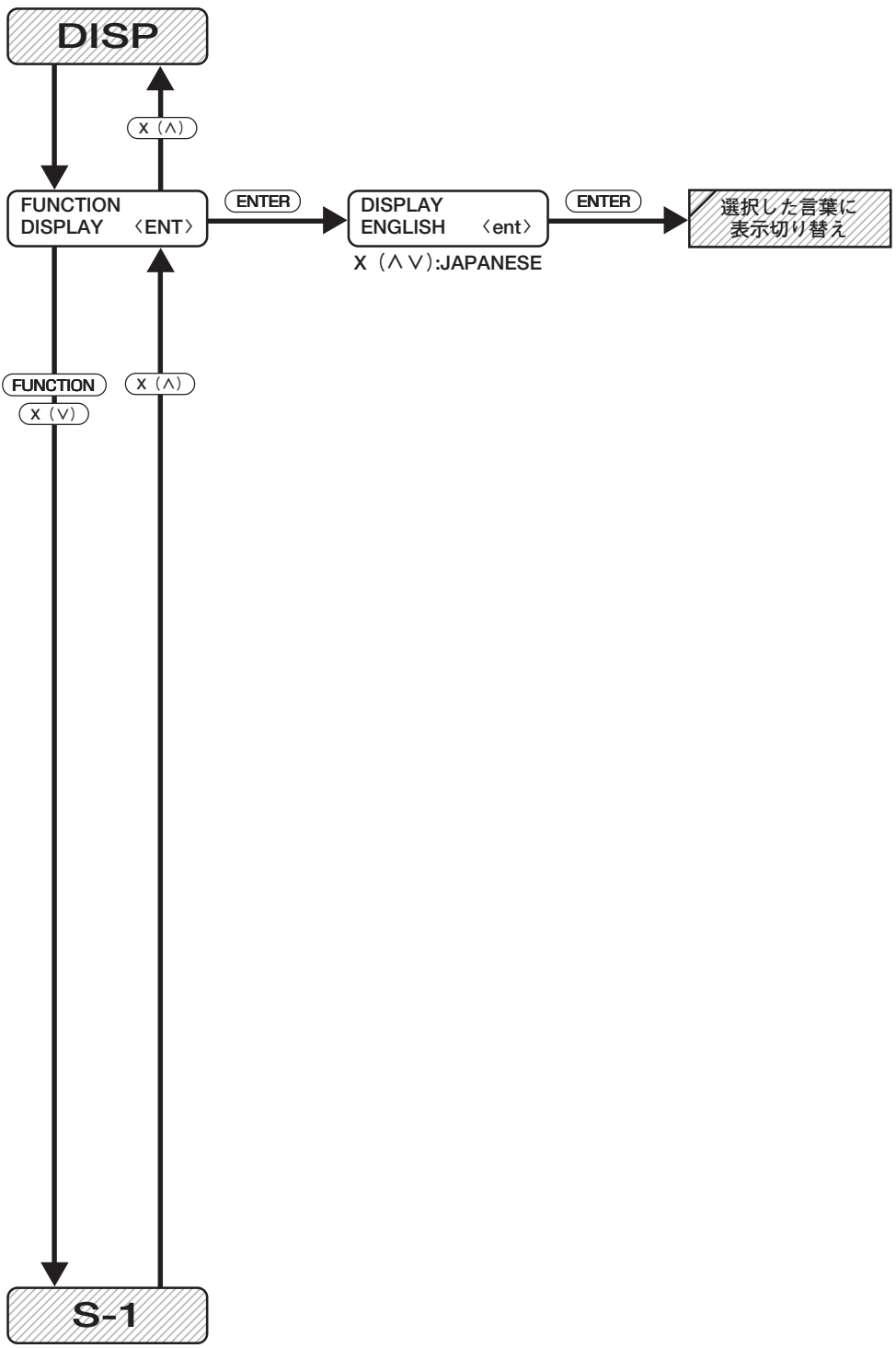
機能フローチャート

MAIN Ver 1.00
I/F Ver **.**



機能フローチャート





索引

| 記号 | | | |
|----------|----------------------|-----------|--|
| | 2重、3重にブレる | 6-3 | |
| A | | | |
| | AC インレット | 1-4 | |
| C | | | |
| | CLEANING キー | 1-6 | |
| | CYCLE START キー | 1-6 | |
| D | | | |
| | DATA CLEAR キー | 2-19, 1-6 | |
| E | | | |
| | END キー | 1-6 | |
| | ENTER キー | 1-6 | |
| F | | | |
| | FUNCTION キー | 1-6 | |
| H | | | |
| | HEX コード | 5-5 | |
| I | | | |
| | IEEE1394 | 1-4 | |
| P | | | |
| | POWER ランプ | 1-6 | |
| R | | | |
| | REMOTE キー | 1-6 | |
| T | | | |
| | TEST キー | 1-6 | |
| V | | | |
| | VIEW キー | 1-6 | |
| X | | | |
| | X,Y キー | 1-6, 1-7 | |
| Z | | | |
| | Z キー | 1-6, 1-7 | |
| ア | | | |
| | 安全にお使いいただくために | x | |
| | -絶対にしないでください | xii | |
| イ | | | |
| | 移動方法 | | |
| | 本体の移動 | 1-3 | |
| | インク | | |
| | -が重ならない | 6-3 | |
| | 残量 | 2-22 | |
| | 仕様 | 付録-4 | |
| | 取り扱い上のご注意 | xi, 1-9 | |
| | -を充填する | 5-11 | |
| | -の落下点 | 5-6 | |
| | インクエンド | 2-22 | |
| | インクカートリッジ | | |
| | -の交換 | 2-22 | |
| | -の交換回数 | 5-4 | |
| | -の取り扱い | xii | |
| | インクキャップ | 1-8 | |
| | インク残量 | 2-20 | |
| | インク滴が落ちる | 6-3 | |
| | インクステーション | | |
| | -とヘッド列の関係 | 1-10 | |
| | インクタイプ | 2-20 | |
| | インクニアエンド | 2-22 | |

| | |
|----------------|-----|
| エ | |
| エアフィルタ | 1-5 |
| エラーメッセージ | 6-7 |

| | |
|--------------------|-----------|
| オ | |
| オートクリーニング | 4-8 |
| 往復印字でズレが発生する | 6-3 |
| オクリホセイ | 2-15, 4-8 |
| - 作図中の送り補正 | 2-17 |
| お手入れ | |
| - 上のご注意 | 3-2 |

| | |
|----------------|-----|
| カ | |
| 各部の名称 | 1-4 |
| カサネヌリ | 4-7 |
| カスレが発生する | 6-3 |
| カラーパターン | 4-9 |
| 乾燥時間 | 4-7 |

| | |
|--------------------|------|
| キ | |
| 基本仕様 | 付録-2 |
| キャスト | |
| - のロック | 1-3 |
| キャッピングステーション | 1-8 |
| キャリッジアウト | 5-8 |
| 吸着穴 | 2-11 |

| | |
|--------------|------|
| ク | |
| クリーニング | 2-13 |

| | |
|-------------|------------|
| ケ | |
| 警告ラベル | 付録-6, 付録-7 |

| | |
|----------------|------|
| コ | |
| 故障?と思う前に | 6-2 |
| ご注意 | i |
| 使用上のご注意 | xiii |
| 設置上のご注意 | xv |
| コマンド | 2-20 |

| | |
|---------------------|------|
| サ | |
| サイクルスタートモード | 1-12 |
| 作図 | |
| - できない | 6-2 |
| - を開始する | 2-18 |
| - を中止する | 2-19 |
| 作図原点の設定 | 2-10 |
| 作図しなくなる | 6-3 |
| 作図範囲の設定 | 2-10 |
| サクズハウシキ | 4-5 |
| 作図品質 | 4-5 |
| 作図方向 | 4-5 |
| ロジカルシーク | 4-5 |
| 作図方式 | |
| - をプロッタ側で設定する | 4-5 |

| | |
|-----------------|------|
| シ | |
| 受信障害について | ii |
| 仕様 | 付録-2 |
| 使用環境温度 | 1-2 |
| シヨウヘッド | 5-14 |
| 情報を表示する | 2-20 |
| 消耗品 | 付録-5 |
| 白いスジが発生する | 6-3 |

| | |
|---------------------|-----------|
| ス | |
| スジが発生する | 6-3 |
| ステーションカバーについて | 2-5 |
| ステーションメンテ | |
| キャリッジ アウト | 5-8 |
| ワイバコウカン | 5-9, 5-11 |
| ノズルセンジョウ | 3-7 |
| スライダ下面の洗浄 | 3-3 |
| ズレが発生する | 6-3 |

| | |
|-----------------|-----|
| セ | |
| 設置場所 | 1-2 |
| セッテイ リセット | 4-9 |

| | |
|-------------|----------|
| ソ | |
| 操作パネル | 1-4, 1-6 |

| | | | |
|--------------------|------------------|--------------------------|-----------|
| タ | | ニ | |
| タイプの登録 | 4-4 | ニアフル | 3-13 |
| | | 日常のお手入れ | 3-2 |
| チ | | ノ | |
| 長期間使用しない場合 | 3-2 | ノズル センジョウ | 3-7 |
| | | ノズル詰まり | 2-12 |
| テ | | ハ | |
| データダンプ | 5-5 | バージョン | 2-20 |
| テーブル | 1-4 | 廃インク | 3-13 |
| テーブル、外装のお手入れ | 3-3 | ハイロ センジョウ | 3-14 |
| テーブルフレーム | 1-4 | パネル | 4-7 |
| テキキクリーニング | 5-16 | パラレルコネクタ | 1-4 |
| テキキ セイギョ | 5-15 | | |
| テキキ フラッシング | 5-15 | ヒ | |
| ディスプレイ | 1-6 | 表示言語 | 4-10 |
| -の表記 | xvi | | |
| -の表示言語を変更する | 4-10 | フ | |
| テスト作図 | | ファームウェア | 2-3 |
| -を実行する | 2-13, 2-14, 2-24 | -のバージョン | 2-3 |
| テストパターン | 2-12 | -のバージョン情報 | 5-4 |
| 電源 | | ファームウェアのバージョン | 5-3, 5-13 |
| -が入らない | 6-2 | ファンクションモード | 1-12 |
| -のオフ | 2-23 | フラッシングとクリーニングの定期実行 | 5-15 |
| -のオン | 2-3 | フラッシングトレイインク吸収材 | 3-11 |
| 電波障害自主規制 | ii | プリントヘッドラインを指定する | 5-14 |
| | | フル | 3-13 |
| ト | | ブロフ | |
| ドット位置補正 | 5-6 | -のオフ | 2-23 |
| -往路 | 5-6 | -のオン | 2-4 |
| -復路 | 5-6 | ブロフ扉 | 1-5 |
| ドットイチホセイ | 5-4 | | |
| トラブル | 6-4 | ヘ | |
| 取扱説明書 | | ヘッド高さ | 2-20 |
| -操作キー | iii, xvi | ヘッドの高さを調整する | 2-6 |
| -について | iii | ヘッド列 | 1-10 |
| 本書の構成 | xvii | | |
| -マーク表示について | x | | |

| | |
|---------------------|------|
| ホ | |
| ホカン センジョウ | 3-16 |
| 保守（サービスマン用）情報 | 5-4 |
| ホスト | 4-7 |
| 補正パターン | 2-15 |
| 本装置の移動 | |
| - キャスタのロック | 1-3 |
| - 移動方法 | 1-3 |

| | |
|-----------------|------|
| マ | |
| マーク表示について | X |
| マシン ジョウホウ | 5-13 |

| | |
|--------------------|------|
| ミ | |
| ミストフィルタのお手入れ | 3-10 |
| ミリ/インチ | 4-8 |

| | |
|----------------------|---------------------------|
| メ | |
| メッセージを表示するトラブル | 6-4 |
| メンテナンス | |
| - 機能の導入について | 5-2 |
| 設定機能一覧 | 5-3 |
| メンテナンス用洗剤液 | |
| | 3-3, 3-4, 3-7, 3-14, 3-16 |

| | |
|---------------|------|
| モ | |
| モードについて | 1-12 |

| | |
|----------------|-----|
| ユ | |
| 有機溶剤中毒予防 | 1-9 |
| 優先順位 | |
| パネル | 4-7 |
| ホスト | 4-7 |

| | |
|---------------|------|
| リ | |
| リスト | 5-4 |
| リフレッシュ | 4-8 |
| リモートモード | 1-12 |

| | |
|---------------|------|
| ロ | |
| ローカルモード | 1-12 |
| ロール受け | 1-4 |
| ロジカルシーク | 4-5 |

| | |
|-----------------|------|
| ワ | |
| ワーク押さえ | 2-8 |
| ワークについて | 1-11 |
| ワークの送り量 | 2-15 |
| ワークのセット | 2-7 |
| ワーニングエラー | 6-4 |
| ワイパ | 1-8 |
| - のクリーニング | 3-4 |
| - の交換 | 5-9 |
| ワイパレベル | 5-12 |

DM3-1810S 取扱説明書

2007年3月

発 行 者 株式会社ミマキエンジニアリング
発 行 所 株式会社ミマキエンジニアリング
長野県東御市滋野乙 2182-3
〒389-0512 Tel : 0268-64-2413(代)

D200792-1.40-30032007

Mimaki

Printed in Japan

D200792

©MIMAKI ENGINEERING CO., LTD. 2007

FW : 5.10

NH